



ライオンズクラブ国際協会 331C 地区キャビネット

LIONSCLUB 331-C DISTRICT GOVERNOR'S CABINET

地区ガバナー  
スローガン

地域と共に新たな挑戦 We Serve

2023-2024

# 第4回キャビネット会議資料

2024.3.23 (土) 会場：グランドホテルニュー王子



ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区 キャビネット事務局

〒053-0022 北海道苫小牧市表町1丁目4-5 ほくせんビル4階

TEL:0144-38-5111 FAX:0144-38-5110 E-mail:hokkaido331c@lionsclubs-331c.org

表紙 中

# 《 第4回キャビネット会議 》 3階 グランドホール南の間

(14:00~17:00)

国際会長テーマ	第4回キャビネット会議	ガバナースローガン
---------	-------------	-----------

	L田中稔	L小玉誠	L奥山幸一	L尾崎徹	L平館正彦	L後藤彰	L渡辺俊二
L高橋和雄	L松浦則雄	L本所光男	L吉原成昌	L脇田忠	L坂本将一	L庄司典弘	L荒川祥子
L北島孝雄	L中村全博	L須藤敏幸	L馬場哲也	L渡部義男	L齋藤尚仁	L高橋伸介	

## 演 台

司会  
L松岡伸治

	L種市誠		議長			L和嶋孝俊
	L堀川一	ゾ ー ン チ ェ ア パ ー ソ ン ・ ゾ ー ン 委 員		各 委 員 会 ・ 副 委 員 副 委 員 長	L大西政春	L鈴木秀作
L古谷征宗	L佐藤裕				L林謙治	L青山和晴
L小杉芳昭	L片岡雄也				L富田明久	L安部裕史 L木村耕志 <small>Lホディノット・ アンドルー</small>
L西條隆	L門脇宏幸				L菅原馨	L岩崎悦雄
	L嘉堂卓也				L阿部和法	
L稲見裕一	L石原諭				L小坂直江	
	L小沼和夫				L柳原義文	L久保真一 L針生政秀
L渋谷昌彦	L吉田浩子					

出 入 口

### 運営委員・オブザーバー

L鳥越浩一	L小谷和宏	L成田静治	L小坂利政	L片岡博	L長浜秋一	L高田芳和	L阿部一二
L藤澤廣光	L忠村健一郎	L佐藤重則	L高橋由利枝	L高橋朋之	L柴田義継	事務局員	事務局員 事務局員

# 目 次

・ キャビネット会議次第	3	～	4	ページ
・ 出席者名簿	5	～	7	ページ
・ 物故会員ご芳名			8	ページ
《 審議事項 》				
・ 第 1 号案 次期キャビネットについて	9	～	10	ページ
・ 第 2 号案 次期ゾンチェアパーソン推薦状	11	～	12	ページ
・ 第 3 号案 地区会則・会則・改正（案）	13	～	14	ページ
・ 第 4 号案 第 70 回年次大会代議員会について	15	～	22	ページ
・ クラブ提出議案			23	ページ
・ その他			24	ページ
《 国際レベル 》				
・ 2024-2025 年度国際平和ポスター・コンテスト	25	～	32	ページ
《 日本レベル 》				
・ 2023-2024 年度 第 2 回国際大会委員会議事要録	33	～	42	ページ
・ 2023-2024 年度 第 3 回国際大会委員会（Web）議事要録	43	～	48	ページ
・ 2023-2024 年度 第 4 回国際大会委員会（Web）議事要録	49	～	53	ページ
・ 2023-2024 年度 第 5 回国際大会委員会（Web）議事要録	54	～	56	ページ
・ 2023-2024 年度 第 4 回理事会議事要録	57	～	61	ページ
・ 2023-2024 年度 第 5 回理事会議事要録	62	～	67	ページ
・ 2023-2024 年度 第2回定時社員総会（全国ガバナー会）議事要録	68	～	75	ページ
・ 2023-2024 年度 第 2 回 YCE 委員会議事要録	76	～	77	ページ
・ 2023-2024 年度 第 3 回 YCE 委員会議事要録	78	～	81	ページ
・ 2023-2024 年度 第 4 回 YCE 委員会（Web）議事要録	82	～	86	ページ
・ 2023-2024 年度 臨時アラート委員会（Web）議事要録	87	～	97	ページ
・ 2023-2024 年度 第 3 回アラート委員会議事要録	98	～	106	ページ
・ 2023-2024 年度 第 4 回アラート全体会議および	107	～	110	ページ
・ 第 1 回能登半島地震支援対策本部会議（Web）議事要録				
・ 2023-2024 年度 第 4 回会則委員会（Web）議事要録	111	～	115	ページ
・ 2023-2024 年度 第 5 回会則委員会（対面）議事要録	116	～	119	ページ
・ 2023-2024 年度 第 6 回会則委員会（Web）議事要録	120	～	126	ページ
・ 2023-2024 年度 第 7 回会則委員会（Web）議事要録	127	～	132	ページ
・ 2023-2024 年度 第 7 回ライオン誌日本語版委員会議事要録	133	～	137	ページ
・ 2023-2024 年度 第 8 回ライオン誌日本語版委員会議事要録	138	～	141	ページ
《 複合レベル 》				
・ 2023-2024 年度 331 複合地区 第 3 回ガバナー協議会 次第			143	ページ
・ 2023-2024 年度 第 3 回 YCE 委員会議事要録	144	～	146	ページ
・ 2023-2024 年度 OSEAL フォーラム特別委員会報告	147	～	149	ページ
・ 2024 年第 8 回スペシャルオリンピック日本冬季ナショナルゲーム	150	～	155	ページ
・ 2023-2024 年度 331 複合地区中間決算報告	156	～	159	ページ
・ 2023-2024 年度 331 複合地区中間会計監査報告書			160	ページ
・ 2023-2024 年度 331 複合地区 第 70 回年次大会	161	～	164	ページ
《 マンスリーレポート 》				
・ 月次マンスリー集計（リジョン別明細）2024 年 1 月	165	～	166	ページ
・ 月次マンスリー集計（リジョン別明細）2024 年 2 月	167	～	168	ページ
《 LCIF1月～2月 》				
・ LCIF 献金実施状況一覧 2024 年 1 月			169	ページ
・ LCIF 献金実施状況一覧 2024 年 2 月			170	ページ
《 活動報告 》				
・ 地区GMT・GLT・GST・FWT・GET・LCIF 活動報告	171	～	179	ページ
・ ゾーンチェアパーソン 活動報告 第 1R ～第 5R 各クラブへの質問書 回答集計	180	～	198	ページ
・ 各地区委員長 活動報告	199	～	207	ページ

ライオンズクラブ国際協会331-C地区  
 ≪ 第4回キャビネット会議次第 ≫

日時 2024年 3月 23日(土) 14:00~17:00

場所 グランドホテルニュー王子 3Fグランドホール南の間

司会 キャビネット運営委員 L 松岡 伸治

記録 キャビネット運営副委員長 L 久保 真一

記録 キャビネット運営委員 L 高橋由利枝

- |                       |                         |         |
|-----------------------|-------------------------|---------|
| 1 開会ゴング               | ライオンズクラブ国際協会331-C地区ガバナー | L 渡部 義男 |
| 2 国旗敬礼                |                         |         |
| 3 黙祷                  |                         |         |
| 4 出席者紹介               | 運営委員長                   | L 柳原 義文 |
| 5 地区ガバナー挨拶            | 地区ガバナー                  | L 渡部 義男 |
| 6 前地区ガバナー・名誉顧問会議長挨拶   | 前地区ガバナー・名誉顧問会議長         | L 馬場 哲也 |
| 7 長期計画リサーチ委員会報告       | 長期計画リサーチ委員長             | L 須藤 敏幸 |
| 8 審議事項                | 地区ガバナー                  | L 渡部 義男 |
| 第1号案 次期キャビネットについて     | 第1副地区ガバナー               | L 齋藤 尚仁 |
| 第2号案 次期ゾンチェアパーソン推薦状   | キャビネット幹事                | L 脇田 忠  |
| 第3号案 地区会則・会則・改正(案)    | キャビネット幹事                | L 脇田 忠  |
| 第4号案 第70回年次大会代議員会について | キャビネット幹事                | L 脇田 忠  |
| クラブ提出議案               | キャビネット幹事                | L 脇田 忠  |
| その他                   |                         |         |
| 9 報告・確認事項             | キャビネット幹事                | L 脇田 忠  |
| 10 質疑応答               |                         |         |
| 11 地区コーディネーター活動報告     |                         |         |
| ・GMT                  | 地区GMTコーディネーター           | L 庄司 典弘 |
| ・GLT                  | 地区GLTコーディネーター           | L 山本 憲治 |
| ・GST                  | 地区GSTコーディネーター           | L 坂本 将一 |
| ・FWT                  | 地区FWTコーディネーター           | L 荒川 祥子 |
| ・GET                  | 地区LCIF副コーディネーター         | L 高橋 伸介 |
| ・LCIF                 | 地区GETコーディネーター           | L 作並 真一 |

## 12 ゾーンチェアパーソン活動報告

第1R第1Z	ゾーンチェアパーソン	L 石戸 保
第2R第1Z	ゾーンチェアパーソン	L 狩野 敏哉
第2R第2Z	ゾーンチェアパーソン	L 佐藤 裕
第3R第1Z	ゾーンチェアパーソン	L 片岡 雄也
第3R第2Z	ゾーンチェアパーソン	L 門脇 宏幸
第4R第1Z	ゾーンチェアパーソン	L 嘉堂 卓也
第4R第2Z	ゾーンチェアパーソン	L 石原 諭
第5R第1Z	ゾーンチェアパーソン	L 本多 弘幸
第5R第2Z	ゾーンチェアパーソン	L 吉田 浩子

## 13 各委員会活動報告

地区大会・国際大会委員会 委員長	L 大西 政春
ライオンズエスト・YCE・薬物乱用防止委員会委員長	L 林 謙治
LCIF・アラート・エクステンション委員会 委員長	L 富田 明久
会則委員会 委員長	L 菅原 馨
ECHO・IT委員会 委員長	L 廣澤 隆
次世代リーダー研究・環境保全・社会福祉委員会 委員長	L 小坂 直江
視力障害・糖尿病・検眼献血委員会 委員長	L 佐藤 聖
キャビネット運営委員会委員長	L 柳原 義文

## 14 質疑応答

15 閉会ゴング	地区ガバナー	L 渡部 義男
----------	--------	---------

### 全体会議終了後、集合写真撮影 (グラウンドホール北の間にて)

懇親会 17:30~19:00

挨拶	地区ガバナー	L 渡部 義男
ウィサーブ	第1副地区ガバナー	L 齋藤 尚仁
ローア	第2副地区ガバナー	L 高橋 伸介

2023-2024年度第4回キャビネット会議 出席者名簿

役 職 名	氏 名	長期計画 サ-チ委員会	名誉顧問会	全体会議	懇親会
地区ガバナー・GATファシリテーター 地区LCIFコーディネーター	ワタベ ヨシオ L渡部 義男	○	○	○	○
前地区ガバナー 長期計画サ-チ副委員長	ババ デンヤ L馬場 哲也	○	○	○	○
第1副地区ガバナー 長期計画サ-チ副委員長	サイウ ナオ ヒト L齋藤 尚仁	○	○	○	○
第2副地区ガバナー・地区GETコーディネーター 長期計画リサーチ委員	タカハシ ノブキ L高橋 伸介	○	○	○	○
名誉顧問会・元地区ガバナー 長期計画リサーチ委員 委員長	スドウ トシユキ L須藤 敏幸	○	○	○	○
名誉顧問会・元地区ガバナー 長期計画リサーチ委員	ナカムラ マサヒロ L中村 全博	○	○	○	○
名誉顧問会・元地区ガバナー 長期計画リサーチ委員	キタジマ タカオ L北島 孝雄	×	○	○	○
名誉顧問会・元地区ガバナー 長期計画リサーチ委員	ヨシハラ ナリマサ L吉原 成昌	○	○	○	○
名誉顧問会・元地区ガバナー	ホンジョ ミツオ L本所 光男		○	○	○
名誉顧問会・元地区ガバナー	ササキ タダヤス L佐々木 忠康		×	×	×
名誉顧問会・元地区ガバナー	マツウラ リオ L松浦 則雄		○	○	○
名誉顧問会・元地区ガバナー	タカハシ カズオ L高橋 和雄		○	○	○
名誉顧問会・元地区ガバナー	オクヤマ コウイチ L奥山 幸一		○	○	○
名誉顧問会・元地区ガバナー	コグマ マコト L小玉 誠		○	○	○
名誉顧問会・元地区ガバナー	ゴウ シンブ L後藤 忍		×	×	×
名誉顧問会・元地区ガバナー 長期計画リサーチ委員	タナカ ミル L田中 稔	○	○	○	×
名誉顧問会・元地区ガバナー	アラカワ タケシ L荒川 隆志		×	×	×
地区GLTコーディネーター 長期計画リサーチ委員	ヤマモト ケンジ L山本 憲治	×		×	×
地区GMTコーディネーター 長期計画リサーチ委員	ショウジ ノリヒロ L庄司 典弘	○		○	○
地区FWTコーディネーター 長期計画リサーチ委員	アラカワ ショウコ L荒川 祥子	○		○	○
地区LCIF副コーディネーター	サクナミ シンイチ L作並 真一			×	×
キャビネット幹事 地区GMAチームサポーター	ワキタ タダシ L脇田 忠	○		○	○
キャビネット会計 地区GSTコーディネーター	サカモト マサカズ L坂本 将一	○		○	○
地区会計監査	オザキ トオル L尾崎 徹			○	○
地区会計監査	ヒラダテ マサヒロ L平館 正彦			○	○
地区キャビネット副幹事 地区GMAチーム副リーダー	ゴウ アキラ L後藤 彰			○	○
地区キャビネット副会計 地区GMAチーム	ワタベ シュンジ L渡辺 俊二			○	○
小計		12	14	22	21

2023-2024年度第4回キャビネット会議 出席者名簿

役職名	氏名	長期計画 ワーキング委員会	名誉顧問会	全体会議	懇親会
キャビネット運営委員会 委員長	柳原 義文			○	○
キャビネット運営委員会 副委員長	久保 真一			○	○
キャビネット運営委員会 副委員長	針生 政秀			○	○
キャビネット運営委員会 委員	松岡 伸治			○	○
キャビネット運営委員会 委員	柴田 義継			○	○
キャビネット運営委員会 委員	高橋 由利枝			○	○
キャビネット運営委員会 委員	高橋 朋之			○	○
キャビネット運営委員会 委員	佐藤 重則			○	○
キャビネット運営委員会 委員	高田 芳和			○	○
キャビネット運営委員会 委員	阿部 一二			○	○
キャビネット運営委員会 委員	中山 智仁			×	×
前キャビネット幹事・ 長期計画リサーチ委員	吉田 寛	×		×	×
視力障がい・糖尿病委員会・ 献眼献血委員会 委員長	佐藤 聖			×	×
次世代リサーチ研究委員会・環境保全・社会福祉 委 員長	小坂 直江			○	○
ECHO・IT委員会 委員長	廣澤 隆			×	×
ECHO・IT委員会 副委員長	阿部 和法			○	○
会則委員会 委員長	菅原 馨	○		○	○
会則委員会 委員	岩崎 悦雄			○	×
LCIF・アラート・エクステンション委員会 委員長	富田 明久			○	○
LCIF・アラート・エクステンション委員会 委員1R	山形 俊英			×	×
LCIF・アラート・エクステンション委員会 委員2R	安部 裕史			○	×
LCIF・アラート・エクステンション委員会 委員3R	木村 耕志			○	×
LCIF・アラート・エクステンション委員会 委員4R	吉田 裕			×	×
LCIF・アラート・エクステンション委員会 委員5R	Lホディノット・アンドルー			○	○
ライオンズクエスト委員会・YCE委員会・ 薬物乱用等防止委員会 委員長	林 謙治			○	○
ライオンズクエスト委員会・YCE委員会・ 薬物乱用等防止委員会 副委員長	青山 和晴			○	○
地区大会・国際大会委員会 委員長	大西 政春			○	○
地区大会・国際大会委員会 事務局長	和嶋 孝俊			○	○
地区大会・国際大会委員会 事務局次長	鈴木 秀作			○	○
小計		1	0	23	20

## 2023-2024年度第4回キャビネット会議 出席者名簿

役 職 名	氏 名	長期計画 ワーキング委員会	名誉顧問会	全体会議	懇親会
第1R第1Z ゾーンチェアマン	イシト ケモン L石戸 保			×	×
第2R第1Z ゾーンチェアマン	カリノ トシヤ L狩野 敏哉			×	×
第2R第2Z ゾーンチェアマン	サトウ ユタカ L佐藤 裕			○	○
第3R第1Z ゾーンチェアマン	カタオカ コウヤ L片岡 雄也			○	○
第3R第2Z ゾーンチェアマン	カドヰキ ヒロユキ L門脇 宏幸			○	○
第4R第1Z ゾーンチェアマン	カドヰ タクヤ L嘉堂 卓也			○	○
第4R第2Z ゾーンチェアマン	イシハラ サトル L石原 諭			○	○
第5R第1Z ゾーンチェアマン	ホンダ ヒロユキ L本多 弘幸	×		×	×
第5R第2Z ゾーンチェアマン	ヨシダ ヒロコ L吉田 浩子	○		○	○
第1R第1Z ゾーン委員	タネイチ マコト L種市 誠			○	○
第2R第1Z ゾーン委員	ホリカワ ハジメ L堀川 一			○	×
第2R第2Z ゾーン委員	フルヤ コキ ムネ L古谷 征宗			○	○
第3R第1Z ゾーン委員	コスギ ヨシアキ L小杉 芳昭			○	○
第3R第2Z ゾーン委員	サイジヨウ タカシ L西條 隆			○	○
第4R第2Z ゾーン委員	イナミ コウイチ L稲見 裕一			○	×
第5R第1Z ゾーン委員	コヌマ カズオ L小沼 和夫			○	×
第5R第2Z ゾーン委員	シブヤ マサヒコ L渋谷 昌彦			○	○
オブザーバー(23-24年度 会長)(苫小牧LC)	スガワラ カオル L菅原 馨			重複	重複
オブザーバー(23-24年度 会長)(静内LC)	カタオカ ヒロシ L片岡 博			○	×
オブザーバー(23-24年度 会長)(新冠LC)	ナガハマ アキ カズ L長浜 秋一			○	×
オブザーバー(23-24年度 会長)(苫小牧ハスカップLC)	トミタ アキヒサ L富田 明久			重複	重複
オブザーバー(23-24年度 会長)(むかわLC)	コサカ トシマサ L小坂 利政			○	×
オブザーバー(23-24年度 会長)(苫小牧中央LC)	ナリタ セイジ L成田 静治			○	○
オブザーバー(23-24年度 会長)(安平LC)	シンボ コウ キ L真保 郵生			×	×
オブザーバー(23-24年度 会長)(厚真LC)	コタニ カズヒロ L小谷 和宏			○	×
オブザーバー(23-24年度 会長)(苫小牧白鳥LC)	トリコン コウイチ L鳥越 浩一			○	○
オブザーバー(苫小牧白鳥LC)	フジザワ ヒロミツ L藤澤 廣光			○	○
オブザーバー(苫小牧白鳥LC)	タダムラ ケンイチロウ L忠村 健一郎			○	○
小計		1	0	22	15
合計		14	14	67	56

物故会員ご芳名 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

ほんま てつや

故 L 本間 哲也 (室蘭東LC)

2024年 2月 25日 逝去(46歳)



# 審議事項

- 第1号案 次期キャビネットについて
- 第2号案 次期ゾンチェアパーソン推薦状
- 第3号案 地区会則・新設・改正(案)
- 第4号案 第70回年次大会代議員会について
- クラブ提出議案
- その他



# ライオンズクラブ国際協会331-C地区

(2024年7月1日～2025年6月30日)

## 次期函館キャビネット ホストクラブ一覧表

第1リジョン 第1ゾーン
函館ライオンズクラブ
北檜山ライオンズクラブ
奥尻ライオンズクラブ
函館北斗ライオンズクラブ
木古内・知内ライオンズクラブ
松前ライオンズクラブ
函館一楽ライオンズクラブ

## 次期函館キャビネット事務局取引銀行の通知について

表記の件につき、下記のとおりご通知申し上げます。

ライオンズクラブ国際協会331-C地区取引銀行

(2024年7月1日～2025年6月30日)

口座開設日:2024年2月19日

口座閉鎖日: 2025年7月31 日

銀行名	北洋銀行
口座名義	2024.7～2025.6ライオンズクラブ国際協会331-C地区 函館キャビネット事務局 キャビネット会計 渡辺 俊二
店番号	328
口座番号	7210603

### 次期函館キャビネット事務局案内

住 所 〒041-0851  
北海道函館市本通2丁目10番24号

T E L 0138-86-9616

F A X 0138-86-9617

E-mail hakodate331-c@saito-n.jp

事務局員 阿部 五味

業務時間 10:00～16:00

休 日 土曜日 日曜日 祝日

# 推 薦 状

2023年2月 1日

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区

ガバナー L渡部 義男 殿

第 5R 第 1Z

苫小牧 ライオンズクラブ

会 長 菅原 馨 印



2024～2025 年度、ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区キャビネット

第 5R 第 1Z ゾーン委員候補者として、下記の当クラブ会員を推薦いたします。

所 属	苫小牧ライオンズクラブ		
(ふりがな) 候補者氏名	すぎむら みつのり 杉村 光則	生 年 月 日	西暦 1954 年 3 月 5 日
自 宅	住 所	(〒053-0042 ) 苫小牧市三光町 2-20-5-5	
	電 話	0144-32-3678	
勤 務 先	住 所	(〒 ) 同 上	
	名 称	杉村板金	
	電 話	0144-32-3678	(携帯)090-3776-5360
	F A X	0144-32-3678	
ライオン歴 (年度順)  入会年月日 クラブ役職 準地区・ 複合地区 役職等	2006 年 10 月 入会  2008 年 テールツイスター 2009 年 一年理事 2010 年 二年理事 2011 年 一年理事 2012 年 二年理事 2013 年 一年理事 2014 年 二年理事 2015 年 副会計 2016 年 会計 2019 年 副幹事 2020 年 幹事 2021 年 一年理事 2022 年 二年理事 2023 年 二年理事		

ライオンズクラブ国際協会 331-C地区  
次期ゾーンチェアパーソン・ゾーン委員  
(2024-2025年度)

R	Z	役 職	候補者氏名	所属クラブ
1	1	ゾーンチェアパーソン	しがまつ すずむ 志賀松 晋	函館ライオンズクラブ
		ゾーン委員	へんみ ひさのり 辺見 寿了	函館ライオンズクラブ
2	1	ゾーンチェアパーソン	すがわら てつや 菅原 哲也	岩内ライオンズクラブ
		ゾーン委員	あべ ひろふみ 安部 裕史	岩内ライオンズクラブ
2	2	ゾーンチェアパーソン	なかい よしひと 中井 義仁	小樽みなとライオンズクラブ
		ゾーン委員	いとう よしあき 伊藤 嘉章	小樽みなとライオンズクラブ
3	1	ゾーンチェアパーソン	やまと じゅんや 山戸 準也	洞爺ライオンズクラブ
		ゾーン委員	たかとみ ようた 高臣 陽太	洞爺ライオンズクラブ
3	2	ゾーンチェアパーソン	てらうち やすお 寺内 康雄	白老ライオンズクラブ
		ゾーン委員	すずき あきなり 鈴木 研生	白老ライオンズクラブ
4	1	ゾーンチェアパーソン	たかせ こうたろう 高瀬 孝太郎	函館東ライオンズクラブ
		ゾーン委員	たまい だいすけ 玉井 大輔	函館東ライオンズクラブ
4	2	ゾーンチェアパーソン	おおつか まさひこ 大塚 昌彦	森ライオンズクラブ
		ゾーン委員	こうの しょうじ 河野 昭次	森ライオンズクラブ
5	1	ゾーンチェアパーソン	おの そういち 小野 操一	苫小牧ライオンズクラブ
		ゾーン委員	すぎむら みつのり 杉村 光則	苫小牧ライオンズクラブ
5	2	ゾーンチェアパーソン	さかもと まさかず 坂本 将一	苫小牧中央ライオンズクラブ
		ゾーン委員	にしむら こうせい 西村 浩生	苫小牧中央ライオンズクラブ

## ライオンズクラブ国際協会331－C 地区

地区会則・新設・改正（案）	
新設・改証後	改訂前
<p>第3条（構成）（国際会則第5条）新設 複合地区内のすべての地区ガバナーから成るガバナー協議会を設けるものとし、その中には、協議会議長を務める現又は元地区ガバナーを1人含める。本複合地区の役員は、ガバナー協議会の構成員となる。協議会議長を含む協議会の各構成員は、協議会の決議を必要とする各事柄について1票の投票権を持つ。協議会議長は1年任期を1期のみ務めるものとし、この役職を再び務めることはできない。</p>	<p>★参考 ライオンズ必携・（複合地区会則・140 ページ） 理事会方針書・第5条（5 ページ）</p>
<p>第5条（役員及び地区キャビネット） 1項 地区キャビネットは、地区ガバナー、前地区ガバナー、第1及び第2副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事・会計・各コーディネーター・リジョンチェアパーソン、ゾーンチェアパーソン、各委員長はキャビネットの構成員となることができる。 かかる各キャビネット構成員は、本地区におけるグッドスタンディングのライオンズクラブのグッドスタンディングの会員でなければならない。 レオまたはレオライオンがレオ / レオライオン・キャビネット・リエゾンの役職に任命される場合は、この役職はキャビネットにおける投票権を持たないアドバイザーを務める。（国際会則第6条・1項・2項）</p>	<p>第5条（地区キャビネット役員） 1項 地区キャビネットは、地区ガバナー、前地区ガバナー、第1及び第2副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事・会計・各コーディネーター・リジョンチェアパーソン・ゾーンチェアパーソン、各委員長をもって構成員とし、地区役員となる。</p> <p>★参考 理事会方針書・第6条1項（6 ページ）</p>
<p>第7条（4）地区ガバナー諮問委員会 （4）本委員会は、年3回以上の定例会議を開き、ゾーンチェアパーソンが必要と認めた場合、臨時に本委員会を開催することができる。 第1回会議 7月～8月 （前年度国際大会閉会后60日以内が望ましい） 第2回会議 10月～11月 第3回会議 2月～ 3月 第4回会議 4月～ 5月（複合地区大会の約30日前に開く） クラブ奉仕委員長、クラブ・マーケティング委員長、クラブ会員委員長は、各自の役職に関係のある情報が共有される場合には出席する必要がある。この委員会は、諮問に答えるゾーン・チェアパーソンに助力し、ゾーン内のライオニズム及びクラブの福利に関する勧告をまとめた上で、それをゾーン・チェアパーソンを通して地区ガバナー及びキャビネットに伝える。</p>	<p>第7条（4） （4）本委員会は、年3回以上の定例会議を開き、ゾーンチェアパーソンが必要と認めた場合、臨時に本委員会を開催することができる。</p> <p>★参考 理事会方針書・第4条（地区委員会）（29ページ）</p>

## ライオンズクラブ国際協会331－C 地区

地区会則・新設・改正（案）	
新設・改証後	改訂前
<p>第7条（特別委員会）</p> <p>(1) 地区名誉顧問会</p> <p>イ) 地区ガバナーは地区名誉顧問会を設ける。</p> <p>地区名誉顧問会は、主として・・・</p>	<p>第7条（3項）特別委員会</p> <p>(1) 地区名誉顧問会</p> <p>イ) 地区ガバナーは地区名誉顧問会を設けることができる。地区名誉顧問会は、主として・・・</p> <p>★参考 （ライオンズクラブ必携・複合地区会則第20条・161）</p>
<p>標準版クラブ付則</p> <p>付則第1条 会員</p> <p>第1項 会員種別：</p> <p>(h) 特典会員：家族会員、学生、または国際協会が提供するその他の割引会員プログラムに参加した結果として割引会費を支払う会員で、クラブの会員籍を保持する事を希望し、会費割引の条件を満たす会員。会員プログラムの参加状況は、クラブ理事会が確認するものとする。割引会員は地区または国際の会合において役職に就くことができるが、クラブが課す会費を納入しなければならない。その会費には地区及び国際の会費が含まれる。この種類の会員は、クラブ代議員数算出の対象とならない。</p> <p style="text-align: right;">上記は2024年1月1日発行</p>	<p>★参考</p> <p>理事会方針書・付則・第1条・1項会員種別 (h) (53ページ)</p> <p>理事会方針書・付則・別紙A・会員種別表 (68ページ)</p>
<p>付則3</p> <p>離島クラブの助成金</p> <p>右記の文言はあまりにもアバウトすぎるので討議する必要がある。但し、10万円を超えてはならない。</p>	<p>離島クラブの補助金</p> <p>一般的なライオンズクラブより、交通手段の関係上1～2泊が必要となり、宿泊費等をキャビネットより補填する。</p>
<p>（別紙2）331－C 地区クラブ組織表変更</p> <p>解散クラブ：3R・室蘭北斗 LC 5R・門別 LC</p> <p>解散支部クラブ</p> <p style="padding-left: 20px;">メディカルケアピープル支部（函館東 LC）</p> <p>結成クラブ：1R・函館一楽 LC</p> <p style="text-align: right;">結成支部クラブ</p> <p>わんぱく相撲サポート支部（函館東 LC）</p>	<p>★参考</p> <p>331－C 地区・地区会則・別紙2（13ページ）</p>

## 代議員会提出議案【全体会議】

### ◎第1号議案 次期地区ガバナーの指名を求める件

#### 【提出説明】

2024-2025 年度地区ガバナーには、函館北斗ライオンズクラブ所属 L 齋藤 尚仁のみが立候補届を提出しているため、第3回キャビネット会議において資格審査の結果、関係規則を充足している。よって331-C地区第70回年次大会議事規則第6項(1)により、投票結果をもって指名したい。

### ◎第2号議案 次期第1副地区ガバナーの指名を求める件

#### 【提出説明】

2024-2025 年度第1副地区ガバナーには、室蘭東ライオンズクラブ所属 L 高橋 伸介のみが立候補届を提出しているため、第3回キャビネット会議において資格審査の結果、関係規則を充足している。よって331-C地区第70回年次大会議事規則第6項(2)により、投票結果をもって指名したい。

### ◎第3号議案 次期第2副地区ガバナーの指名を求める件

#### 【提出説明】

2024-2025 年度第2副地区ガバナーには、小樽みなとライオンズクラブ所属 L 山本 憲治のみが立候補届を提出しているため、第3回キャビネット会議において資格審査の結果、関係規則を充足している。よって331-C地区第70回年次大会議事規則第6項(3)により、投票結果をもって指名したい。

### ◎第4号議案 地区会則・会則・改正(案)について

#### 【提出説明】

地区会則(案)については、第4回キャビネット会議において承認された資料30日前に各クラブに送付済みです。よって投票をもって決定したい。

### ◎第5号議案 第70回地区年次大会の各議案審議に関する件

#### 【提出説明】

第70回地区年次大会において上程する分科会の議案を別紙のとおりとし、各分科会の審議結果の報告に基づき本代議員総会において決定する。

## 第 1 分 科 会

【 経理・政策 / 長期計画リサーチ / 会則 / アラート / GLT / GST 】

- 第1号議案 前年度地区会計収支決算報告書と承認について  
\*説明者 前キャビネット会計 L玉井 大輔  
\*会計監査 前地区会計監査 L生田 豊・L明石 明彦
- 第2号議案 2023-2024年度ライオンズクラブ国際協会331-C地区中間会計監査  
報告の承認を求める件  
\*説明者 キャビネット会計 L坂本 将一  
\*会計監査 地区会計監査 L尾崎 徹・L平館 正彦
- 第3号議案 地区年次大会における通期決算審議の権限を委譲する件  
【提案説明】  
331-C地区2023-2024年度通期会計報告は、地区年次大会が年次  
途中の為、報告が不能である。よって同年度後期決算を含む通期決算報告に  
ついては、次期キャビネット会議による審議の権限を委譲する決議を願いたい。  
\*説明者 キャビネット会計 L坂本 将一
- 第4号議案 2024-2025年度地区ガバナースローガンの承認を求める件  
【提案説明】  
次期地区ガバナースローガンは、次期キャビネット幹事予定者より発表したい  
ので承認を願いたい。  
\*説明者 次期キャビネット幹事 L後藤 彰(函館北斗LC)
- 第5号議案 会則委員会について  
\*説明者 会則委員長 L管原 馨
- 第6号議案 GLT・GST・コーディネーター進捗状況  
\*説明者 地区GLTコーディネーター L山本 憲治  
地区GSTコーディネーター L坂本 将一
- 第7号議案 その他

## 《 第1分科会構成員 》

* 委員長	第1R第1Z	ゾーンチェアパーソン	L 石戸 保	松前LC
* 副委員長	第5R第1Z	ゾーンチェアパーソン	L 本多 弘幸	苫小牧ハスカップLC
* 副委員長	第4R第1Z	ゾーンチェアパーソン	L 嘉堂 卓也	函館臥牛LC
* 助言者	前地区ガバナー		L 馬場 哲也	函館東LC
* 助言者	第1副地区ガバナー		L 齋藤 尚仁	函館北斗LC
* 助言者	元地区ガバナー・長期計画リサーチ委員長		L 吉原 成昌	苫小牧ハスカップLC
* 助言者	元地区ガバナー		L 松浦 則雄	函館北斗LC
* 助言者	元地区ガバナー		L 奥山 幸一	函館みなとLC
* 助言者	元地区ガバナー・長期計画リサーチ委員長		L 田中 稔	苫小牧中央LC
* 助言者	地区GLTコーディネーター		L 山本 憲治	小樽みなとLC
* 助言者	キャビネット幹事		L 脇田 忠	苫小牧中央LC
* 助言者	キャビネット会計・地区GSTコーディネーター		L 坂本 将一	苫小牧中央LC
* 助言者	地区会則委員長		L 管原 馨	苫小牧LC
* 助言者	地区会計監査		L 尾崎 徹	苫小牧白鳥LC
* 助言者	地区会計監査		L 平舘 正彦	苫小牧ハスカップLC
* 助言者	キャビネット副幹事		L 後藤 彰	函館北斗LC
* 助言者	キャビネット副会計		L 渡辺 俊二	函館北斗LC
* 助言者	前地区キャビネット会計		L 玉井 大輔	函館東LC
* 助言者	前地区会計監査		L 生田 豊	函館海峡LC
* 助言者	前地区会計監査		L 明石 明彦	函館中央LC
* 司会者	第1R第1Z	ゾーン委員	L 種市 誠	松前LC
* 記録者	第5R第1Z	ゾーン委員	L 小沼 和夫	苫小牧ハスカップLC
* 記録者	キャビネット運営副委員長		L 久保 真一	苫小牧中央LC
* 記録者	キャビネット運営委員		L 中山 智仁	新冠LC
* 記録者	キャビネット運営委員		L 柴田 義継	苫小牧中央LC

## 第 2 分 科 会

【 次世代リーダー研究 / 環境保全・社会福祉 / エコー・IT /  
地区大会・国際大会国際関係 / GMT / FWT 】

- |       |   |        |
|-------|---|--------|
| 第1号議案 | 次世代リーダー研究会の維持について<br>*説明者 次世代リーダー研究委員会委員長   | L小坂 直江 |
| 第2号議案 | 環境保全・社会福祉について<br>*説明者 環境保全・社会福祉委員会委員長       | L小坂 直江 |
| 第3号議案 | エコー・ITについて<br>*説明者 エコー・IT委員会委員長             | L廣澤 隆  |
| 第4号議案 | 地区GMT報告 会員動静について<br>*説明者 地区GMTコーディネーター      | L庄司 典弘 |
| 第5号議案 | FWT・支部・スペシャリティクラブについて<br>*説明者 地区FWTコーディネーター | L荒川 祥子 |
| 第6号議案 | その他   |        |

## 《 第2分科会構成員 》

* 委員長	第2R第2Z	ゾーンチェアパーソン	L 佐藤 裕	倶知安LC
* 副委員長	第3R第2Z	ゾーンチェアパーソン	L 門脇 宏幸	室蘭東LC
* 副委員長	第3R第1Z	ゾーンチェアパーソン	L 片岡 雄也	伊達LC
* 助言者	第2副地区ガバナー		L 高橋 伸介	室蘭東LC
* 助言者	元地区ガバナー		L 中村 全博	小樽LC
* 助言者	元地区ガバナー		L 本所 光男	室蘭東LC
* 助言者	元地区ガバナー		L 高橋 和雄	苫小牧LC
* 助言者	元地区ガバナー		L 荒川 隆志	室蘭東LC
* 助言者	地区GMTコーディネーター		L 庄司 典弘	室蘭LC
* 助言者	地区FWTコーディネーター		L 荒川 祥子	倶知安LC
* 助言者	地区ECHO・IT委員長		L 廣澤 隆	苫小牧中央LC
* 助言者	地区大会・国際大会委員長		L 大西 政春	苫小牧白鳥LC
* 助言者	地区次世代リーダー研究・環境保全・社会福祉委員長		L 小坂 直江	むかわLC
* 司会者	第2R第2Z	ゾーン委員	L 古谷 征宗	倶知安LC
* 記録者	第3R第2Z	ゾーン委員	L 西條 隆	室蘭東LC
* 記録者	第3R第1Z	ゾーン委員	L 小杉 芳昭	伊達LC
* 記録者	キャビネット運営副委員長		L 針生 政秀	苫小牧白鳥LC
* 記録者	キャビネット運営委員		L 佐藤 重則	苫小牧ハスカップLC

### 第 3 分 科 会

#### 【 視聴力障害糖尿病献眼献血 /ライオンズクエスト /YCE / 薬物乱用防止 /LCIF / エクステンション】

- |       |   |        |
|-------|---|--------|
| 第1号議案 | 視聴力障害・糖尿病・献眼献血プログラムの推進について<br>*説明者 視聴力障害糖尿病献眼献血委員会委員長 | L佐藤 聖  |
| 第2号議案 | ライオンズクエストの継続について<br>*説明者 ライオンズクエスト委員会委員長              | L林 謙治  |
| 第3号議案 | YCEプログラムの促進について<br>*説明者 YCE委員会委員長                     | L林 謙治  |
| 第4号議案 | 薬物乱用防止について<br>*説明者 薬物乱用防止委員会副委員長                      | L林 謙治  |
| 第5号議案 | LCIF献金及びMJF献金への取り組みについて<br>*説明者 LCIF委員会委員長            | L富田 明久 |
| 第6号議案 | エクステンションについて<br>*説明者 エクステンション委員長                      | L富田 明久 |
| 第7号議案 | その他   |        |

## 《 第3分科会構成員 》

* 委員長	第4R第2Z	ゾーンチェアパーソン	L 石原 論	八雲LC
* 副委員長	第5R第2Z	ゾーンチェアパーソン	L 吉田 浩子	むかわLC
* 副委員長	第2R第1Z	ゾーンチェアパーソン	L 狩野 敏哉	余市LC
* 助言者	元地区ガバナー		L 須藤 敏幸	伊達LC
* 助言者	元地区ガバナー	長期計画リサーチ委員長	L 北島 孝雄	木古内・知内LC
* 助言者	元地区ガバナー		L 佐々木 忠康	小樽LC
* 助言者	元地区ガバナー		L 小玉 誠	苫小牧白鳥LC
* 助言者	元地区ガバナー		L 後藤 忍	函館グリーンLC
* 助言者	地区LCIF副コーディネーター		L 作並 真一	函館みなとLC
* 助言者	地区LCIF・エクステンション委員長		L 富田 明久	苫小牧ハスカップLC
* 助言者	地区視聴力障害・糖尿病・献眼献血委員長		L 佐藤 聖	苫小牧白鳥LC
* 助言者	地区ライオンズクエスト・YCE・薬物乱用防止委員長		L 林 謙治	苫小牧中央LC
* 司会者	第4R第2Z	ゾーン委員	L 稲見 裕一	八雲LC
* 記録者	第5R第2Z	ゾーン委員	L 渋谷 昌彦	むかわLC
* 記録者	第2R第1Z	ゾーン委員	L 堀川 一	余市LC
* 記録者	キャビネット運営委員		L 阿部 一二	安平LC
* 記録者	キャビネット運営委員		L 高田 芳和	厚真LC

(桃色)

ライオンズクラブ国際協会331-C地区  
次期(2024-2025年度)

**地区ガバナー投票用紙**

\*賛成の場合は○ 賛成しない場合は×

次期地区ガバナー  
L齋藤 尚仁

○・×いずれかを記入

※○・×以外の記号又は文字を記したものは無効とします。

※未記入(白紙)の場合は無効とします。

(水色)

ライオンズクラブ国際協会331-C地区  
次期(2024-2025年度)

**第一副地区ガバナー投票用紙**

\*賛成の場合は○ 賛成しない場合は×

次期第一副地区ガバナー  
L高橋 伸介

○・×いずれかを記入

※○・×以外の記号又は文字を記したものは無効とします。

※未記入(白紙)の場合は無効とします。

(黄色)

ライオンズクラブ国際協会331-C地区  
次期(2024-2025年度)

**第二副地区ガバナー投票用紙**

\*賛成の場合は○ 賛成しない場合は×

次期第二副地区ガバナー  
L山本 憲治

○・×いずれかを記入

※○・×以外の記号又は文字を記したものは無効とします。

※未記入(白紙)の場合は無効とします。

## 【クラブ提出議案】

### \*議案1号 第3R 第1Z 伊達ライオンズクラブ\*

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区会則

第5条(キャビネット役員)3項(2)

各地区委員長は、クラブ会長又は幹事・会計経験者から地区ガバナーが任命する。

となっておりますが、各地区副委員長経験者の追加を提案します。

(なり手不足解消及び広く人材登用の為)

第3R 第1Z 伊達ライオンズクラブ会長 L 木谷由紀男

### \*提出議案なし\*

函館 LC、江差 LC、北檜山 LC、奥尻 LC、函館北斗 LC、木古内・知内 LC、松前 LC、函館一楽 LC、

小樽 LC、余市 LC、岩内 LC、黒松内 LC、

小樽中央 LC、倶知安 LC、小樽みなと LC、ニセコ LC、小樽うしお LC、

室蘭 LC、洞爺 LC、

登別 LC、室蘭東 LC、白老 LC、登別中央 LC、

函館東 LC、函館海峡 LC、上磯 LC、函館元町 LC、函館臥牛 LC、

八雲 LC、森 LC、函館中央 LC、函館グリーン LC、函館みなと LC、

苫小牧 LC、静内 LC、新冠 LC、苫小牧ハスカップ LC

むかわ LC、苫小牧中央 LC、安平 LC、厚真 LC、苫小牧白鳥 LC、



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執-35>

### 日本ライオンズからの上程議案集

#### 【第1号議案】ライオンズ必携第61版 複合地区会則改正の件（訂正を含む）

提案者：一般社団法人日本ライオンズ 23-24 年度会則委員長 松本 宰史

説明者：各複合地区会則委員長

#### 【第2号議案】ライオンズ必携第61版 国際理事候補者資格審査委員会規則改正の件

提案者：一般社団法人日本ライオンズ 23-24 年度会則委員長 松本 宰史

説明者：各複合地区会則委員長

※第1号・2号議案につきまして、本来は年次大会決議で事前に御承認を頂くところですが、発行スケジュールとの関係により、今回の改正につきましては発行後の事後承認を頂くことが、2023年11月15日開催 一般社団法人日本ライオンズ第5回理事会にて了承をされました。

#### 【第3号議案】第62回 OSEAL フォーラム（札幌）協力金の件

提案者：331 複合地区ガバナー協議会議長 松浦 淳一

第62回 OSEAL フォーラム委員長予定者 鶴嶋 浩二

説明者：各複合地区 協議会議長

※2024年2月26日開催 一般社団法人日本ライオンズ第8回理事会へ上程され承認されました。

#### 【第4号議案】一般社団法人日本ライオンズ 賛助会費の件

提案者：一般社団法人日本ライオンズ理事長 田名部 智之

説明者：各複合地区 協議会議長

※賛助会費を80円として一本化する件については、2016年8月1日開催日本ライオンズ第3回理事会で採択され、同年10月3日開催 第1回社員総会において決議されました。したがって、再度の見解の統一とご確認をいただくために年次大会への上程をお願いすることが、去る2024年1月19日に開催された、第7回理事会にて申し合わされました。

以上

A decorative, ornate frame with intricate scrollwork and floral patterns, rendered in a light blue color. It surrounds the central text.

# 国際レベル

● 2024-2025 年度国際平和ポスター・コンテスト





LIONS INTERNATIONAL

# PEACE POSTER

## 2024-2025年度国際平和ポスター・コンテスト

平和ポスター・コンテストは30年以上の歴史があるプログラムで、世界各国のライオンズクラブが11歳から13歳の子どもたちを対象に実施する芸術コンテストです。日々のニュースで戦争の恐ろしさや平和の大切さを実感している今こそ、平和ポスター・コンテストを通じて地域の子供たちに平和について考え、自らのビジョンを表現する機会を提供しませんか？

◆国際平和ポスター・コンテストのオフィシャルページは[こちら](#)

◆パティ・ヒル国際会長からのコンテストについてのメッセージビデオは[こちら](#)（日本語の字幕が設定できます）

### 前年度の受賞作品一例



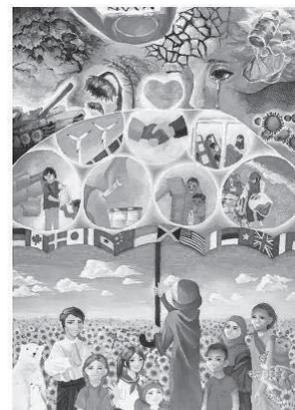
2022～23年度優秀賞受賞者

メイファン・スー  
12歳  
中国



2022～23年度大賞受賞者

エマ・アンドレア・バヴェリユーク  
13歳  
ルーマニア



2022～23年度優秀賞受賞者

今田柚妃  
12歳  
日本

## ◆平和ポスター・コンテストの流れ

1. コンテストは地域内の学校または青少年グループを対象に実施します。まずはコンテストを宣伝し、参加する学校や青少年グループを募ります。
  2. コンテストの実施が決まったら、平和ポスター・キットをライオンズ・ショップから購入します。平和ポスター・キットの中身を知りたい場合は、「平和ポスター・キット開封の儀」の動画をご覧ください。コンテストの進め方について知ることもできます。
  3. 地区審査が行われる日程を確認し、地区ガバナーにクラブがコンテストに参加することを伝えます。
  4. 子供たちのポスターが集まったら審査を実施し、入賞作品1点を選考します。
  5. 入賞作品を地区審査のために地区ガバナーに送ります。
  6. 地区審査でも入賞作品1点が選ばれ、複合地区協議会事務局へ送られます。
  7. 複合地区で選ばれた1点が国際審査のために本部へ送られます。
  8. 芸術家、青少年関係者、教育関係者、平和論者等が審査員を務めて、国際審査が行われ、23点の優秀賞受賞作品と1点の大賞受賞作品が選ばれます。
- ※上記は大まかな流れです。コンテスト実施手順の詳細は平和ポスター・キットに同梱の「クラブ・コンテスト公式ガイド及び既定」をご確認ください。

## ◆審査基準とテーマ

平和ポスターの審査基準は独創性・芸術的価値・テーマの表現力の3点です。テーマは毎年変わり、2024-2025年度平和ポスター・コンテストのテーマは「**限りない平和**」です。今年度は、限りない平和の理念を追求すれば、私たちの世界を思いやりで満たす無限の可能性のあることを伝えるポスターの制作を、若い生徒たちに呼び掛けています。

平和ポスター・キットを購入



### 【お問い合わせ先】

コンテストに関するご質問は、以下にお問い合わせください。また、次ページの「よくある質問Q&A」もあわせてご確認ください。

ライオンズクラブ国際協会オセアル調整事務局 担当：桜澤（かばさわ）

電話： 050-1791-5822 / Email : [Shopjapan@lionsclubs.org](mailto:Shopjapan@lionsclubs.org)



# よくある質問 Q&A

---

Q. 平和ポスター・キットはどのように入手できますか？

A. ライオンズ・ショップ <https://lionsclubsjapan.myshopify.com/products/ppk1> から購入可能です。

Q. なぜキットを購入する必要があるのですか？

A. 一つのコンテストにつき、一式の平和ポスターコンテストキットを購入しなければなりません。各コンテストで入賞作品1点を選考し、キットに含まれている入賞作品ステッカーをポスターの裏の右下に貼る必要があるためです。入賞作品ステッカーが付いていないポスターは失格となります。

Q. キットの価格はいくらですか？

A. 1,640 円です。

Q. 販売期間はいつからいつまでですか？

A. 2024 年1 月15 日～10 月1 日です。

Q. 注文から納品までどのくらいかかりますか？

A. 通常発送でご注文から 10～14 日位かかります。お急ぎの場合はご連絡ください。

Q. 学校単位ではなく個人で参加できますか？

A. このコンテストは、ライオンズクラブが主催し、学校や青少年グループ単位での参加となります。

Q. 年齢制限はありますか？

A. 11 歳から13 歳の子どもたちが参加可能です。

Q. 過去の受賞作品を見ることはできますか？

A. 前年度の受賞作品ならびに歴代の大賞受賞作品は [平和ポスターコンテストのウェブページ](#) からご覧になれます。

Q. コンテストにはどのような賞があるのですか？

A. コンテストを主催するクラブ、地区、複合地区での各選考に段階で、それぞれ賞を授与することができます。国際協会に推薦される作品の中から、優秀賞が選ばれ、賞金と賞状が授与されます。優秀賞の中から大賞が1 点選ばれます。大賞に選ばれた作品の受賞者とスポンサークラブはニューヨークの国連本部での表彰式に出席し、賞金と楯を授与されます。





## ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト 地区平和ポスター・コンテスト委員長ガイド

地区平和ポスター・コンテスト委員長は、地区ガバナーと共に活動をとりまとめ、コンテストの成功について地区ガバナーに伝え、地区ガバナーが必要とすれば力添えをすることが期待されています。

### 歴史

平和ポスター・コンテストは、世界平和への気持ちを独創的に表現し、そのビジョンを世界に伝える機会を子供たちに提供するため、1988年に設けられました。毎年、75ヶ国の約600,000人の子供たちがコンテストに参加しています。

このコンテストは、ライオンズクラブがスポンサーとなり実施します。地元の小学校又はボーイスカウト・ガールスカウトや学童教育などの後援・組織されている青少年グループに所属する、11歳から13歳の子供が参加することが出来ます。コンテストは、ライオンズが地域社会内で若者たちと交流し、青少年が国際相互理解に関心を持つきっかけとなると共に、ライオンズクラブについての良いイメージ作りや広報活動の手段ともなるでしょう。

### 準備開始

まず、コンテストについて熟知する必要があります。このガイドには、コンテスト規定、条件、役立つヒントなど、必要な情報が記載されています。併せて下記の資料もご活用ください。

- [協会ウェブサイト内の平和ポスター・コンテストのページ](#)
- ライオン誌、Eニュースレターの記事

オセアル調整事務局から無料で取り寄せられる資料については、このガイドにある「入手可能な参考資料」の箇所をご参照ください。

### クラブに参加を促す

熱意を込めて参加を促すことが、コンテスト実施に大きく影響します。自分が地区の平和ポスター・コンテスト委員長であり、どんな役を担っているかをクラブに伝え、必要な連絡先や情報を知らせましょう。下記のアイデアを使って、コンテストをスポンサーするよう地区内クラブを奨励してください。

**地区会報やウェブサイト、ソーシャルメディア（Facebook や Twitter など）に特別記事を掲載する：**地区マーケティング委員長と協力して、地区会報やウェブサイトに載せる記事を作成しましょう。コンテストに参加する方法、クラブが参加すべき理由、コンテスト締め切り日、地区入賞者に関する事後ニュース、次の段階の審査過程への入賞者の進出状況、コンテスト応募作品の写真、地区ウェブサイトから国際ウェブサイトへのリンクなどの情報を含めます。クラブのコンテストが好意的に報道された場合には、ぜひ紹介しましょう。

**コンテスト説明の準備：**平和ポスター・コンテストのビデオ（DVD をオセアル調整事務局より入手可、または [www.lionsclubs.org](http://www.lionsclubs.org) からダウンロード可）を見せ、平和ポスター・コンテスト・チラシを配って、コンテスト参加を地区内のクラブに促します。コンテストは地域社会の青少年と交流する機会であり、良いイメージの報道を受けるチャンスでもあることを強調してください。以前の参加者（生徒、教師、審査員など）に、ためになった経験談を話してもらうことも検討すると良いでしょう。また、クラブが入手できる資料や、コンテストの締切日なども伝えます。

**展示：**地区大会で展示会を催します。人々の関心を引く色彩豊かな展示会にするため、前年の平和ポスター、以前の参加者の感想を載せた展示物またはバナー、広報資料切り抜きの寄せ集め、以前のコンテストからの切り抜きスクラップブックなどを活用しましょう。平和ポスター・コンテストのDVD（オセアル調整事務局より入手可）や、テレビの報道を受けた場合にはその際のニュースクリップを紹介すると良いでしょう。配布用に平和ポスター・コンテストのチラシを用意しておきます。

ヒント：地区大会で平和ポスター・コンテスト・セミナーを開催することをご検討ください。

## クラブの広報活動に協力する

コンテストの主な利点の一つは、コンテスト実施がクラブや地区に対するポジティブな報道を受ける機会となることです。報道してもらうためには、まずそのための努力が必要です。コンテスト・キットの中には、クラブのためにニュースリリース見本と広報の案が入っています。クラブと地区のマーケティング委員長に問合せ、報道記事をタイミング良くマスコミに送ったかどうか確認するなど、できる限りのサポートを提供しましょう。

## コンテストの審査

生徒たちの想像力をひらめかせるため、毎年新しいテーマが選ばれます。テーマの表現、芸術的な技巧、独創性が、すべての審査過程でポスターを評価するために使われる3つの基準となります。

クラブがスポンサーするコンテスト 1 件毎に、一人の入賞者が選ばれて地区審査に進出します。地区レベルでも入賞作品が 1 点選ばれて、複合地区協議会議長に送られます。複合地区が次に、ポスターを 1 点選んで国際審査のために国際本部に送ります。注：地区に属さないクラブおよび単一地区は、作品を直接国際本部に送ります。

国際審査では、芸術家、青少年関係者、教育関係者、平和論者等が審査員を務め、23 点の優秀賞受賞作品と 1 点の大賞受賞作品が選ばれます。



# ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト

## コンテスト・アワード

大賞入賞者は、国連ライオンズ・デーでの賞贈呈式（変更の可能性あり）に無料招待されます。この式典で入賞者は、US\$5,000（または地元通貨での相当額）の賞金とアワードを受け取ります。家族二人（このうち一人は子どもの親または法的保護者）およびスポンサー・ライオンズクラブの会長又はクラブ会員（クラブ会長指定）が、式典に同伴します。

23人の優秀賞受賞者には、US\$500の賞金（または地元通貨での相当額）と表彰状が贈られます。最終審査に進んだ24点のポスターは更に、国際大会で展示されます。

注意: クラブ、地区、複合地区は、自分たちの判断に基づいて地元のレベルで追加的に賞を贈ることが出来ます。協会ウェブサイト ([www.lionsclubs.org](http://www.lionsclubs.org)) の平和ポスター・コンテストのページからは、Honorable Mention (佳作) 表彰状 (PPC 790) を印刷することが出来ます。この表彰状は、オセアル調整事務局に連絡して取り寄せることも可能です。

## コンテスト・キット

クラブは、スポンサーする各コンテストにつき一式の平和ポスター・コンテスト・キットを注文しなければなりません。平和ポスター・コンテスト・キット(PPK-1)は、ライオンズ・ショップからオンラインで注文が可能です。キットには下記が含まれます:

- **クラブ・コンテスト公式ガイド及び規則(PPC-1)**
- **学校または青少年グループ・コンテスト公式ガイド及び規定\*(PPC-2)**
- **参加者用チラシ\*(PPC-3)** コピーして、参加する生徒が持ち帰れるように配布。
- **受賞ポスターの裏に貼るステッカー (PPC-4)**
- **表彰状** コンテスト入賞者用(PPC-5)とスポンサーされた学校又は青少年グループ用(PPC-6)

\*クラブは、この2種類の資料だけを参加する学校又は青少年グループに渡します。キット内の他の資料は、クラブが保管します。

## コンテスト締め切り日

下記の締め切り日を守らない応募作品は失格となります。

**1月15日**

コンテスト・キット販売開始

**10月1日**

キットを購入出来る締め切り日

**11月15日**

クラブが（スポンサーした各コンテストにつき）受賞ポスター1点を地区ガバナーに送る期限（消印有効）

**12月1日**

地区ガバナーが地区の入賞ポスター1点を、複合地区協議会議長に送る期限（消印有効）

**12月1日**

複合地区に属さない地区のガバナーが入賞ポスター1点を、国際本部のブランド&クリエイティブ課に送る期限（消印有効）

**12月1日**

地区に属さないクラブが入賞ポスター1点を、国際本部のブランド&クリエイティブ課に送る期限（消印有効）

**12月15日**

複合地区協議会議長が複合地区の入賞ポスター1点を、国際本部のブランド&クリエイティブ課に送る期限（消印有効）

**2月1日**

国際レベルのコンテスト入賞者は、この日迄に通知を受ける

## ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト

### コンテストの規定及び条件

クラブ、地区、複合地区は、入賞作品を次の審査に送る前に、基準のすべてに沿っていることを確認します。下記の規定及び条件に沿っていない応募作品は失格となります。

- ライオンズクラブだけが、地元の学校、あるいは YMCA プログラム、ボーイスカウト、ガールスカウトなど後援されて組織されている青少年グループでのコンテストをスポンサーすることができます。注意: レオクラブ又はスカウト部隊などライオンズクラブがスポンサーする青少年グループでコンテストを行うことはできません。しかし、これらグループ（レオ又はスカウトなど）の個々のメンバーは、自分の学校又は他の青少年グループで行われるコンテストに参加できます。
- コンテストには、11月15日に11歳、12歳、又は13歳である生徒が参加できます。参加できる生徒の誕生日については、コンテスト・キットに掲載されています。
- コンテストのテーマは毎年変わり、コンテスト・キットに掲載されています。
- 作品は、33センチ×50センチ（13インチ×20インチ）以上で、50センチ×60センチ（20インチ×24インチ）以下でなければなりません。台紙に貼ったり、額に入れたりしてはいけません。
- 生徒一人につき1点だけ提出できます。生徒が単独で作成した作品でなければなりません。
- ポスターは、個々の生徒独自の作品でなければなりません。複製は受け付けられません。
- 全ての絵画用具が認められます。注意: チョーク、木炭、パステルを使用した場合には、かすれ防止のスプレーで処理します。作品をラミネートしてはなりません。
- 立体作品は受け付けません。のり、テープ、ホッチキスなどでいかなる物もポスターに添付してはなりません。
- ポスターの表には、どの言語であれ、文字や数字を使ってはいけません。作製者の署名やイニシアルは、ポスターの裏面に記入してください。

- 応募作品は、郵送用の円筒に巻いて入れられるように柔軟性のある物でなければなりません。ポスターを折らないでください。

作品提出の遅延あるいは紛失、提出宛先の間違い、応募に際して書かれた文字が読み取れない作品については、参加者側の責任となります。郵便料不足で送付された作品は失格となります。ライオンズクラブ国際協会は、審査中の作品の破損、破壊、紛失に対し責任を負いません。作品の受領について本部から連絡はいたしません。作品は返却されません。受領した時点で、作品はライオンズクラブ国際協会の所有物になります。ライオンズクラブ国際協会の書面による許可がなければ、平和ポスター・コンテストの絵を使う事はできません。

平和ポスター・コンテストに応募することで、参加者は、ライオンズクラブ国際協会の推進及び広報の目的で自分の氏名及び写真が使用されることに同意します。更に、国際大賞受賞者、二人の家族（1人は親又は保護者）並びにコンテストをスポンサーしたクラブ会長又はクラブ会員（クラブ会長指定）は、「国連ライオンズ・デー」（変更の可能性あり）での賞贈呈式に出席する必要があります。一度国際大賞受賞者に選ばれると、ライオンズクラブ国際協会がスポンサーする今後の平和ポスター・コンテストで賞を受ける資格はなくなります。応募する事により参加者は、これらの規定並びに審査員及びライオンズクラブ国際協会の決断に従う事に同意します。

ライオンズクラブ国際協会は、いつでも通知なしにコンテストを取りやめることができます。コンテストは、禁止されたり、課税されたり、法律で制限されているところでは無効です。



## ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト

### 入手可能な参考資料

ブランド&クリエイティブ課には、委員長及び地区内クラブのために役立つ参考資料が用意されています。下記資料は無料で提供されるもので、ライオンズクラブ国際協会ウェブサイト ([www.lionsclubs.org](http://www.lionsclubs.org)) に掲載されています。

ウェブサイトの平和ポスター・コンテストのページ – ライオンズクラブ国際協会のウェブサイトにある平和ポスターのページに行けば、過去の大賞受賞作品や優秀賞受賞作品を見たり、コンテストについての追加情報を得たり、資料 (*Honorable Mention* 《佳作》表彰状や平和ポスタービデオなど) をダウンロードすることができます。

平和ポスター・コンテスト・チラシ(PR775) – このカラー出版物には、コンテストの説明が載っています。配布用に注文も出来ます。ライオンズ及び非ライオンズのどちらにも適した内容で、全公式国語で作成されています。ダウンロードは[こちら](#)から。

平和ポスタービデオ – このビデオ (英語のみ、字幕あり) は、ライオンズ及び非ライオンズのどちらにも適した内容で、オンラインで視聴が可能です。また、オセアル調整事務局に連絡すれば DVD を取り寄せることもできます (1枚のみ)。

平和ポスター・キット開封の儀:

平和ポスター・コンテストのキットを開梱し、その中に含まれているものについて説明する動画。

### 質問/リクエスト

ライオンズクラブ国際協会  
オセアル調整事務局

電話: 050-1791-5820  
ファックス: 03-6745-1777  
電子メール: [shopjapan@lionsclubs.org](mailto:shopjapan@lionsclubs.org)  
ウェブサイト: <https://www.lionsclubs.org/ja>



# 日本レベル

- 2023-2024 年度 第 2 回国際大会委員会議事要録
- 2023-2024 年度 第 3 回国際大会委員会 (Web) 議事要録
- 2023-2024 年度 第 4 回国際大会委員会 (Web) 議事要録
- 2023-2024 年度 第 5 回国際大会委員会 (Web) 議事要録
- 2023-2024 年度 第 4 回理事会議事要録
- 2023-2024 年度 第 5 回理事会議事要録
- 2023-2024 年度 第 2 回定時社員総会 (全国ガバナー会) 議事要録
- 2023-2024 年度 第 2 回 YCE 委員会議事要録
- 2023-2024 年度 第 3 回 YCE 委員会議事要録
- 2023-2024 年度 第 4 回 YCE 委員会 (Web) 議事要録
- 2023-2024 年度 臨時アラート委員会 (Web) 議事要録
- 2023-2024 年度 第 3 回アラート委員会議事要録
- 2023-2024 年度 第 4 回アラート全体会議および  
第 1 回能登半島地震支援対策本部会議 (Web) 議事要録
- 2023-2024 年度 第 4 回会則委員会 (Web) 議事要録
- 2023-2024 年度 第 5 回会則委員会 (対面) 議事要録
- 2023-2024 年度 第 6 回会則委員会 (Web) 議事要録
- 2023-2024 年度 第 7 回会則委員会 (Web) 議事要録
- 2023-2024 年度 第 7 回ライオン誌日本語版委員会議事要録
- 2023-2024 年度 第 8 回ライオン誌日本語版委員会議事要録





一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

一般社団法人日本ライオンズ発行文書 <2023-24-C-M-02>

「第 2 回国際大会委員会」議事要録

作成人：

第 1 部：MD337 国際大会委員 曾山純廣

第 2 部：MD330 国際大会委員 伊賀則夫

開催日 2023 年 9 月 12 日

◎出席者：

国際理事

2022-24 国際理事/LCI 大会委員会	鶴嶋 浩二 (札幌中島 LC)	【Web】
2023-25 国際理事	城阪 勝喜 (大阪港 LC)	【欠席】
2023-25 国際理事	濱野 雅司 (岩槻 LC)	【対面】

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部 智之 (八戸 LC)	【Web】
副理事長/国際大会委員会副委員長/MD331 議長	松浦 淳一 (岩見沢はまなす LC)	【Web】
専務理事	増澤 義治 (諏訪湖 LC)	【対面】

国際大会委員会

委員長	吉村 弘吉 (和歌山 LC)	【対面】
-----	----------------	------

各複合地区国際大会委員

MD330 委員長	伊賀 則夫 (東京葵 LC)	【対面】
MD331 委員長	本所 光男 (室蘭東 LC)	【Web】
MD332 委員長	村上 孝 (水沢中央 LC)	【Web】
MD333 委員長	岡野 良男 (土浦環 LC)	【Web】
MD334 委員長	大山 恭範 (一宮 LC)	【Web】
MD335 委員長	江草 長史 (和田山 LC)	【Web】
MD336 議長	澤 辰水 (下関 LC)	【Web・代理出席】
MD337 委員長	曾山 純廣 (霧島みらい LC)	【対面】



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

一般社団法人日本ライオンズ発行文書 <2023-24-C-M-02>

オブザーバー

330-C 地区キャビネット国際大会委員	井上 賢一 (白岡 LC)	【Web】
MD331 国際大会副委員長	齊田 博文 (札幌レ・リアン LC)	【Web】

各複合公認ツアーコーディネーター

MD330・MD333	加藤 勉	【対面】
MD331	中牟田 憲一 (株) JTB	【Web】
MD332	川村 勲 (名鉄観光サービス(株))	【Web】
	吉田 明弘 (名鉄観光サービス(株))	【Web】
MD334	丹羽 祐太 (株) JTB	【対面】
MD335	沼間 章作 (株) JTB	【対面】
MD336	金子愛梨佳 (近畿日本ツリスト(株))	【対面】
MD337	園田 花奈 (株) JTB	【Web】

オブザーバー (各複合公認ツアーコーディネーター)

MD330-A	嶋田 誠幸 (株) ジェイワールド・トラベル	【欠席】
MD330-A	峰村 篤 (株) 峰観光社	【Web】
MD330-B	豊島 隆志 (株) JTB	【欠席】

以上



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

一般社団法人日本ライオンズ発行文書 <2023-24-C-M-02>

## 第1部 公認TC打ち合わせ会議

増澤専務理事 開会宣言

田名部理事長 挨拶

お疲れ様です。お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。オセアルフォーラムの出席数目標が具体的になりました。

各クラブ、最低一人くらいはお出しして頂ければ目標達成できそうです。

ツアーコーディネーターにも出席いただいている。より良い大会になるように期待しています。よろしくをお願いします。

吉村委員長

・出席者状況確認とオブザーバー参加者の紹介後、参加者ツアーコーディネーター（資料参照）紹介。

本日の議題は、メルボルンでの日本ホテル候補の選定、各MD公認TCの要望（部屋数等）、8MD公認TCをまとめる、幹事会社の決定です。

重要なのは情報共有なので忌憚のない意見ををお願いします。ただし、挙手指名の後に発言をお願いします。

最後に議事録作成人を指名します。MD330伊賀委員長が不在なのでMD337曾山委員長にお願いします。

鶴嶋国際理事、ご挨拶等をお願いします。

鶴嶋国際理事：お疲れ様です。まず国際大会についての説明をします。例年LCIが各国へホテルを割り当てしていたが、モントリオール大会からデポジットの支払いをした上でのグループ登録となりました。世界的にはいいが日本の文化にはそぐわず、日本は従来とおり、ツアー会社を通じた登録の要望をLCI大会委員会へ出し、承認を頂いている。

ホテルについて、公認ツアー会社を使用すれば料金が高い等の誤解があった。公認TCにキックバック等はない。公認TCを通じた登録者数により、コンベンションセンターの利用等便宜を図ってもらっている。

公認ツアー会社を使用しない弊害もあり、例えば公認以外の業者による、バスを停めてはいけない場所での停車など問題が起こっている。LCI大会委員会でもきちんと一年間の任期で公認TCを任命するようになっている。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

一般社団法人日本ライオンズ発行文書 <2023-24-C-M-02>

ホテルは日本のツアー会社内で独自に話をして決めていただき、それを前提に LCI へ各種要望をしていく。ホテルでの日本食の提供の要望にも応えられるようにする。ホテル移動等の問題も日本のホテルを一棟決定することで、バス等交渉していきたい。良いホテルを探していただき、そして来年のメルボルン大会に 1 名でも多い参加をお願いして挨拶といたします。

濱野国際理事：一人でも多くの方に国際大会・フォーラムへ行っていたきたい。観光だけではなく最低限、国際協会のイベントに参加していただきたい。ホテル代や登録料等高くなっており、参加者が集めにくい状況ですが、現地へ参加することの魅力も皆様へぜひお伝え願いたい。

吉村委員長：それでは本格的議事に入ります。資料 ABC とお手元にありますでしょうか。

A については公認 TC の名簿です。B は規定です。コーディネーターの資格要件をご確認ください（資料読み上げ）。後日、公認 TC には各議長による正式な任命書の提出をいただき、議長各位には大会委員会宛に任命報告をお出しいただく。任期は 1 年、適用行事はオセアルフォーラム等です。なお、YCE 事業における TC の検認についても検討中。規定にあります通り各 MD の範囲内のみでの営業をお願いします。JTB が 3 MD より来られていますが、営業所単位ですので営業範囲内と解釈し、各地区より指定いたします。ウイントラベルは MD330・330 兼任だが、本日は 330 までご参加いただき、MD 333 は別途、別の営業所を登録いただきたい。（旅先での）ルールの順守をお願いします。ご質問等ありますか

MD330 公認 TC（ウイントラベル）：公認 TC 規定について、第一条の①・③は現在同じ文言となっている。第 1 種の業者は官公庁のみなので③は削除でよろしいのではないかと。

吉村委員長：この文言については別途検討していく。

メルボルン大会では LCI がホテルの割り当てをしない。

幹事会社となる公認 TC を 8 MD の公認 TC で互選いただき、ホテル選定や部屋の確保等を進められるようにすることが本日の議題です。資料 C はあくまで参考情報です。特に議題にはあがりません。メルボルンでは日本ライオンズ・公認 TC を通じて登録を行う。

個人登録も可能ですが、責任は負いかねますのでその旨お伝えください。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

一般社団法人日本ライオンズ発行文書 <2023-24-C-M-02>

・登録料の確認の後、メルボルンのホテルについての意見が求められ、選定後に鶴嶋国際理事よりシヤトルバス等交渉いただく件が伝えられた。

MD335 公認 TC(JTB)：現地からの情報によると、LCI で確保されているホテルが 2 つある。いくつかあっているが、数百人が一か所に泊まれるホテルはない。90-100 室程度が上限。2 つか 3 つのホテルを抑えるしかない。

吉村委員長：幹事会社、サブ幹事会社という方法にホテルごとに本部を置くのがいいということですね。

MD335 公認 TC(JTB)：ホテルごとに本部を置く方式がよい

MD330 公認 TC (ウィントラベル)：分けて取っていかないといけない。抑えた部屋数分が宿泊しなかった場合はペナルティもあることを念頭に。

MD336 公認 TC(近畿日本ツーリスト)：近年は集客が少なく、どの程度の方が参加、バス利用をされるか。

吉村委員長：国際理事にお聞きしたいのですが、物理的に一つのホテルは難しく 2～3 か所に散らばった場合、各ホテルへバスをとというのはできますか。

鶴嶋国際理事：バスについてはすべてのホテルが近隣だと可能かと思われる。ホテルを LCI が確保しても泊まらない方がいたことが、今回 LCI でホテルを指定しなくなったことの発端である。そのうえ、公認ツアー会社以外が紹介し、約束した人数が宿泊しなかった。部屋数が取れないのであれば LCI にホテルを指定してもらうのもよいが、ツアー会社はそれでよいか。元に戻すのは無理ではないが、LCI が指定した場合、ツアーが組みにくくなるという意見も聞いている。DGE,本部ホテルについて、本予約はまだであるとおもわれる。

ロータリークラブの大会が今年メルボルンで開催されたが、何万人行くと行ったにも拘わらず約束した人数が来ず問題になり、開催地が会場の貸し出しを渋っていることもある。ライオンズは本当にくるのかという問題もある。

ホテルを何か所に絞るかは決めていただきたい。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

一般社団法人日本ライオンズ発行文書 <2023-24-C-M-02>

吉村委員長：どれくらいの参加人数がいて、部屋を確保すべきか。そこから逆算した方がはやい。各MD単位での部屋の必要数、予想数字を教えてください。

(各公認TCによる予想数の報告)

330：180室

331：70～100人の参加なので、部屋数は55～60室

332：100室

333：80室

334：60室

335：120室

336：40室

337：50室

**合計：690室**

吉村委員長：この数字でホテルを絞りたいですがすぐ出ますか。

最低でも2、3には絞りたい。

MD335 公認TC (JTB) :すぐに絞るのは難しい。今後あたっていく。

MD334 公認TC (JTB) : 2,3のホテルで1つのバス、という形ができればよいと思う。

吉村委員長：バス停で待ってもらやり方にした方がいいということですね。

・川の北側にホテルが集中している件と、LCIのリストに載っているホテルであればバスが来ると思われるので、基幹ホテルを一か所決めてそこへバスを手配してもらう方法が提案される。

鶴嶋国際理事：これまではLCIが指定したホテルにシャトルバスを回す努力をしたが、今回はバスについてはLCI大会委員会でも未定である。

吉村委員長：ホテルが決まり次第、LCIにこのホテルをシャトルバスで回ってくださいとお願いするということですね



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

一般社団法人日本ライオンズ発行文書 <2023-24-C-M-02>

鶴嶋国際理事：今まで LCI が国ごとへ割り当てたホテルを利用しない現実があった。バスが止められるかどうかなどの物理的な面もあり、ホテルに必ずシャトルバスが来るとは限らない。

吉村委員長：現時点ではホテルは決めようがないですね

鶴嶋国際理事：前回話したのは、ボストン大会時の反省点。朝食会を急遽行うことになり、会場となるホテル手配が困難であった。DGE はホテルが離れており、早朝であったためバスで移動した。シャトルバス代金は社団にて負担となったが、受益者負担ではないのかと、監査にて監事の皆さんからも指摘があった。

公認ツアー会社に協力いただき、メインとなるホテルの中で朝食会またはジャパンナイトを開催していただきたい。LCI 手配のシャトルバスに関しては予定の人数が来なければ路線が減る。日本のシャトルバスについては参加登録人数やホテル等を固めていただき次回国際理事会で話をする。ある程度、本日話を固めていただきたい。

吉村委員長：朝食会、ジャパンナイトをメインのホテルで必ず開催しなければいけないので、ホテルは決めておかないといけない。10 月頭までに実務会議を開催する必要がある。今日の会議ではこれまでの国際大会と方向性が変わったことを公認ツアー会社に認識いただき、MD 単位で動いていただく必要があることを知っていただくことがメインでした。

鶴嶋国際理事のお話しでありました通り、日本ではまとまった動きをする必要があり、その段取りをしていただきたい。

今日はここで終了いたしますがご質問等ありますでしょうか。

MD330 公認 TC (ウイントラベル)：MCI での部屋の予約についてお尋ねしたい。ボストンでは公認 TC 届出を LCI へ送り、MCI が確保している部屋を予約した。

今回も LCI・MCI ですすでに押さえているホテルがあれば、そこを確保できればホテルを揃えることができるのでは。

鶴嶋国際理事：日本以外はホテルを個人取得。500 用意しても 200 しか使わないなどの報告があったがそれでは困る。LCI が押さえている部屋を分けてもらった方がやりやすいということですか。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

一般社団法人日本ライオンズ発行文書 <2023-24-C-M-02>

MD330 公認 TC (ウィントラベル) : ボストンの場合、予約した時点で送金をして部屋を確保していた。今回も新しく探すより、公認 TC で少しずつ抑えていくほうがいいのでは。

鶴嶋国際理事 : その場合は 200 ドルのデポジットが必要であり、できないツアー会社もあったため今回のようにしている。前の方法に戻るのが良ければそれは LCI に話します。

MD330 公認 TC (ウィントラベル) : (ボストン大会では) 基本的に MCI の手配しているホテルから部屋を取るようにとの指示がコーディネーターへ LCI よりあった。前回いくつかの会社が違うことをしてしまったためこのような話になっており、コーディネーター内で話会う必要がある。

鶴嶋国際理事 : 本来は 1 年ごとに公認 TC を任命する決まりだが、ここ数年は公認 TC として正式に任命されていない業者が動いていたのが実情。今回は公認 TC をしっかりと決めた上で委員会において話し合いをし、LCI への要望を出していただき、LCI からの注意事項に従って進めることを徹底してほしい。

吉村委員長 : この件について改めて 8 名の公認 TC と打ち合わせをし、日本として統一された動きをしていきたい。実務者会議を 10 月中には開催し、国際大会委員会および理事会へ決まった事項をあげていく。議長各位へは公認 TC へ認定書を出してもらい、次回持参してもらおう。

・資料をもとに、マニラフォーラム登録状況と目標数が確認される。

MD334 公認 TC (JTB) :

オセアルフォーラムでは、会場の SXM と本部ホテルの間のバスの用意はあるか。

・オセアルフォーラム開催には LCI は関与していない。10 年前のマニラフォーラムではシャトルバスが出ていた。事務局より実行委員会へ問い合わせる予定。

吉村委員長 : メルボルン大会では、日本として統一した動きを取らなければいけない。ある程度日本のホテルを決めて、日本ライオンズから全国へお知らせする。各 MD でホテル部屋数等、打ち合わせをしていただきたい。

募集は来年になるが、代議員会・ジャパンナイト開催は絶対に必要であり、現時点から話を進めておく。

幹事役 TC の決定については、8 人の公認 TC と話をさせていただく。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

一般社団法人日本ライオンズ発行文書 <2023-24-C-M-02>

10/2 対面にて、次回公認 TC との会議を開催したい。

(第 1 部終了)

## 第 2 部 第 2 回国際大会委員会

### ■第 106 回メルボルン国際大会 (2024/6/21(金)~6/25(火))

- ・メルボルン大会参加者のルーム数 690 くらい
- ・1つのホテルでは無理なので3~4のホテルになるのでは
- ・次の公認ツアーコーディネーター会議を10月2日(月)にしたい
- ・MD公認ということは各議長から「公認書」が必要

### ■OSEAL フォーラム (マニラ) (2023/11/2(木)~11/5(日))

- ・9月11日(月)現在の登録数(早期登録8月31日)、「D」の資料の通り

330・伊賀委員：複合は300人に向けて頑張るのみ

331・本所委員：300~350人に向って頑張ります

332・田名部理事長：ガバ会で各クラブ1名のお願いをしている

将来のリーダー候補は特に参加をお願いしている

333・公認 TC 加藤氏：現状105だが積上げて頑張るが、270までは厳しそうです

334・公認 TC 大山氏：目標は270だが、各地区に分けてお願いしている。努力はして

いる 335・江草委員：現時点で233だが、上積みできるように頑張っています

336・澤議長：登録だけでも何とか頑張っています

337・曾山委員：できるだけ150に近づけるように頑張ります

鶴嶋国際理事：現地では委員会に出席して欲しい

ライオンズの会員なのだから、オセアルか国際大会参加か、MJFのどれかをやりましょうと、クラブ入会時に先輩から教えられた。

吉村委員長：なるべく若い人に参加して欲しい

濱野国際理事：研修の場なので若い人に呼び掛けてほしい。

ガバナーの力を借りて頑張ってもらいたい



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

一般社団法人日本ライオンズ発行文書 <2023-24-C-M-02>

吉村委員長：11/4(土)「Mission 1.5」の出席が大事です。

晩餐会への参加数が 301 人になっているが、次の札幌があるのだから、マニラでどれだけ頑張れるかによるのでは？

・ <IPBQ> 目標は 300 人である

MD330 : 54、MD331 : 21、MD332 : 30、MD333 : 35、MD334 : 45、  
MD335 : 48、MD336 : 28、MD337 : 40 (合計 301 人)

・ 11/2(木)オセアルのゴルフについて

送迎・プレー費で 3 万円、参加者は前日までに行かなければ間に合わない

曾山委員：委員の役割分担について

国際会長晩餐会を成功に導いて欲しい

鶴嶋国際理事：PID、アポインターの席割もあるので登録を統一したらどうか？

(日本ライオンズを通す)

#### ■第 106 回メルボルン国際大会について

・ 本部ホテルで朝食会を 6/23(日) 7 : 00~8 : 30 まで

6/24(月)は国際会長晩餐会予定

・ インターナショナルパレードについて

気温が低い (10°C~12°C) ので深く考えましょう

鶴嶋国際理事：代議員大会に第一、第三副会長をお呼びして抱負を聞くのはどうか

・ 次回、第 3 回国際大会委員会「OSEAL フォーラム」の確認：

10 月 10 日(火)10 : 30~12 : 00 はどうか？

以上

「第3回国際大会委員会 (Web)」議事要録

作成人：MD336 徳永 修

開催日：2023年10月10日

◎出席者：

国際理事

2022-24 国際理事/LCI 大会委員会	鶴嶋 浩二	(札幌中島 LC)
2023-25 国際理事	城阪 勝喜	(大阪港 LC) 【欠席】
2023-25 国際理事	濱野 雅司	(岩槻 LC)

一般社団法人日本ライオンズ

専務理事/国際大会委員会 (補)	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
------------------	-------	----------

国際大会委員会

委員長	吉村 弘吉	(和歌山 LC)
副委員長/副理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす LC)

各複合地区国際大会委員

MD330 委員長	伊賀 則夫	(東京葵 LC)
MD331 委員長	本所 光男	(室蘭東 LC)
MD332 委員長	村上 孝	(水沢中央 LC)
MD333 委員長	岡野 良男	(土浦環 LC)
MD334 委員長	大山 恭範	(一宮 LC)
MD335 委員長	江草 長史	(和田山 LC)
MD336 委員長	徳永 修	(尾道 LC)
MD337 委員長	曾山 純廣	(霧島みらい LC)

オブザーバー

MD333-E 国際大会委員長	車田 一恵	(霞ヶ浦 LC)
MD333-E 国際大会副委員長	藤野 将寛	(霞ヶ浦 LC)

以上

- 開会宣言 国際大会委員長 吉村弘吉
- 出席者確認、別紙
- 進行について 進行表に基づいて行う
- 議事録作成人指名 MD 3 3 6 徳永 修

■議案

1、ご挨拶、国際大会委員会の報告 国際理事/LCI 大会委員 鶴嶋 浩二

先週、LCI から連絡があったと思うが、前回の会議で取り決めた、公認 TC の業者を決めてそこを主にするという形は変えずに進める。

各 MD 等からの質問は、国際大会委員会を通してとりまとめ、オセアル調整事務局へ一本化する方向で進める。

3 人の国際理事がカイロでの国際理事会へ明日出発する。前回委員会で競技した主要ホテルについては委員会にてしっかりと伝えていく。日本の利益となるように動いていく。

2、OSEAL フォーラム（マニラ）最新事情の確認

各登録者数の確認（9/30 日）（資料 A）

2023、10、6 現在 全日本登録者 目標 2190 人に対し、1412 人  
国際会長晩餐会目標 300 人に対し、260 人  
ゴルフ 12 人

最善を尽くしていただいた。

公認 TC の予想によると、実際の参加者は

MD330:150 人、MD331:60 人、MD332:25 人、MD333:80 人、MD334:140 人、  
MD335:220 人、MD336:30 人、MD337:40 人。合計 745 人

OSEAL フォーラムのスケジュールについて、今回国際理事候補者が出ないので日本レセプションは、開催しない。

（資料 D3）の 2 ページ

OSEAL フォーラムでは公認 TC は関係ないので、OSEAL フォーラムにおいては各 MD、準地区、グループ、個人など参加方法については自由。

ただしフォーラム期間中は、勉強会などがあるので、ツアーは控えてほしい。

特に MD 議長、各ガバナーは、3、4、5 日、朝 8 時 30 分からの会議に必ず出席を要請

8人の大会委員会委員は11月4日国際会長晩餐会(19:00~22:30)30分前に集合し、受付にて、参加者の確認、テーブルへの案内をお願いする、

### 3、第106回メルボルン国際大会、最新事情の確認

10月2日の公認TCとの打ち合わせ会議(資料B1)

各MDの公認TCが確定した。

公認業者の資格要件(資料B2)の報告書を議長を通して、提出してほしい

8MDの代表窓口は、MD335公認TCのJTB。

公認TCで相談した結果、メルボルンのホテルは、(ホテル情報資料参照)

グランドハイアットメルボルン、ザウエスティンメルボルン、シェラトンメルボルンの3ホテルをメインのホテルとし、約700室を押さえない。

予備として、インターコンチネンタル、メルボルンマリオット。

公認TCは、LCIよりIDを取得し、各MDのホテルを押さえにかかると、

過不足の調整するため、早めの登録に取り掛かってほしい。

#### ・鶴嶋国際理事

グランドハイアットはシングル部屋、ザウエスティンメルボルンはツインなので使い分けができる。この二つは近いので路面電車が使えて便利、好立地。

3つのホテル内で、各MDや準地区などの集いなど、企画できるように、またリーズナブルへ利用できるよう交渉をしていただくよう公認TCへお願いをしている。

公認ツアー以外のメンバーは、3つのホテルの中から、部屋の振り分けをする。

#### ・各メンバーから質問を聞くが、特になし。全員一致でホテルについて承認される。

#### ・鶴嶋国際理事

国際理事会で、日本のホテルを伝え、3つのホテルで700部屋を押さえ、それを回るシャトルバスを確保するようにする。ホテルのデポジットが発生する事情等もあり、早めの人数の取りまとめをお願いしたい。

(資料B4)

#### ・公認TCからの要請、質問、

公認TCは一年任期と決まっているが、各準地区で独自にTCを決めている場合があり、規定で定められている旅行ライセンス一種を持っていない業者もある。非公認の業者が勝

手にツアーを出した結果、公認 TC が手配した部屋が利用されないなどの問題もある。非公認の業者が止めてはいけない場所にバスを止めたりなどして LCI でも大きな問題となっている。

ホテルは MD 公認 TC からの仕入れというのが原則である。

特にメルボルンでは日本としてまとまって部屋を確保するように LCI へ交渉することもあり、利用を徹底していきたい。準地区の業者へは公認 TC が押さえた部屋を買っていただき、部屋を埋めていくようにする。各複合単位で準地区の委員長・TC との打ち合わせが必要かと思われる。

・各質問

MD336 徳永氏

個人や、クラブで登録する場合は自由で良いのか？かなりの数が自分で手配をしている。

吉村委員長より→準地区の場合・グループでツアーを組む場合、部屋は JTB が押さえた部屋を購入し利用してほしい。

・メルボルンの参加人数の予想、700 部屋なので、1000 人くらいか。

・ホテルの料金表示について質問があり、オーストラリアドルでの表記であることが確認された。

MD334 大山氏

JTB など公認 TC は、個人予約などの倍くらい高いという声もある。

MD331 本所氏

国際大会はホテルが決まっているので、経験上、個人も公認 TC もそんなに大差ないと思う。

ボストンの場合も最終的にはあまり差がなかった。

MD335 江草氏

今回は、早いスタートなので、問題は少ないと思う

吉村委員長

各 MD は、準地区や、クラブなどと、話し合いをしてほしい。公認 TC 申請の書式出来ているので確定して早く取りかかって欲しい。

MD334 大山氏

マニラ、登録が 10 月 15 日まで延長になっている (19,000 円) 人数を増やしてほしい。  
MD 3 3 4 は人数が増えたので、国際協会へ申し込む

MD335 江草氏

パレードのユニフォームについて、いままでは国際理事候補者を出す MD が中心となっていたが、今回は国際理事候補者が出ないので、どこがどのように決めるのか？  
MD 3 3 5 では、日本のアニメとのコラボを企画しては、意見があった。  
南半球なのであの時期は寒いし、トレーナーなどはどうかという意見もあった。パレード開始時間なども考慮すべき。

吉村委員長

パレードについては 12 月もしくは来年早々から議論が必要だと思っている。そもそもパレードをするのかどうか、少人数 (MD で人数をそろえる) でやるか、など含めて次回委員会で検討したい。

・濱野国際理事

多くの方にご参加いただくことが一番の成功。国際大会なので、たくさんの参加の国からの参加者に合うことができれば、モチベーションも上がる。日本では団体での参加がやりやすいと思うがいろいろな事情もあり、公認 TC、グループ、個人バランスをとって欲しい。

パレードは、日本は大所帯になり真ん中がだれる傾向もある。個人的な意見だが、少数精鋭でいいパフォーマンスをする、そしてそれをみんなで応援するのも良いとおもう。

・吉村委員長

パレードについて、O S E A L フォーラムの後にみなさんの意見を聞きたい。

・増澤専務理事

登録キットについての説明。

(キットの画像を元に説明) 60<sup>th</sup> OSEAL FORUM BAG  
大きさ、重さ、中身、紹介、一個 700 グラム

・吉村委員長

例えば、MD331 だと、登録 313 人、実際の参加は 60 人、登録料を頂いている以上、約 250 個持ち帰らなければならない。半端な重量、カサではない。輸送の場合は高額な送料・関税等が発生した例もある。公認 TC に頼む、送るなどよく検討することが必要。

・松浦副委員長

8 つの MD それぞれ登録方法が違うが、それぞれの複合でキットの持ち帰りについては対策をしておいてほしい。

・濱野国際理事

これから国際理事会参加のためエジプトへ行き、ケニアを廻って 23 日帰国予定。  
ぜひ国際理事へ質問等ぶつけていただきたい。直接答えられることができなくても、LCI へつなぐことができるので、困ったことはどんどん質問してほしい。

・吉村委員長

次回の日程 11 月 29 日午後、Zoom で開催の予定

・松浦副委員長

若い人は、インターネットで旅行予約する人も多い。  
メルボルンへの参加について今回は初の試みとなるが、700 室を確保してもらうこと、シャトルバスのことなど本部へ交渉していく事項がいろいろとある。早い登録と、部屋は公認 TC を通じて手配したホテルへ宿泊をいただくよう、MD 大会員長へは皆様へアナウンスを頂くよう、宜しく願いしたい。

終了

作成者；MD335 江草長史

開催日；2023年11月29日

\* 出席者

国際理事

2022~2024 国際理事/LCI 大会委員会	鶴嶋浩二 (札幌中島 LC)
2023~2025 国際理事	城阪勝喜 (大阪港 LC) 欠席
2023~2025 国際理事	濱野雅司 (岩槻 LC)

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部智之 (八戸 LC)
副理事長	池原 堅 (福山久松 LC)
専務理事/国際大会委員会(補)	増澤義治 (諏訪湖 LC) 欠席

国際大会委員会

委員長	吉村弘吉 (和歌山 LC)
副委員長/副理事長	松浦淳一 (岩見沢はまなす LC)

各複合地区国際大会委員

MD330 委員長	伊賀則夫 (東京葵 LC)
MD331 委員長	本所光男 (室蘭東 LC)
MD332 委員長	村上 孝 (水沢中央 LC)
MD333 委員長	岡野良男 (土浦環 LC)
MD334 委員長	大山恭範 (一宮 LC)
MD335 委員長	江草長史 (和田山 LC)
MD336 委員長	徳永 修 (尾道 LC)
MD337 委員長	曾山純廣 (霧島みらい LC)

オブザーバー

MD333-E 国際大会委員長	車田一恵 (霞ヶ浦 LC)
MD333-E 国際大会副委員長	藤野将寛 (霞ヶ浦 LC)

公認 TC 代表

MD335 公認 TC/株式会社 JTB	沼間章作
----------------------	------

**\* 開会宣言**

13時30分 吉村弘吉国際大会委員長より開会が宣言された

**\* ごあいさつ**

**■一般社団法人日本ライオンズ 理事長 L田名部智之**

こんにちは。

鶴嶋、濱野国際理事ご出席いただきありがとうございます。

先ほど福岡から戻りましたが、専務理事を福岡においてきましたので、本日は欠席いたします。

本年度は丁寧な運営をやっていこうと全国を回っているところで、今回はMD337を訪問して5名の地区ガバナーと話し合いをして質問やら、社団の方針を説明し、ご理解をいただいた。残すはMD330のみとなりました。

本日は国際大会委員会ということで、各複合地区より活発な意見を出していただき、来る『メルボルン国際大会』の成功へ向けて、しっかり準備をしていただきたい。

本日はよろしく申し上げます。

**■一般社団法人日本ライオンズ 副理事長/国際大会副委員長 L松浦淳一**

こんにちは。

鶴嶋、濱野国際理事ご出席いただきありがとうございます。

本日は少し角度を変えてご報告いたします。

MD331では鶴嶋国際理事を先頭に来る『札幌大会』に向けて動き出していますが、ホテル確保に苦勞しています。

HQ及び地区ガバナー用1500室はなんとか確保出来たが、残り3500室の確保に向け努力しているが、7年後の民間企業のホテルの確約は難しいのが現状である。

しかし、いろんな制約がある中MD331が一丸となり努力しておりますので、

今後も『札幌大会』成功へ向けご支援よろしく願いいたします。

**\* 出席者確認及び進行について**

出席者名簿を確認、事前送付の次第を確認

**\* 議事録作成人の指名**

MD335 国際大会委員長 江草長史が指名される

■鶴嶋国際理事ごあいさつ

札幌が大変なことになっています。

今回は今までのように JTB さんなどの業者さんに頼らず、自分たちの手でやっていますが、7年後のホテルの確保が非常に難しく、特にオーナー様と現場との連絡ができていなくて、現場サイドで話をしていく上で、7年後の状況がわからない中で部屋数を確保することが非常に難しい。

今まで立候補を予定していた地区が立候補を断念した理由がホテルの問題であったと聞いて納得ができた。

カイロでの国際理事会で日本からの要望をまとめ、皆さんにご理解をいただいた。

また、協会を通すことで協会にマージンが入るというあらぬ噂が流れ困惑している。

■濱野国際理事ごあいさつ

こんにちは。

本日は国際理事という立場で参加しています。

先日のマニラ・オセアルフォーラムでは、お力添えをいただきありがとうございました。

また、この委員会の中でしっかりと討論することが札幌大会へとつながっていくのでよろしくをお願いいたします。

相手の立場と参加する立場の両方わかるのが今の日本なので、しっかりと協議していただきたい。

【議案】

1. OSEAL フォーラムについて

(1) マニラ大会報告（資料 A）

(2) マニラ大会の反省（資料 B-1）

- ・開会式など式の途中で帰ってしまう→（提案）最後にパネル前で写真撮影する企画
- ・日本は他の国と比べて元気がない
- ・場所取りに問題がある
- ・国際会長晩餐会でチケットの不備があった
- ・国際会長晩餐会で段取りが悪い（お国柄）、通訳がない
- ・登録キットの不備(中身が揃ってない、参加証明書やガイドブック等)
- ・観光を入れる入れないの問題
- ・フォーラム開催日程数が厳しい（地区・MD 会議調整等）
- ・エージェントの進行管理が悪かった
- ・国際会長晩餐会会場の音響が悪い

**「まとめ」 鶴嶋国際理事**

- ・会議内容がひどい（定足数、決議内容を発表しない）  
→会議時山田 PIP の進言に対応無かった
- ・ID 同士の話し合いが出来ていない
- ・日本からのセミナー参加が少ない
- ・開会式への参加者が少ない（'25 札幌大会での対応）
- ・大会記念誌掲載不備については日本の意見・要望を伝えた
- ・従来 2 月開催のステアリング会議は、6 月開催に変更（次期担当者が出席する）  
また参加人数は「4 名+LCIF 理事」と改定、旅費は出ないため 1~2 名参加で検討して  
いただきたい→次期理事会への引継事項

**田名部理事長からの補足**

- ・大会記念誌は挨拶分等入れた訂正版を再発行していただくことで話が進んでいる  
（部数はおそらく 100~200 部）
- ・チェジュフォーラム報告書についても実は未発行であり、配布されていない

**(3) 第 61 回パタヤ大会【2024 年 11 月 14 日（木）~11 月 17 日（日）タイ・パタヤ】**

日程の説明（資料 C）

**2. メルボルン国際大会について【2024 年 6 月 21 日（金）~25 日（火）】**

**(1) 公認 TC の件**

- ・公認 TC 代表沼間氏より説明（資料 D-1、グループ登録手順、資料 D-2）
- ・まだすべての複合が公認をとれていないため動けない
- ・日本からのホテルの確保ができない
- ・グランドハイアットメルボルンを中心に 600 室を確保する  
→12/10 時点で公認 TC とは進捗確認を行い、その状況によっては鶴嶋国際理事へ報告

**(2) 日程の説明**

- ・代議員会（日本の代議員のための投票説明）  
→6 月 22 日（投票前）夕方辺り（2 時間程度）を想定、次回会議で再検討
- ・なるべくお金のかからないようにする
- ・準備（席順、登録、受付等）については吉村委員長指名により、  
331 本所委員、332 村上委員に開催案を練っていただき次回会議で提案していただく

**(3) インターナショナルパレードの件**

- ・今までと同じように全員参加 or MD ごとの参加、又は参加者を絞る

一般社団法人日本ライオンズ発行文書 <2023-24-C-M-04>

- ・準備の担当はどこがするのか？
- ・次回会議に各 MD の意見を集約する
- ・本年度は国際理事候補者がいないため日本全体で準備する
- ・ユニフォームの種類及びデザインはどうするか？  
→コンペ形式で行なう（公認業者に依頼）
- ・種類は冬ということを考え法被は採用しない→ポロシャツ、トレーナー、スタジャン・・・
- ・アニメ等、著作権のかかるものは使用料がかかる
- ・札幌大会のPR活動としてロゴをデザインする
- ・ピンバッチは喜んでもらえるようなデザインにする
- ・小旗を持つと一体感があるように見える工夫になる→ツールの重要性  
→パレードの参加は決定だが、体制（全員参加 or MD 毎・・・）、ユニフォームの提案については各自 MD に持ち帰り宿題とし、次回会議で意見交換する

**\* 開会宣言およびご挨拶**

**■一般社団法人日本ライオンズ 副理事長 L池原堅**

国際大会およびフォーラム開催は大事な大会のため結束してできるだけ多くの方に行っていたきたいが、パターンがほとんど同じのため、若い会員たちが参加しようという気が無い。開催地では若い方が参加したいと思う仕組みを時間をかけて作り大改革していただきたいと期待する

**3. 次回開催日**

2024年1月18日（木）13時30分～16時00分

以上

2023-2024  
一般社団法人 日本ライオンズ  
第5回国際大会委員会(Web) 議事要録

作成者 : MD334 大山 恭範

日時 : 2024年1月18日(木) 13:30-16:00

出席者

国際理事

2022-24 国際理事/LCI 大会委員会 鶴嶋 浩二 (札幌中島 LC) 【欠席】

2023-25 国際理事 城阪 勝喜 (大阪港 LC) 【欠席】

2023-25 国際理事 濱野 雅司 (岩槻 LC)

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部智之 (八戸 LC)

専務理事 / 国際大会委員会(補) 増澤 義治 (諏訪湖 LC) 【遅れて参加】

国際大会委員会

委員長 吉村 弘吉 (和歌山 LC)

副委員長/副理事長 松浦 淳一 (岩見沢はまなす LC) 【欠席】

各複合地区国際大会委員

MD330 中嶋 文夫 (東京文夫 LC) 【代理出席】

MD331 本所 光男 (室蘭東 LC)

MD332 村上 孝 (水沢中央 LC)

MD333 岡野 良男 (土浦環 LC)

MD334 大山 恭範 (一宮 LC)

MD335 江草 長史 (和田山 LC)

MD336 徳永 修 (尾道 LC)

MD337 曾山 純廣 (霧島みらい LC)

公認 TC 代表

MD335 公認 TC JTB 大阪第二事業部 沼間 章作

オブザーバー/各複合地区公認 TC

MD333-E 国際大会委員長 車田 一恵 (霞ヶ浦 LC)

MD333-E 国際大会副委員長 藤野 将寛 (霞ヶ浦 LC)

MD330 公認 TC ウィントラベル 東京営業支店 大西 智久 【欠席】

MD331 公認 TC JTB 北海道事業部 中牟田憲一

MD332 公認 TC 名鉄観光サービス 盛岡支店 川村 勲 【代理出席】

MD333 公認 TC ウィントラベル 代表取締役 加藤 勉

MD334 公認 TC JTB 名古屋事業部 丹羽 祐太

MD336 公認 TC 近畿日本ツーリスト 広島支店 金子愛梨佳

MD33.7 公認 TC JTB 福岡支店 園田 花奈

## 議 事

### 1. 開会宣言

吉村委員長より開会宣言と盛りだくさんの協議内容のため、会議のスムーズな進行に協力をお願いがなされた。

### 2. 挨拶

◇濱野雅司国際理事より以下の挨拶があった。

今年もよろしくお祈いします。メルボルン国際大会まであと半年となり3月のバンクーバー理事会では最新の情報があると思う。メルボルンでの国際理事会の案内がすでに届いており半年といっても身近に感じるので参加者に案内しながら多くの方にご参加いただきたい。

また、冬の国際大会であること、現時点では国際理事候補者がいないなど通常の国際大会とは異なるので、パレード・ジャパンレセプションなど費用の点も含めて皆さんで知恵を出し合っていたいてすばらしい大会にしてほしい。本日はどうぞよろしくお祈いします。

◇田名部智之一般社団法人日本ライオンズ理事長より以下の挨拶があった。

会議冒頭は移動中の参加であったため音声がつながらず議事進行途中の挨拶となりましたことお詫びいたします。内容は拝聴しておりましたが、今年度は議長とガバナーの連絡を上手くとることを目指しております。メルボルン国際大会参加について今年度は複合地区単位で動くということを確認しておりますので、複合地区委員長としてご出席の委員の皆さんには是非とも議長とガバナー、複合地区と地区の橋渡しをお願いしたい。

### 3. 出席者確認及び進行について

吉村委員長より出席者リストに基づき各複合地区の委員長とオブザーバーで出席の333-E地区大会委員長・副委員長の紹介、各複合地区公認のツアーコーディネーターの紹介があり、ツアーコーディネーターは、MD330TCが欠席、MD332TCは体調不良により上司である川村氏の出席を確認した。

### 4. 議事録作成人の指名、および提出締切日の確認

大山恭範 MD334 国際大会委員長が指名される。1月31日までに提出のこと。

### 5. 第106回メルボルン国際大会【2024年6月21日(金)–25日(火)】

#### A. 公認TC報告

- ① 公認TCリストとして最新版の名簿が配布された……………A
- ② ホテル予約室数……………B

幹事エージェント(株式会社JTB大阪支店)沼間氏より以下の報告があった。

○オセアル調整事務局のご協力の基に日本全体でシングル・ツイン合わせて560室を国際協会に要望し、デポジットも支払い済み。ただし日本として希望していた4つのホテルでは確保しきれず、他の二つのホテルも追加しての確保となっている。また、現時点ではホテルごとの部屋数も確認できていない。

部屋数が判明し次第TC会議を開催、各複合地区のホテル配分を行いたい。

- ③ ——吉村委員長からの補足……………追加資料1
  - ・1月18日付けでオセアル調整事務局から日本ライオンズに入った情報では全部で8つのホテルに分散して利用することになる。

・いずれもシャトルバスが利用可能であり、またトラムの駅も近いので、特に専用バスをチャーターする必要はないと思われる。

・沼間氏には早急に各複合地区配分を決めるようお願いしたい。できれば MD 単位で振り分けられたい。(各複合地区委員長と TC とよく相談しておく)

○MD330 は準地区ごとに公認を指定しているので、今回の予約室数に関しても国際協会との間で混乱が生じた。日本ライオンズ国際大会委員会または MD330 として態勢を整えていただきたい。

——吉村委員長から、MD330 中嶋副委員長に今年度のメルボルン大会は複合地区単位でまとめ動くことを前提としているので MD330 におかれても複合地区指定のウイントラベル(MD333 も指定)を中心にまとめてもらえるよう要請があった。

- ④ 各 MD 登録状況 ……………C および追加資料 2  
各複合地区から早期登録者数の報告があり 8 複合地区合計で 786 名。この数字から日本全体で 800 名の参加が見込まれる。準地区ごと登録者数および参加予定者数を 1 月 25 日までに日本ライオンズに報告する。

## B. パレード・代議員会

- ① パレード参加体制……………D

参加方法(日本で一本化するのか、MD 毎とするのか)とユニフォーム、参加者対象者について各複合地区の考えを発表、濱野国際理事、田名部理事長の意見もお聞きしながら検討の結果、以下の通りとすることとした。

——・日本で一本化して参加する。

・基本的には希望者全員に参加していただくが、複合地区内の参加希望者が多すぎて統制がとれなくなると判断された場合の対応は各複合地区に委ねる。

- ② パレード頒布品

——・ユニフォームは防寒着の上からでも着用可能なベストにする。

・交換ピンは 2 種類のデザインとする。缶バッジも含め検討する。

・ライオンズ公認業者に連絡しコンペとする。

・コンペ実施は、次回会議にて (※2024 年 2 月 21 日(水))

- ③ 代議員会開催、取り組み……………E

MD331 本所委員、MD332 村上委員からの提案のジャパンレセプション実施要領に基づき代議員会のみとするのか、レセプションとするかを含めて検討した。

—— 6 月 22 日(土)17:00 – 18:00、500 人規模のジャパンレセプション(立食)として開催することとして、オセアル調整事務局を通して国際協会に会場の申し込みをする。その結果をもって次回委員会で改めて内容の検討をする。

## 6. 次回、開催日程

2024 年 2 月 21 日(水)13:30-16:00 の開催とする。

公認 TC 代表 JTB には出席いただくが、ほか MD 公認 TC についても、改めてお声がけするとして念のためご予定空けておいていただければありがたいです

## 7. 閉 会

※閉会后ウイントラベル加藤氏よりメルボルンに関する情報提供があった。次回詳しく聞くこととした。

以 上

(2023-2024 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 23-24 年度第 4 回理事会 議事要録

開催日時：2023 年 10 月 11 日(木)13：30-16：30

場 所：山口県下関市

出席者：

理事長	田名部 智之 (八戸)	理事 (一般財団法人日本ライオンズ理事長)
副理事長	池原 堅 (福山久松)	注：11/1 より公益財団法人日本ライオンズ理事長
副理事長	松浦 淳一(岩見沢はまなす)	不老 安正 (大宰府)
専務理事	増澤 義治 (諏訪湖)	理事
		(一般社団法人日本ライオンズ前理事長)
常務理事	田中 雄一(狭山) 【欠席】	村木 秀之 (東京数寄屋橋)
常務理事	栗村 安弘(大船渡) 【欠席】	
常務理事	星野 勝美(太田)	監事 今井 文彦 (東京巢鴨) 【WEB】
常務理事	戸祭 宏樹(鯖江玉山)	監事 佐々木 忠康 (小樽) 【WEB】
常務理事	中谷 豊重(岸和田)	監事 橋本 勝策 (焼津)
常務理事	澤 辰 水(下関)	監事 岡村 聖爾 (下関)
常務理事	新里 正雄(沖縄)	
理事	吉本 晴夫(藤沢中央)	
理事	須藤 敏幸(伊達)	
理事	松本 宰司(南房総)	
理事	吉村 弘吉(和歌山)	
理事	玉川 孝(熊本葵)	

オブザーバー：

事務局補佐

菅原 孝明 (八戸)

法律顧問

池田 和司 (東京桜門) 【欠席】

会計顧問

吉田 宗一郎(東京武蔵野) 【WEB】

以上

1. 出席者確認・本日の進行について

進行：23-24年度 増澤義治専務理事

2. 議事録作成人の指名：事務局補佐 菅原

3. 参加者ご挨拶

- ・一般財団法人日本ライオンズ理事長 不老 安正
- ・22-23年度理事長 村木 秀之

4. 本日の議案について：

①学生会員の賛助会費免除について

・増澤専務理事より説明と執行理事会において学生会員の会費免除の見解で一致したことの確認。レオについては今後の検討事項とし、学生会員の賛助会費免除について採決。

→賛成多数で可決。

②ミッション1.5 報告用フォームについて

・中谷常務理事より335にて作成された報告フォームについて説明があり。

ミッション1.5の月次報告で335複合地区が使用するグーグルフォームを全国レベルでも使用しようと小川エリアリーダーが検討されており、当該報告フォームを使用することについて、社団理事会においての承認について採決。

→賛成多数で可決。但し、8複合に向ける発信や運用については小川・松岡両エリアリーダーに一任する。

③旅費規程の変更について

・増澤専務理事より説明と、航空運賃については執行理事会において価格表の中央値とする意見で一致したことの確認。執行理事会においての当該案について採決

→賛成多数で可決

④MD330への回答について

・田名部理事長より旧回答案（資料青色）と最新の回答案について説明があり各要請事項への回答について採決を取った。

要請事項1の回答。原案より今後の部分を削除して決定の採決。

→賛成多数で可決。

要請事項2の回答。原則、旧回答案を採用することの採決。（一部修正含む）

→賛成多数で可決。

要請事項3の回答。増澤専務理事より会計処理を統合したことによる余剰金、人件費、運営費、等につき説明があり、回答案については統一見解、賛助会費80円である旨を確認、再度変更し図る旨の説明があった。岡村監事からは、会計監査はきちんと行われていると発言があった。

要請事項4の回答 旧回答案を採用する事の採決。尚、ライオン誌の独立性とは編集に

ついでのみである旨の社団統一見解を確認し、干渉が行われていない旨を掲載する。

→賛成多数で可決

要請事項5の回答。原則、旧回答案を採用することとし、訂正は行わないことを採決。  
尚、330の賛助会費未納については当初12月中には全額支払う予定であったが代議員会の開催について時間と予算の問題があり、1月以降になる可能性が有るとの事について  
MD330 議長田中常務理事より連絡があった件が理事長より報告され、了承頂く件も採決。

→賛成多数で可決。

⑤OSEALフォーラム規則の改正案について

・増澤専務理事より主にステアリング委員会構成についての規則修正の説明と、議長・ガバナーへのオセアルフォーラムでの会議参加へのお願い。改正案（原案のとおり）について採決。

→賛成多数で可決。

⑥メルボルン国際大会について

・国際大会委員長・吉村理事よりLCI国際大会委員会の説明があった。日本のツアーバスの問題があり指摘を受けた事の報告、各MD議長による速やかな公認ツアーコーディネーター

(MDTC)の承認のお願いがあった。また公認TCの中から幹事TCとして、MD335TCである(株)JTB 大阪第二事業部 沼間氏が選出された件の報告と、公認TCが押さえたホテルを利用するようお願いがあった。

⑦緊急アラート災害支援運営規則 改正案について

・アラート委員長・池原副理事長より説明、アラートの問題点として委員との意思疎通と、コンセンサスに問題がある点と、組織構成については会議不足であると報告。

詳細について打合せを見直ししており、シンプルなくみを目指している。10月26日に臨時アラート委員会開催予定。

⑧国際理事・OSEAL事務局とのコミュニケーションについて

・増澤専務理事より説明、今回は進展がない為審議報告なし

⑨一般財団法人日本ライオンズについて

一般財団法人日本ライオンズ理事長 不老理事より説明、去る 2021 年 10 月にサンディエゴで開催された国際理事会において、財団が正式に承認されている件の報告、内閣府公益財団法人の認定手続きを開始した旨説明と、フットサル・寺子屋事業の説明をされた。公益化には定期的な収入が必要である事(会員負担)皆さんの理解を得ていきたい旨の説明をされた。

注： 11/1 付で内閣府より認定され、公益財団日本ライオンズとなりました。

協力金 1000 円については地区へ持ち帰り、ガバナーと話をさせていただく。

⑩12/6開催 第2回定時社員総会への審議対象議案について

・増澤専務理事より説明、現時点では今回の審議事項はなし。

11/15 第5回理事会で社員総会について審議する予定。

### 3. 各種報告事項(直近に開催された会議報告)

・直近で開催された会議について、各委員長より報告があった。

YCE委員会報告 ライオン誌委員会	吉村理事より説明 増澤専務理事より説明	派遣数の報告37派遣47人の報告 委員長より委員会会計についての質問があった。予算計上し運営するべきとの考えを示した。
国際大会委員会	吉村理事より	第60回オセアルフォーラムで予定されていた日本のレセプションの開催は無し。議長、ガバナーは毎朝開催される会議に出るようお願いがあった。
会則委員会	松本委員長より	コンプライアンス委員会について、総務人事委員会内で運営を行うことについて報告があり、決議の結果全員の承認を得た。

### 4. その他報告事項

次回開催予定会議についての日程確認。現時点では以下の通り。

・次回執行理事会・理事会開催予定

11/7 (火) 第4回執行理事会 WEB

11/15 (水) 第5回理事会(大阪・AP大阪駅前)

12/6 (水) 第6回理事会・第2回定時社員総会(東京・AP日本橋)

監事より講評

・岡村監事より

下関へお越しいただいたことへのお礼。

MD330 賛助会費問題については本筋を曲げないよう、解決をお願いする。

ライオン誌問題について、くれぐれもあまり妥協しないように日本ライオンズとしての公式の地位を守ってほしい。

公益財団法人日本ライオンズについてはMD336では決議がされておらず、他の地区も決議されているところとされていないところがある。

国際協会より認可を受けているという文章をあげていただき、財団の在り方や協力について各複合年次大会にかけていただくのがよいのではと思う。

以上

2023年10月11日

議事録作成人 事務局補佐 菅原 孝明

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部 智之 【押印省略】

監事 今井 文彦 【押印省略】

監事 佐々木 忠康 【押印省略】

監事 橋本 勝策 【押印省略】

監事 岡村 聖爾 【押印省略】

(2023-2024 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 23-24 年度第 5 回理事会 議事要録

開催日時：2023 年 11 月 15 日(水)13：30-16：30

場 所：大阪府 AP 大阪駅前

出席者：

理事長	田名部 智之 (八戸)	理事 (公益財団法人日本ライオンズ理事長)
副理事長	池原 堅 (福山久松)	不老 安正 (大宰府) 【欠席】
副理事長	松浦 淳一(岩見沢はまなす)	理事
専務理事	増澤 義治 (諏訪湖)	(一般社団法人日本ライオンズ前理事長)
		村木 秀之 (東京数寄屋橋)
常務理事	田中 雄一(狭山) 【WEB】	
常務理事	栗村 安弘(大船渡) 【WEB】	監事 今井 文彦 (東京巢鴨) 【WEB】
常務理事	星野 勝美(太田)	監事 佐々木 忠康 (小樽) 【WEB】
常務理事	戸祭 宏樹(鯖江王山)	監事 橋本 勝策 (焼津)
常務理事	中谷 豊重(岸和田)	監事 岡村 聖爾 (下関)
常務理事	澤 辰水(下関)	
常務理事	新里 正雄(沖縄)	<u>オブザーバー：</u>
		事務局補佐
理事	吉本 晴夫(藤沢中央)	菅原 孝明 (八戸)
理事	須藤 敏幸(伊達)	法律顧問
理事	松本 宰司(南房総)	池田 和司 (東京桜門) 【欠席】
理事	吉村 弘吉(和歌山)	会計顧問
理事	玉川 孝(熊本葵) 【欠席】	吉田 宗一郎(東京武蔵野) 【WEB】

以上

1. 出席者確認・本日の進行について

進行：23-24年度 増澤義治専務理事

2. 議事録作成人の指名：事務局補佐 菅原孝明様

3. 参加者ご挨拶

・22-23年度理事長 村木秀之

4. 本日の議案について：

◆10/11 第3回執行理事会（WEB）からの継続協議事項

①公益財団法人 日本ライオンズ 公益認定の確認

協力金についてはさらなる協議が必要のため、公益認定書類の確認と、日本ライオンズ事務局内の公益財団法人日本ライオンズ事務スペース工事が事務長立ち会いの元、無事完了した件の報告。

②第2回定時社員総会 開催について

2023年12月6日（水）13：30～16：00 AP日本橋にて対面で開催と参加予定者（当法人の正社員55名・法律顧問・会計顧問）について承認を得た。国際理事の皆さんとGATリーダーについて、今回はお呼びしない。別日程で意見交換会の開催を予定。

◆その他追加協議・確認事項

①会則関係

・家族会員の件およびレオライオンの賛助会費について

→特典会員（旧割引会員）について、賛助会費はいただかない。

賛成多数にて理事会決議として総会に送る。

・社団構成員のプロトコールについて

→社団の理事長のプロトコールを議長の上に盛り込みたい。

→あくまでも会議進行等のためのローカルプロトコールとしての記載であり、社団が複合地区の上というわけではない。

→今回は理事長だけを掲載することが賛成多数で承認。

次期理事長は、理事や特に専務理事の立ち位置を変えていくよう引っ張ってほしい。LCIへ社団を認めさせる一歩としたい。

・コンプライアンス委員会について

→総務委員会の中で立ち上げてほしいので下準備として継続審議として、委員会から具体的な文章が来たら次回の理事会に出すので今回は決を採らない。

・一般社団法人日本ライオンズ 監事の人数について

→各複合地区はある意味最高の団体であるため各複合から監事を出すべき。1複合1000万単位で社団に会費を納めることになり、複合年次大会にて報告できる。

→前回の執行理事会で池田法律顧問より団体の規模・理事の人数を考えても監事8名は多いと意見あり。

→会則委員会を中心として揉んでほしいので継続審議とする。

・ライオンズ必携第 61 版発行について

→ボストン国際大会にて会則の変更が多く出た。

→歴代ガバナーのページを省略し、年表を 3 ページに簡略化する。

→国際理事候補者関係について

国際理事資格審査委員会の名称変更に伴う内容の変更について、本体は複合地区年次大会で決議が必要だが今回は発行に間に合わないため（案）として掲載。

新旧対照表を複合年次大会で事後報告であるが決議してほしい。

→非常にタイトなスケジュールですが丁寧にやるので手元に届き次第速やかに確認してほしい。間に合わなければ臨時理事会を開催。

②マニラ・フォーラムでの決議事項の確認

資料3参照

→OSEALフォーラム ステアリング委員会の参加人数がいままでは理事長のみだったが次回より議長4名と理事長の計5名に増えることもあり、参加者を選ぶ必要があるため今年度・次年度の引き継ぎ会をなるべく早く開催する。

③アラート委員会関係

・アラートフォーラム岡山開催について

2024年2月24日 岡山市民会館 最大約700名（500名予定） 登録締め切り1月25日

登録料：フォーラム2,000円/人、懇親会8,000円/人 振込先：MD336の口座

主催：（一社）日本ライオンズ 大会委員長：MD336の委員長

→アラートフォーラム組織図については、第3回社員総会にて正式に報告する。

④総務人事関係

鬼塚さんを派遣社員から正社員へ。全員一致により承認された。

⑤第2回社員総会での審議事項について

審議事項は無い。説明事項とその他事項で決して社団は上から話をする組織ではなく、広くガバナー・議長と話し合いをして、意見を吸い上げつつ運営を進めていることを伝えたい。（全員賛成）

理事会の中で決定したものを報告する。四半期の決算が今回間に合わないと思う。今日皆さんにご承認頂いた分は、社員総会の中で各ガバナーへ提示し承認いただき、ご報告となる。

・賛助会員の会費の話題の中でキャンパスクラブの話題が出たが、会則委員長より、特典会員

(旧割引会員)については無料でよいのではと見解が示された。

#### ⑥事務所会議室利用について

資料5 参照

新事務所の法人管理外の会議が増加。現状は先着順、所定の利用申請書を提出し利用。申請書には参加人数や対面 web ハイブリッドなど開催形式を明記、web 会議利用の際はどこまで法人側に依頼されるかによって職員の負担が重くなる。付随する処理としてウェブ会議出欠取りまとめ法人のズーム利用の場合、接続先案内と出欠取りまとめまでを依頼するのか、またその会議が開始されるまでフォローしなければならないのか。できれば。借りる方が各自行ってほしい。対面については従来通り、基本的に利用者の方で会議運営準備を整えてもらう。資料の事前準備配布追加の場合は、事務所でコピーを無料で利用可能。職員に資料の引き出しやコピーは受けない、会議中のお茶提供はしない。室内にサービスコーナーを設けて各自自由に利用できるようにする。現状としては、ペットボトルお茶、また水の持ち込みは可能。今後、法人関連の対面会議中には持ち込みか実費を出してもらうようお願いをしていく。会議室の利用料は近隣の公共施設等の料金を考慮し、基本的に3時間単位で3000円位を予定。会議室の予約は日本ライオンズ関係のみとし、原則法人会議優先(理事会・執行理事会・委員会)。開催の申請書へ使用者の個人名を記載、後々問題が起こらないようにする。金額、利用方法等は総務人事委員会にて協議し、理事会へ上程予定。

#### ⑦その他

→日本ライオンズ、OSEAL調整事務局と擦り合わせを行って頂きたい。GMT・FWTなど指示が複合に来ておらず、GETやミッション1.5関係も連絡がない場合があり一部コーディネーターから苦言あり。

各コーディネーター、議長との摺り合わせが社団の役割だが今期は組織改革に注力している。来期以降は、社団がその調整力を高めるべき。

→12/6社員総会にWEB参加は無いのか。1副、2副もオブザーバー参加させては。

総会は基本対面での参加をお願いするが、どうしても対面参加できない場合はWEBも用意する。

1副、2副もオブザーバー参加は協議事項とする。

→メルボルン大会早期登録料設定はどうなっているのか、社団でとりまとめは無いのか。

国際協会は個人参加でもよいとなっている。しかし、日本としては、できるだけ日本のライオンがまとまって行動したいということで、いわゆる公認トラベルコーディネーター（公認TC）制度がある。そこに国際大会委員会で決定した、日本として使用するホテルを部屋の確保をお願いにしてまとめて登録していると言う形を取りたい。しかし、現実可能なかどうかは、国際協会の動きを見ながらやってみないと分からない。ただ、日本のホテルがある程度確定した後、国際協会の方からそこにシャトルバスを回していただければ、公認TCが個別でバスを手配する必要がなくなり、ツアー参加時の旅行料金もずいぶん安くなるのではないかとこの方向に動いています。ですから、基本的に日本では登録は準地区それから複合という形で登録をまとめていただきたい。代議員会だけは社団でまとめる。

・会員同士のトラブルの事例が報告され、ライオンズ会員としてふさわしい行動をとっていかなければ世間から認められなくなってしまうとし、社団としても一人一人が自覚を持ち誠心誠意行動していくことや、コンプライアンス委員会立ち上げ時の運営方法が協議された。

→札幌で開催されるOSEALフォーラム2025について、OEC役員が会場とホテルを視察し、プレゼンを行った。規模は1万2千、会場のコンセプトに承認を得た。又、2030年国際大会に札幌市が立候補する予定である。現在ホテル等（約3000室）調整を行っている。

→役員必携には会員種別ごとに投票時の代議員数算出の分母に入れる・入れない、の区分的があるが、今回のライオンズ必携にも同様の表が入っているので参考にしてほしい。

→次回執行理事会・理事会開催予定

12/6（水） 第6回理事会・第2回定時社員総会（東京・AP日本橋）

### 3. 各種報告事項（直近に開催された会議報告）

協議事項内で報告されたため、省略

#### 4. その他報告事項

・監事より総括

・橋本監事より

→よい会議であったと思う。本日の内容を各複合に持ち帰り、しっかりとご説明頂きたい。それが議長の役目である。実行力を持っていただきたい。

・岡村監事より

→プロトコールについては毎回話がでるが今回の決定でよろしいと思う。監事の増員については8人では多すぎる、業務内容的に不要ではと考える。ライオンズ必携について、年表のガバナ一名を削除するとクレームが出る可能性が高いため、慎重に行った方がよいと思われる。

・今井監事より

→丁寧に皆さんに納得していただきたいという姿勢すごくわかった。本当に良い方法でやられていると思う。監事としてもさらに力を入れていきたい。ライオンズクラブはちゃんと奉仕活動してgood standingであるべき。

・佐々木監事より

→ガバナー・議長を選ぶには特に地区に資する人を出してほしいということを優先すべき。従ってその時に自分の自己紹介の履歴があるが、その懲罰のところに書かない限りは絶対にこれは審議される。是非、懲罰欄に記入をさせ事実関係を可視化した方が良いと思う。

以上

2023年11月15日

議事録作成人 事務局補佐 菅原 孝明

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部 智之 【押印省略】

監事 今井 文彦 【押印省略】

監事 佐々木 忠康 【押印省略】

監事 橋本 勝策 【押印省略】

監事 岡村 聖爾 【押印省略】

**(2023-24) 一般社団法人日本ライオンズ 第2回定時社員総会 (全国ガバナー会) 議事録**

2023年12月6日(水) 13:30-16:00 AP日本橋 Cルーム

**出席者リスト****2023-24年度正社員【地区ガバナー】**

330-A 地区ガバナー 阿部 かな子【欠席】  
 330-B 地区ガバナー 石田 真一  
 330-C 地区ガバナー 田中 雄一 ※  
 331-A 地区ガバナー 設楽 幸子  
 331-B 地区ガバナー 藤原 回向【欠席】  
 331-C 地区ガバナー 渡部 義男  
 332-A 地区ガバナー 大矢 進  
 332-B 地区ガバナー 高橋 寛  
 332-C 地区ガバナー 渡邊 俊弥  
 332-D 地区ガバナー 門馬 弘  
 332-E 地区ガバナー 西村 公夫  
 332-F 地区ガバナー 石垣 勝康  
 333-A 地区ガバナー 鈴木 壽男  
 333-B 地区ガバナー 後藤 一男【欠席】  
 333-C 地区ガバナー 北野 淳子  
 333-D 地区ガバナー 福田 勝巳【欠席】  
 333-E 地区ガバナー 齊藤 正行  
 334-A 地区ガバナー 木野村 好己【欠席】  
 334-B 地区ガバナー 川嶋 富士雄【欠席】  
 334-C 地区ガバナー 前田 磨  
 334-D 地区ガバナー 小出 進  
 334-E 地区ガバナー 喜多 友一  
 335-A 地区ガバナー 山中 健  
 335-B 地区ガバナー 西尾 良典  
 335-C 地区ガバナー 山本 忍  
 335-D 地区ガバナー 廣田 晃一  
 336-A 地区ガバナー 山崎 勝彦  
 336-B 地区ガバナー 藤井 信英  
 336-C 地区ガバナー 三口 巖  
 336-D 地区ガバナー 山崎 もとみ  
 337-A 地区ガバナー 中村 巧  
 337-B 地区ガバナー 下堂 蘭 一将  
 337-C 地区ガバナー 古賀 義行  
 337-D 地区ガバナー 新里 正雄 ※  
 337-E 地区ガバナー 伊藤 竜彦

**※ガバナー、議長兼任****2023-24年度正社員【理事会理事】**

公益財団法人日本ライオンズ理事長 不老 安正  
 2022-23一般社団法人日本ライオンズ理事長 村木 秀之

**【2023-24年度 協議会議長】**

MD330 議長 田中 雄一  
 MD331 議長 松浦 淳一【WEB】  
 MD332 議長 栗村 安弘  
 MD333 議長 星野 勝美  
 MD334 議長 戸祭 宏樹  
 MD335 議長 中谷 豊重  
 MD336 議長 澤 辰水  
 MD337 議長 新里 正雄

**【2022-23年度 協議会議長】**

MD330 議長 吉本 晴夫  
 MD331 議長 須藤 敏幸  
 MD332 議長 田名部 智之  
 MD333 議長 松本 宰史  
 MD334 議長 増澤 義治  
 MD335 議長 吉村 弘吉  
 MD336 議長 池原 堅  
 MD337 議長 玉川 孝

**【2022-24年度監事】 2年任期の2年目**

MD330 元議長 今井 文彦  
 MD331 元議長 佐々木 忠康  
 MD334 元議長 橋本 勝策  
 MD336 元議長 岡村 聖爾【欠席】

正社員総数 55名 (出席 47名・Web1名・欠席7名)

**【オブザーバー】**

法律顧問 池田 和司  
 会計顧問 吉田 宗一郎  
 事務局補佐 菅原 孝明

(午後 1 時午後 1 時 30 分開始)

・定足数の確認

増澤専務理事より、本日出席者人数の確認。

正社員 55 名中 48 名の出席。定款 17 条 総正社員の過半数の出席により、社員総会の成立の確認。

今回は審議事項なしのため議決権行使書での参加は無。

・出席者紹介およびご挨拶

・一般社団法人日本ライオンズ 田名部理事長よりご挨拶。

・一般社団法人日本ライオンズ 村木前理事長よりご挨拶。

・公益財団法人日本ライオンズ 不老理事長よりご挨拶。

・議事録署名人選出、議事録作成人選出

議事録作成人として MD330 田中常務理事・MD335 中常務理事。補助として菅原事務局補佐。

議事録署名人として 334-E 地区喜多ガバナー・336-B 地区藤井ガバナーを指名。

・議長の指名

定款第 16 条により、田名部理事長が議長に指名される。

・各種報告内容

報告事項

(1) 上半期活動報告

田名部理事長より報告。会議開催実績の他、各MDを訪問したことや、OSEAL フォーラムへの参加し各種会議へ出席したこと、下半期の予定について報告。

(2) 各種委員会報告

ア 会則委員会 松本委員長

① 役員必携を発行した。

4 月を目標にして、役員必携（改訂版）の発行準備をしている。こちらを参照すればクラブ運営について分かるようになっているので、ぜひクラブ三役にはお持ちいただき、次期、三役研修会に活用していただきたい。

② 1 月末を目標にしてライオンズ必携第 6 1 版の編集中である。

今年度はかなり会則変更が多い。役職者には特に必ず携帯いただくようお願いしたい。

新会員の入会キットと一緒に渡してほしい。

【質疑・要望・意見】

- ① 必携について、紙ベースでいいのか？ネットで提供できないのか？（山本ガバナー）

→・一般社団法人日本ライオンズのウェブサイトに掲載している。是非活用していただきたい。準地区のウェブサイトとリンクをはっていただきたい。

イ 国際大会委員会 吉村委員長

- ① 2025年北海道オセアルフォーラム

国際大会委員会では国際大会、オセアルフォーラムを主幹としているが、現あ位は2025年北海道オセアルフォーラムと、2030年北海道国際大会（立候補準備中）と北海道を意識して動いていると報告。

- ② マニラ・オセアルフォーラム（2023年11月2-5日）

・日本から1490名の登録  
・登録キットの不備が見受けられ、記念誌や出席証明がなかった。IDカードが発行できなかった。晚餐会での食事が出なかったことや会議や晚餐会での時間がルーズであった等、現地フォーラム委員会には努力をいただいたものの不手際が見受けられた。札幌オセアルフォーラムの反省としたい。

・来年は、タイのパタヤで開催される。（2024年11月）

- ③ メルボルン国際大会(2024年6月)

・スケジュールの説明と、早期登録のお願い。  
・6月22日夕方（予定）に代議員会を開催予定。  
・ホテルの件 各MD公認TCがホテルを斡旋するので、利用をお願いします。現時点では1泊3万2千-5千円ほどの予定、このホテルと会場とシャトルバスを運行してもらえるよう交渉を行う予定である。

【質疑・要望・意見】

- ① 国際大会の7月開催は考えてほしい。（石垣ガバナー）

・国際大会については日本ライオンズの範疇ではない事を理解いただきたい。日程・開催場所については、7年前から決まっている。

- ② ポータルサイト（LIONPORTAL）はどうなっているか。（石垣ガバナー）

・ポータルサイトは、国際協会によれば2024年1月から公開予定。

注：12/28付けでOSEALより公開延期の連絡があった。

ウ アラート委員会 池原委員長

- ① 組織、規約、資金の問題があるが、今年度はまずはシンプルで災害時に迅速に動きやすい組織作りを目指して活動中である。
- ② 委員会運営規約と現行組織図が合致していない部分があり。  
現状に合わせた組織図にすることと、組織のシンプル化をはかっている。完成後に社員総会で諮る予定。
- ③ 次年度（2025年）全国アラートフォーラム MD333 で開催予定。その他引き継ぎのため研修会制度について検討中。
- ④ 8複合対象 備蓄庫（現時点336、331は整備済み）、緊急支援金につきアンケートを実施。地区によりかなり幅はあるが、今後の災害への備えとして申し送り等を行いたい。
- ⑤ 今年度のアラートフォーラム  
・岡山市民会館にて開催。大学受験と重なりホテルが確保できないため2024年2月3日に変更している。多くの方にご参加をいただきたいと呼びかけ。  
登録料・懇親会キャンセル受付（開催2日前まで）についてと、今年度以降は準地区から開催地への振り込みをお願いすることを本日の理事会にて決定されたことが報告された。
- ⑥ その他  
・今後の災害に備え最善の努力をお願いする。災害時のアラート規約の確認と、お持ちでない場合は作成いただき、周知徹底をお願いしたい。

#### 【質疑・要望・意見】

- ① 全国組織としてのアラート委員会の役割を分かりやすくしてほしい。本来であれば地区に設置をし、機敏性のある組織にすべきではないか？（渡邊ガバナー）  
→・問題点が組織にあったかどうかも含め大変不透明であったため、今年度は0から組織作りに全力投球を行っている。組織の情報の流れを迅速かつ分かりやすくすることや、組織自体をシンプルにし、問題点を解決していきたい。機敏性の高いアラート組織を作っていきたい。  
動きやすいアラート委員会を作るために意見があれば、どしどしいただきたい。
- ② 9/8のいわき市の台風時に、アラート委員会が勝手に動いて困った。  
アラート委員会が、ガバナーの了解なしに活動していた。  
ボランティアが必要なのに、緊急の必要のない場面で炊き出しばかりしていた。  
食中毒の発生の懸念もある。支援に来ていただいたことはありがたいがやはりガバナーを頂点として活動を行うべきであると思う。（門馬ガバナー）  
→・地区アラート委員長・ガバナーが中心となり動いていくことが重要と考えて

いる。ガバナー、議長の要望に応えることができるよう、委員会内で再度、申し合わせしていく。

- ③ 災害時の被害状況について地元のガバナーの意見も聞いてほしい。(石垣ガバナー)

→きちんと意見をきき、進めていく。

エ SON委員会 増澤専務より

・SONの説明と、11月18.19日 長野市での開催報告、今後の開催予定について

- ② 2/11、12 北海道、名寄市にて雪上競技

- ② 2/24、25 長野、氷上競技・閉会式

・広島大会では各クラブより5000円のご支援を頂いたが、今回はLCIFからの支援金を充てるため金銭のご支援は頂いていないが、ボランティアとしてご協力をいただいていることの報告。

【質疑・要望・意見】

- ① SONの開催について、今後の資金援助については決まっているか。(西村ガバナーより)

→・今回の開催について、SONにて開催のあり方を考えようという話になり、協力金の依頼を行わなかったというところもある。今後も同様にLCIFからの支援で開催を行うようになると現在のところは聞いている。

オ PRマーケティング委員会 (ライオン誌) 増澤専務

- ① 経費を節約しながら、紙ベースで年4回、WEB版を運営している。月1回編集会議を行い、取材や掲載記事についての検討を行っている。今回は経費削減と発行回数維持のため、取材地に近い各複合地区委員が取材を行うこととした。

・その他社団HPの更新、メールマガジン等活動報告があり、ライオン誌LINE登録が呼びかけられた。

カ 国際理事候補者資格審査委員会 (松本委員長)

- ① MD334 元議長 L仁科良三の審査を行い、国際理事推薦候補者としての資格を問題なく満たしていると決議した件の報告。

- ② 昨年度の名称変更を受け規約の改正についても会則委員会で進めていく。

キ YCE委員会 (吉村委員長)

- ① 2023年冬期から派遣を再開した件と人数の報告。

- ② 11/23 YCE実務者会議を開催した。

③ YCEの制服を変更する。ベストに変更する。

ベストの見本が示された。日の丸をイメージしたデザインにしたことや寄せ書きができるように白を基調としていることなど説明。2024年春から間に合うようにしたい。価格は6000円から7000円を予定している。

【質疑・要望・意見】

① 受入家庭マニュアル（330～337、統一マニュアル）がかなり古いので、新しいマニュアルを作成してはどうか。（北野ガバナー）

→・統一マニュアルを2～3年前に作成している。再度、早急に検討し、速やかに複合を通じて準地区へ提供したい。

ク ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会 玉川委員長

① 各地区委員会構成について各ガバナーへ質問。地区により、クエストと薬物乱用委員会の組織編成がまちまちである。アンケートをとって現状把握したい。

アンケートについては組織の統一を目的とするものでなく、あくまで現状把握のためである。

【質疑・要望・意見】

クエストに代わるような教育プログラムを各学校に提案してきている会社があり、ライオンズクエストと競合している。プログラムの見直しが必要なのは、→プログラムの内容については国際協会より JAID へ送られている。取り急ぎ現状把握を行いたい。

(3) 質疑、要望

ア 定款の社員の入社に関する規定について（山崎ガバナー）

定款第7条2項において、新入社員の承認は社員総会となっているが、内規第1条ではガバナーになった時点で選任されるものとなっている、整合性を持たすため、新入社員承認は理事会もしくは代表理事の承認とするなど、定款変更を含めて検討できないか、とのご提案。今後の理事会にて前向きに審議を行い、次回社員総会にてお諮りすることとする。

イ (一社) 日本ライオンズ役員のプロトコールはないのか？（三口ガバナー）

→・式典の際に困るという意見もあったため理事会で協議した結果、原則として、議長・元議長など公認プロトコールのとおりとなる。

ローカルプロトコールとして、日本ライオンズ理事長は、議長の上に設けさせて

いる。

エ (公財) 日本ライオンズの理事長のプロトコルをどうするかについて、総会の意見を聞きたい。決定は理事会となるが、その前に皆様の意見を聞くと本日の理事会にて申し合わせを行った。あくまで席次等決定のためのローカルプロトコルであることを念頭にご意見を頂きたい。(田名部理事長)

・先に不老理事長のお話を聞き、その後意見を募ったほうがいいのではという意件があり、後ほどご意見をいただくこととした。

→・不老理事長の活動報告後に改めて諮った結果、ローカルプロトコルとして記載することとし、ガバナーの総意で賛成を得たものとして認識させていただいた。この場で本件について理事の意見を諮り賛成多数で承認を得た。掲載順については会則委員会での協議内容を元にした松本会則委員長の提案により一社理事長の次に掲載する。

#### (4) 監事講評 (佐々木監事)

前回、今回と充実した会議ができています。皆様から意見が活発に寄せられ、頼もしく感じられました。

議長・ガバナーはライオンズという組織の中でみな仲間であり、上も下もない。今後とも、ライオニズムを十分に理解いただいたうえ、高揚に邁進していただきたい。

#### ケ その他

##### ① MD330の賛助会費について (田名部理事長)

・現在、未納である。一般社団法人法においては半期の納付がない場合は役職につくことができない。

日本ライオンズとしても MD330 と話し合いを重ねてきて、前向きに解決について進んでいるが、MD330から年次大会まで決議を行うことが困難であり、会費の準備ができていないが、執行できないという事務的な問題がある。

次の年次大会まで猶予してもらえないかとのMD330田中議長から申し出があったので、友愛と寛容の精神に基づき理事会でこれを了承としたことの報告があり、ガバナー各位の了承を得た。

・(公財) 日本ライオンズ 活動報告 公益財団法人日本ライオンズ不老理事長より

・公益財団立ち上げに至った経緯と、財団の主な事業について説明。

世界各国で自国のために財団を立ち上げている国が多くあり、日本としても有志が集まり

2020年5月12日に前身となる一般財団法人日本LCIFを結成。災害や児童養護施設への支援を行ってきたが、その後名称変更があり、2021年10月28日～31日に開催されたサンディエゴ国際理事会にて国際協会に承認される。現在は特別支援学級フットサル大会と、児童養護施設の学習支援に絞って活動しており、文部科学省に後援をいただくなど各所へご理解も頂いている。今後は人道支援や災害支援を行う予定である。

【質疑・要望・意見】

- ① (一社)日本ライオンズにおいて、今後のあり方、ルール等を定めていただきたい。協力金についても会員からのさらなる理解が必要であり、誰がコンセンサスを取り、運用の詳しい方法について明確にしてほしいことや、また一般社団法人日本ライオンズの立ち位置を明確にしてほしいという意見。

田名部理事長より、皆様と一緒に勉強し理解を含め、社団・財団と両輪として協力できるようにしていくと回答。

- ② 331-A設楽ガバナーより、地区での取り組みが紹介され、公益化の説明を受け、昨年度より財団の委員会を設け、協力金を含め活動していることが報告された。

・その他

- ・増澤専務理事より、日本ライオンズ事務所年末年始休暇についてのお知らせと、第3回(3月19日 火 東京)第4回(6月5日 水 東京)社員総会日程のお知らせ

以上

議事録作成人：

常務理事	田中 雄一
常務理事	中谷 豊重
事務局補佐	菅原 孝明

議事録署名人：

一般社団法人日本ライオンズ理事長	田名部智之【押印省略】
334-E 地区ガバナー	喜多 友一【押印省略】
336-B 地区ガバナー	藤井 信英【押印省略】

一般社団法人日本ライオンズ  
2023～2024 年度 第 2 回 YCE 委員会要録

◎日時 2023 年 10 月 5 日 15:00～17:00

◎開催方法 対面（日本ライオンズ事務所）

◎出席者

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部 智之 (八戸 LC)

専務理事 増澤 義治 (諏訪湖 LC)

YCE 委員会

委員長 吉村 弘吉 (和歌山 LC)

各複合地区 YCE 委員長

MD 3 3 0 副委員長 青木 秀茂 (東京吉祥寺 LC) 代理出席

MD 3 3 1 委員長 鈴木 善一 (千歳 LC)

MD 3 3 2 委員長 菊池 徳男 (北上国見 LC)

MD 3 3 3 委員長 藤川 清幸 (前橋中央 LC)

MD 3 3 4 委員長 石本 雅之 (鯖江 LC)

MD 3 3 5 委員長 正岡 章 (吹田江坂 LC)

MD 3 3 6 委員長 蔵本 守雄 (高松源平 LC)

MD 3 3 7 委員長 岡 秀昭 (大川 LC)

◎本日の出席者確認及び進行について

- ・吉村委員長は開会を宣言し、出席者を確認の上、挨拶を行った。

◎議事録作成人の指名

- ・委員 (MD335 委員長) 正岡章を議事録作成人に指名した。

◎議案

1. 前回議事録確認

前回の議事録を確認した。

各複合地区の幹事旅行社の確認があり、各複合とも 1 社とのこと。

2. 各複合地区より冬期交換予定について

MD 3 3 0 派遣：マレーシア 3 名、ニュージーランド 1 名

受入：シンガポール 1 名

MD 3 3 1 派遣・受入なし

- MD 3 3 2 派遣受入予定なし
- MD 3 3 3 派遣：メキシコ3名、マレーシア5名  
受入：メキシコ3名、シンガポール2名
- MD 3 3 4 派遣：ドイツ4名、イタリア7名、マレーシア4名、  
ニュージーランド1名  
受入：ドイツ5名、イタリア8名
- MD 3 3 5 派遣：マレーシア6名、ニュージーランド2名  
ドイツ1名、イタリア1名  
受入：マレーシア13名
- MD 3 3 6 派遣・受入なし
- MD 3 3 7 派遣：シンガポール9名  
受入：シンガポール3名

3. 今回問い合わせのあったニュージャージー州の窓口は3 3 2とし、インドは3 3 5とする。

◎夏期交換について現段階の計画確認

- MD 3 3 0 夏期春期合わせて、派遣5 2名、受入5 7名の予定
- MD 3 3 1 窓口3ヶ国と10月中にコンタクトを取り、調整する。
- MD 3 3 2 窓口として活動する。
- MD 3 3 3 夏期に25名でのユースキャンプを予定。  
ハンガリーとの派遣受入各1名を予定。
- MD 3 3 4 ユースキャンプ及び派遣受入の予定。
- MD 3 3 5 ユースキャンプ及び派遣受入の予定。
- MD 3 3 6 窓口の台湾と派遣受入とも8名の予定。
- MD 3 3 7 窓口のシンガポールと派遣受入とも8名の予定。

◎ユニフォーム新調について

フジマキネクタイとグローリーシバタ2社からの提案に対し、フジマキネクタイの方を採用する。

布地ベストでカラーは白地に赤の縁ライン、胸に赤のYCEロゴ、背に赤地に白抜きのYCEロゴを入れ、JAPANのロゴも入れる。

生地が3種類あるので、サンプル作成後に決定する。

◎次回委員会の開催について

11月24日13:00～16:00にWEB開催。

以上

(2023-2024)一般社団法人日本ライオンズ

## 第三回 YCE 委員会 議事録

開催日時: 2023年11月24日(金) 13:30~16:00

開催場所: リモート Web 会議(Zoom)

参加者: 一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部 智之 (八戸 LC)

専務理事 増澤 義治 (諏訪湖 LC)

### YCE 委員会

委員長 吉村 弘吉 (和歌山 LC)

副委員長 田中 雄一 (狭山 LC)

### 各複合地区 YCE 委員

330 複合地区委員長 ベイリー 久美子 (加須 LC)

331 複合地区委員長 鈴木 善一 (千歳 LC)

332 複合地区委員長 菊池 徳男 (北上国見 LC)

333 複合地区委員長 藤川 清幸 (前橋中央 LC)

334 複合地区委員長 石本 雅之 (鯖江 LC)

335 複合地区委員長 正岡 昭 (吹田江坂 LC)

336 複合地区委員長 蔵本 守雄 (高松源平 LC)

337 複合地区委員長 岡 秀昭 (大川 LC)

次第による出席者確認と進行を一般社団法人日本ライオンズ YCE 吉村委員長が行った。

### 挨拶

一般社団法人日本ライオンズ田名部理事長より 11月21日の実務者会議の問題点など解決して行きライオンズ発展に寄与したいと挨拶。

### 議事録作成人の指名

MD331 委員長の鈴木善一を指名した。

### 議題

1. 10月5日開催の議事録に関して確認した。

2. ユニフォームについて

前回フジマキネクタイに発注決定し、添付の変更写真の内容で承諾した。

正面国旗の囲いを鮮明にしてほしい意見もあった。

費用については MD333 藤川委員長にて交渉し各委員長に直接連絡することになった。(交渉にあたり各 MD に後日想定枚数を確認する。)

※発注方法に関しては、各複合地区で取りまとめ→日本ライオンズへ注文する。

納品に関しては、フジマキネクタイ→各 MD 宛て直接発送とする。

田中副委員長からは、春季タイへ間に合うようにほしいと要望あり。

3. 冬季交換の情報共有及び最終調整

来日生に関してはマレーシア 13 名・メキシコ 3 名・イタリア 6 名・ドイツ 4 名・シンガポール 3 名(6 名記載)

MD333 地区 5 名・MD334 地区 10 名・MD335 地区 13 名

シンガポールに関しては 3 名

(前半 MD337 にて 3 名→後半 MD330・1 名・MD333・2 名)

MD333 藤川委員長より冬季はキャンプをせずウェルカムレセプションのみと報告がされた。

MD334 石本委員長よりドイツに関して返答が無く困惑している状況報告がされた。

4. 夏季交換の情報共有及び最終調整

MD330 アメリカ応答無

フランス 5 名・オランダ 4 名で調整中。

※フランスでのキャンプ開催が 7 月中旬で日本の夏休みとズレているが過去の経緯について質問があった。

MD334 石本委員長が返答した。直接生徒の学校と話して個々に対応した経緯ありと説明された。

MD337 岡委員長より、現状昨今の大学は定期講習などからキャンプ参加は難しいと思われる説明がされた。

MD331 フィンランドより MD333 地区に連絡あり、12 月 1 日議長・ガバナー参加 MDYCE 会議開催承認後スイス・スペイン窓口交渉も併せて行う予定。

※MD334 石本委員長よりヨーロッパフォーラム参加によるフィンランド 10 名・スペイン 1 名・スイス 1 名の希望があることも踏まえて対応予定です。

MD332 春期タイの対応あり。1 名希望・1 名検討中。

テキサスとノルウェーに関して受け入れ可能との返事があり進めて行くとの事。12 月 11 日複合会議にて派遣と併せて調整する。

ニュージャージーに関しては例年仙台育英学園と約 20 名の交換留学事業を行っているので支援する形か、332C 地区にて検討調整中です。

MD333 キャンプを開催。人数については現在 25 名程度で考えており検討中。

MD334 イタリア 17 名派遣希望。ドイツ 5 名派遣・エストニア 2 名交換・ベルギーに関しては例年約 1、2 名交換を行っているので例年通りの予定。

MD331 にてスイスの対応はしてほしいと要望あり。

MD335 マレーシア 25 名・オーストラリア 10 名・ニュージーランド 4 名・

ミシガン2名・アルバータ2名・リトアニア1名・ルーマニア2名派遣予定。キャンプは335-Bにて4日間ほど開催したい。地区としてか複合としての開催かは検討中。

MD336 台湾25名キャンプ開催。ヨーロッパとアメリカは円安等物価価格などから台湾のみで対応。国際協会HPのキャンプ情報からの問い合わせは協議する。

MD337 シンガポール中心に対応。派遣は12名。アメリカなど希望があれば今後協議する。

※派遣締切に関しては基本1月末日から2月上旬で募集締切で統一する。

アプリケーションフォームについて

ヨーロッパ用をベース活用し日本統一書式として利用する。

※ただし、ヨーロッパ（キャンプ含）への派遣の場合は、すべて記入が必要。

フォームⅢのコロナウィルスに関する事項を削除する。

フォームⅤ 費用負担に関する部分も削除する。

※上記2点を反映した統一フォーム変更までは、既存のライオンズユースキャンプ交換の参加申込書の書式フォームを統一書式とし利用いただく。

#### 5. 11月21日(火)開催 YCE実務者会議について

MD337 地区のプロジェクトチーム作成の事故マニュアルや旅のしおりについて確認した。

増澤専務理事より上記の資料に関しては2022年6月及び各MD委員長に送付した(一社)日本ライオンズYCE資料(14P)2022年4月25日改定資料に関する事なので再度確認するよう伝えられた。

上記YCE資料と交換生ハンドブックを併せ地区YCE委員と共有するよう説明された。

#### 6. YCE幹事旅行会社について

MD330(名鉄観光) MD331(JTB) MD332(日本旅行) MD333(ウイントラベル)

MD334(JTB) MD335(JTB) MD336(近畿ツーリスト岡山支店) MD337(コスモ観光)

#### 7. その他

ID番号附番について

例)イタリア3名 派遣の場合 IT1(国IT+人数1) IT1・IT2・IT3

受入れの場合 ITJ1(国IT+日本J+人数) ITJ1・ITJ2・ITJ3

#### 8. 次回委員会開催日時

第4回YCE委員会 2024年1月16日 13:30~16:30 web開催

#### 閉会挨拶

一般社団法人日本ライオンズ増澤専務理事より、課題が多いと思われませんが頻繁に連絡

を取り合い調整していただき資料なども現代版に修正していただき 8 複合で共通して利用促進出来れば良いと話され会議参加メンバーに労いの言葉で挨拶され閉会した。

以上。

議事録作成人

MD331YCE 委員長 鈴木善一

#### 第4回日本ライオンズ YCE 委員会 WEB 議事録

◎日時：2024年1月16日（火）13：30-16：00

◎開催方法：WEB（於：ZOOM システム）

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部 智之 (八戸 LC)

専務理事 増澤 義治 (諏訪湖 LC)

YCE 委員会

委員長 吉村 弘吉 (和歌山 LC)

副委員長 田中 雄一 (狭山 LC)

各複合地区 YCE 委員

MD330 ベイリー 久美子 (加須 LC)

MD331 鈴木 善一 (千歳 LC)

MD332 菊池 徳男 (北上国見 LC)

MD333 藤川 清幸 (前橋中央 LC)

MD334 石本 雅之 (鯖江 LC)

MD335 正岡 章 (吹田江坂 LC)

MD336 蔵本 守雄 (高松源平 LC) 【欠席】

MD336 YCE 委員会世話人 三島 英揮 (福山東 LC) 【代理出席】

MD337 岡秀昭 (大川 LC)

- ① 吉村委員長より開会宣言と挨拶。
- ② 日本ライオンズ田名部理事長より挨拶。
- ③ 出席者の確認：出席者名簿を確認、MD336 は三島 L.が代理出席。
- ④ 議事録作成人指名：MD333 藤川委員長を指名
- ⑤ 前回議事録の確認

吉村委員長より前回の会議は主に情報共有であった旨説明がなされた。

#### ⑥議題：確認事項及び協議事項

##### 1.各 MD より冬期交換事業の報告

MD330：派遣について MD335 にお世話になり感謝している。マレーシアからのホスト家庭等の情報が直前まで混乱していたため、父兄より心配の声があった。現地空港でホスト家庭が迎えに来ず、直接親へ連絡してしまうなどトラブルもあったが帰国した子供たちからは楽しかったと報告があり全体的には再開後としては良い結果と思う。

MD331：交換なし

MD332：交換なし

MD333：派遣ではマレーシアについて MD335 にお世話になり感謝。派遣、受け入れ共に各準地区委員長や役員の方が送迎していただいたことに感謝している。受け入れについて、シンガポール 2 名、メキシコ 3 名。ウェルカムレセプションでは 5 名の YE 生に対して議長はじめガバナーなど 40 名ほどライオンが参加して盛大に行われた。

MD334：派遣生の荷物紛失などトラブルがあり心配される父兄との連絡に労力を費やした。また、コロナに感染した YE 生もいた。不慣れなこともあり事務方とともにかなりの時間を費やした。ドイツへは派遣は 4 名行ったが来日 4 名は中止となった。受け入れに関してはイタリアのみ 6 名来日しキャンプも行った。関係者に感謝している。

MD335：E チケットの種類の違いによる小さなトラブルがあった。ニュージーランドは 4 名（うち MD335 から 2 名）現地で川に入るイベントがあったようだが日本の派遣生は怖がって川に入らなかったとのこと。危険な行為はしてはいけないと日本では言われていると話していると現地キャンプより連絡があった。

受け入れはマレーシア 11 名。2泊3日のキャンプを実施。雪不足のため急遽内容変更。南国の子供たちは雪があると喜ぶので今後場所の変更も検討している。B 地区の今村委員長よりレポートあり。別途資料。

MD336：交換なし

MD337：シンガポールに絞って 9 名の派遣。1 名がコロナに感染したため 3 日遅れで参加。派遣生のうち 2 名が現地でコロナ感染してしまったが無事年明けに帰国。来日はシンガポール 3 名。後半は 330・333 へ移動した。

吉村委員長より：全体的にまずまずの結果と思う。初めての体験で派遣生の父兄が心配するため情報提供はスピーディーに正確に行うことが重要と思われる。反省を基に改善していきましょう。

## 2.春・夏期交換について

・春の実施は MD330 のみ。派遣についてはタイへ 3 名、グアムへ 4 名。3/26-4/5 予定。来日についてはタイから 10 名、グアムから 2 名程度を予定している。3/23 から 2 又は 5 日。

### ・夏の実施

MD331：派遣は現在集計中であり 1 月中締め切り予定、受け入れはスイス 2 名、スペイン 2 名。フィンランドは 10 名予定だが現地より返事がない。

MD332：春のタイ派遣を MD330 に 1 名お願いしている。夏は派遣・受け入れともノルウェー、テキサスと調整中。

MD333：派遣はリトアニア1名、メキシコ2名、チェコスロバキア2名、ブラジル1名、ポーランド1名、スロベニア1名。受入はリトアニア1名、メキシコ2名、チェコスロバキア2名、ポーランド1名、スロベニア1名、インドネシア1名、スイスとブラジル調整中。どちらも現在8名程度を調整中である。夏のキャンプは最大10名程度を見込み検討中である。

MD334：現在28名派遣希望。イタリア7名、ドイツ7名、ベルギー4名、エストニア2名。マレーシア希望の10名前後はMD335と、スイス希望1名はMD331と調整が必要。来日はイタリア7名、ドイツ7名、ベルギー4名、エストニア2名、マレーシア調整中。

MD335：派遣・受け入れとも40名程度を予定。派遣について、マレーシアは25名、東マレーシアには別枠がある。ニュージーランド4名、ミシガン2名、アルバータ2名、リトアニア1名、ルーマニア2名、インド1名、オーストラリア若干名を予定しており、現在30名程度を予定。1/15に締め切りした。他の複合からの派遣希望にも対応していきたいと思うので、声掛けしていただければ検討する。336へマレーシアからの来日生受け入れの提案あり。

MD336：今期の夏は派遣・来日とも中止予定。再来期以降再開を目指したい。

MD337：派遣はシンガポール12名を予定している。東マレーシアとシンガポールが同じ複合だったこともあり、東マレーシアへ4名希望あり。MD4に1名希望あり。

・MD330より、アメリカの日程が6月13日からになると連絡があった旨報告。

・MD335 キャンプ日程予定について、資料を元に説明あり。準地区ごとに行っていたが今後は複合で行う予定。

正岡委員長より：キャンプについては国際協会のHPに掲載される。参加者は情報の正確さやスピードを考えると、窓口制でなく直接のやり取りをした方がよいと思う。フィンランドから直接来日・キャンプ参加1.2名の希望連絡あり、鈴木委員長にキャンプ希望の来日生について直接やり取りの可否について確認。

鈴木委員長より：直接やっていただいたほうが良いというのが率直な意見。

担当窓口のフィンランドについて窓口の変更を提案したい。南国のYE生は北海道の雪に感動すると思う。正岡委員長よりマレーシアより数人受け入れていただいてもいいのではと提案あり。

吉村委員長： キャンプについては直接やりとりするしかないと思うが、通信国・窓口との連絡は密にしておいてほしい。

MD331 窓口について、一度協議し、実情に沿った通信窓口の見直しを行いたい。

### 3.その他

・共通ユニフォームについて

藤川委員長より進捗の報告あり。フジマキネクタイより 7000 円を下回る見積もりを頂いている。各複合の必要枚数を集計してフジマキネクタイに作成依頼をする。  
吉村委員長より各複合の予定枚数を聞き取り。

330	331	332	333	334	335	336	337	計
30	20	24	50	60	60	希望 なし	60	304

現状で 304 枚、この枚数だと 6800 から 6900 円ほどになると藤川委員長より回答。集計表を事務局より各複合に送付する。MD330 より、春の派遣に間に合うかとの問いがあった。フジマキに確認したところ対応できるとのこと。3/26 までに 10 枚程度を先行作成する。

吉村委員長より、派遣生の手引きにユニフォームのイラストがある。イラストはフジマキネクタイへ依頼するが、ベストの下のスタイル等、改定しなければならない部分があると思うが、皆さんの意見を聴きたい。

- ・例会などのフォーマルな場とアクティビティなどへの参加時、空港でのユニフォームの必要性など意見が求められた。
- ・海外の例会は日本とは違ってラフな服装が多い。ポロシャツでも襟があればセミフォーマルになる。学校の制服または襟付きのシャツの上にベストを羽織る程度でいいのではないか。  
アクティビティの場合はカジュアルな服装にベストが良いと思う。
- ・派遣先の空港ではベストを羽織ることで日本の YE 生と目印になると思う。
- ・ユニフォーム着用について、着用する場面の記載など、YE 生の手引きの見直しを各複合で行ってはどうか。
- ・髪の色、ピアス、タトゥーなどを含めて、門戸を狭めないような配慮も今は必要かもしれない。「清潔感のある身なり」のような表現ではどうか。
  - ・従来頒布していたネクタイ・リボン・ワッペンについて、着用は強制しないこととしたい。
  - ・現在のルールが厳しすぎるとの意見が出、改定のためもう一度実務者会議を行ってもよいのではと意見が出る。
  - ・各委員よりマニュアル改善が必要であるという意見が出、ユニフォームについてもなるべく現代にあった改定を行いたいという意見。案としてフォーマルな場では襟付きの服装、アクティビティではベスト着用など最低限の規定にし、他は YCE 生の判断に任せるのもよいのでは。

→YE 生の手引き（マニュアル）の改定を各複合で検討いただいた上、次回委員会にて

話し合うことを申し合わせた。

・共通アプリケーションフォームについて

吉村委員長より、前回会議を元に作成した共通フォームについて説明。青の網掛け部分はヨーロッパの個人情報保護に関する記載である旨の説明があった。その後、各 MD 委員長に意見を聴き、全体的によくできていると思われるため、これを統一フォームとして申し合わせた。各 MD で準地区に伝えていただきたい。共通フォームは事務局よりエクセルデータで各複合に送る。記載する言語について質問があり、来日生については相手国へは英語版での提出が必要であると回答。英語での記載については現在日本語での記載を地区委員が修正している複合などもあり、派遣生に英語での記載をお願いするのもいいのではなどの案があり。

受入れのフォームについても問いがあったが、現状は各国別のフォームで送られてくる旨の報告があり。各国の意向もあると思われるので現状通りとすることを申し合わせた。

・次回委員会について

3月13日(水) 13:30~16:00

WEBでの開催を申し合わせた。

吉村委員長より次回までに服装を含むマニュアル見直しと、複合間での人数調整についてお願いしたいと要望あり。

⑦ 閉会の挨拶

・増澤専務理事より閉会あいさつ。

以上

議事録作成:

MD333 YCE 委員長 藤川清幸



2023 年 11 月 1 日

(2023～2024 年度)

臨時アラート委員会(WEB) 議事録

・ 2023 年 10 月 26 日(木) 13:30～15:30 ZOOM システム

・ 出席者

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部 智之	(八戸 LC)
専務理事	増澤 義治	(諏訪湖 LC)

アラート委員会委員長	池原 堅	(福山久松 LC)
アラート委員会副委員長	新里 正雄	(沖縄 LC)

日本ライオンズ アラートチーム

統括リーダー	佐々木 健太	(大阪若獅子 LC)
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森 ZERO LC)
西日本統括リーダー	藤井 信英	(岡山みらい LC)

アラート委員

MD330 委員	増田 正明	(東京田無 LC)
MD331 委員	浅野 敬一	(北見中央 LC)
MD332 委員	木川田 明弘	(仙台高砂 LC) 【欠席】
MD333 委員	中田 泰範	(新潟東 LC)
MD334 委員	堀岡 昭夫	(金沢東 LC)
MD335 委員	堀口 清隆	(神戸みなと LC) 【欠席】
MD336 委員	西尾 慎一	(鳥取 LC)
MD337 委員	高野 裕子	(熊本平成 LC)

委員長補佐・MD333 アラート班長  
若林 純也 (水戸葵 LC)



- ・開会宣言 2324 年度 アラート委員会委員長 池原 堅

池原委員長 11月13日の日本ライオンズアラート委員会の開催に向けてより詳細を詰めた  
く今回臨時のアラート委員会を開催することにした。議論を詰めていきたいのでよろしくお  
願いいたします。

- ・出席者の確認(若林委員長補佐)

- ・一般社団法人 日本ライオンズ理事長ご挨拶

田名部智之理事長 社団はさまざまな改革を進めていくつもりである。アラート委員会にお  
いての内規など決めることは今期で決めていく。国内で大きな災害があった場合、スムーズ  
な連携をお願いしたい。来年2月の全国アラートセミナーの機運を上げて行ってほしい。

- ・議事録作成人の指名(334MD 堀岡昭夫委員を指名)

- ・前回議事録の確認・承認

## 議案

- ① 11月13日(月)開催予定 アラート委員会開催場所について

### 池原委員長

11月のアラート委員会を岡山で開催するにあたり、交通費について増澤専務理事より説明を  
お願いしたい

### 増澤専務理事

規約において、現在委員会は東京開催となっている  
東京以外の開催地への旅費は支給されない。  
現在の規約では、自己負担となっている。

### 池原委員長

皆さんの意見をお聞きしたい。

### MD330 増田委員

キャビネット会議で岡山は参加できない。

### MD331 浅野委員

14日はガバ協があるが、何とか参加したい。自己負担で良い。



MD334 堀岡委員

自己負担が良い

MD336 西尾委員

現地を見る必要がある、自己負担が良い

MD337 高野委員

自己負担が良い

東日本木村リーダー

現地の岡山で開催してほしい。顔の見える会議で実行委員の顔合わせも含めて。  
アラートは今までも自己負担が定番であった。

西日本藤井リーダー

会場を見てほしい、アラートは自費が基本  
他の委員会でもあり得るので社団でも考えてほしい。

日本佐々木リーダー

岡山で実行委員会をする場合、東日本の委員に交通費の負担が大きい。  
しかし、交互で全国アラートセミナーを開催するので、お互いさま不平等ではない。  
一部負担は、社団で今後協議してほしい。

池原委員長

会場を見たい、意思疎通が大切である。  
期が変わるたびに、決めたことが変わらないようにしていかなければならない。  
当日、岡山まで参加出来ないメンバーには ZOOM や事前に会場を録画するなど、多くの委員  
が参加できるように方法を考えてほしい。

日本佐々木リーダー

ハイブリットです。  
視察を先にして、事前に会場を録画すればよい。

一号議案 決議

岡山開催で良いか

全員承認



交通費は自己負担で良いか 全員承認  
以上 2 件可決承認される

② 組織図・運営規則に関する件

東日本木村リーダーより組織図の共有をした。

日本佐々木リーダー

池原委員長より指摘があり、開催複合地区に全てお任せしているのが、昨年の仙台での全国アラートセミナーであった。

8 複合からお金をいただいている、余剰金が出ているので次期開催地に渡すことになっている。

そこで、今後開催責任は日本ライオンズアラート委員会とすべきなのではないかと思う。

社団のアラート委員会に、計画委員会を設置するのはどうだろうか？

開催地は、実行委員会としてはどうか？

委員長よりこの組織を作る意味

全国の MD 委員長の意見を聞くのが重要ではないか？

皆さんの意見をアラートセミナー開催に向けて入れていきたい。

補足として、開催にあたり既に 8 月～9 月には開催地では準備をしている。

2 月にフォーラムがあり、2 月～7 月に計画準備実行委員会を、社団アラート委員会内に設置して、8 月には開催地にバトンタッチをする流れが理想的ではないか。

10 月には、全国に案内を出していきたい。

増澤専務理事

開催地の MD 班長をどのように実行委員会にいれるのか？

日本佐々木リーダー

330～337 の班長を実行委員会に入れてはどうか？

計画委員会(社団 日本ライオンズアラート委員会)には、班長は入っていない。

田名部理事長

組織は計画・実行各委員会で良いが、呼び名を変えた方が良いのではないか？

例えば計画委員会を、主催委員会(計画)社団日本ライオンズアラート委員会とし

実行委員会を、開催地委員会(主管)ライオンズクラブ各 MD 地区としてはどうか？

東日本木村リーダー

二つの組織は、内部だけの立て付けになる。



あくまでも、開催は日本ライオンズアラート委員会。主管は開催地 MD になる。

若林委員長補佐

班長は開催地委員会に入れてはどうか？

アドバイザーではなく、サポート委員として入ってもらう。

班長をいろいろ経験させた方が良い。

計画サポート委員 MD330～MD337 班長として入れてはどうか？

日本佐々木リーダー

計画サポート委員つまり班長？

東日本木村リーダー

班長はオブザーバーでいいのではないか？

サポーターで良い

池原委員長

皆さんの意見を聞いてほしい

330 増田委員

班長は何をしたらよいか？ 宙ぶらりんになっている。

331 浅野委員

全体会議には、班長が入るのでオブザーバー参加が良い

331 の班長は、やる気がやるから大丈夫だ。

333 中田委員

オブザーバー参加で良い。

336 西尾委員

オブザーバー参加してもらう。経験を積んでもらうことが大切である。

337 高野委員

オブザーバー参加で問題はない。

新里副委員長

オブザーバー参加で良い。

採決 組織図について修正を加えたうえで全員賛成可決



③ その他(名刺)について、先に協議をした

池原委員長

名刺の件、必要であるという意見がある。

個人が費用を出すのであれば、個人的には問題ないと考えている。

増澤専務理事

ライオン誌・三役は既に名刺はある。

MD で使っているメンバーもいるが、個人負担が原則である。

アラート委員会から社団に委員長が要請していただければ、やり易い。

日本佐々木リーダー

前年は基本デザインを貰って個人が自費で作っていた。

池原委員長

途中であるが、一度統括コメント

組織図と運営規定をまとめて、執行理事会に上げることを目指す。

組織図は社員総会で承認されていない、2022年に作ったものは(案)である。

現在、正副と各リーダーで詳細を見直ししている。

第二回の社員総会に上程できるように作業をしている。

調査アンケートは、331・332・336が回答しているが

このアンケートは急いでいるわけではない。

次回の社団アラート委員会には、提出してほしい。

全社協との協定は、毎年必要です。遅れた年度がある。

毎年更新すること、毎年7月に更新をお願いしたい。

第三号議案 全国アラートフォーラム 次期開催地について

日本佐々木リーダー

昨年は仙台で開催した。

2023～2024 は岡山

2024～2025 は東日本

2025～2026 は OSEAL のため、331 の北海道

以上の予定である。

次年度は、330・333 で開催してほしい。



常総災害から丸 10 年になるので、手を上げてほしい。

若林委員長補佐

皆さんの意見をお聞きしたい

330 増田委員

333 にお任せする

333 中田委員

頑張って開催します。

東日本木村リーダー

問題なし、333 で開催しましょう。

新里副委員長

よろしいです

若林委員長補佐

MD333 には準地区は 5 地区あるので、相談して計画していく。

3 号議案 決議

2024～2025 の全国アラートフォーラムは、333MD の茨木県で開催することに  
全員承認する。

第四号議案 アラート委員会 研修会計画並びに講師養成講座について

池原委員長

研修制度・講師養成制度、取得制度があると良い。

日本佐々木リーダー

運営規則だけでなく、活動規定、活動ルールを決めていきたい。

研修会出席の対象者は、委員と班長です。

東日本と西日本に分けるか、一本にするか？

2 月か 3 月頃を目安に研修会を行いたい。

MD に下ろし、準地区に速やかに下ろす必要がある。

池原委員長

ステップが上がっていると思う。



研修会を行うことで、レベルアップが図れる。

#### 若林委員長補佐

公認ガイディング・熟練者が育っていくと思う。

#### 東日本木村リーダー

調査アンケートの意図を知りたい。

#### 池原委員長

社団日本ライオンズにアラート委員会が設置された。

大きな災害が起きた時に活用しやすい。

データがあれば、協議しやすい。

充てにするわけではなく、また圧力をかけるものではない。

誤解を招くものではない。

#### 東日本木村リーダー

13日の岡山市に、多くの335MDの実行委員会メンバーが集まってほしい。

顔合わせをしたい、想いの共有が必要である。

キックオフにしたい。

#### 西日本藤井リーダー

今日の臨時アラート委員会で、組織が決まったが

主催委員会の決めたことを軸に動くべきか？

#### 池原委員長

もうすでに活動していると思うので、新たな実行(主管)委員会を336MDで活用してほしい。

#### 東日本木村リーダー

昨年は、実行委員会で案内文書を作りMDに流していたが、今回は社団から出す。

社団～各MD～各準地区に早く下ろす。

来られない理由を作らせない。

#### 増澤専務理事

昨年は、MDから負担金があった。

今回も集めるのであれば、早めに社団に上げてほしい。

#### 西日本藤井リーダー

今回は、負担金を求めない



日本ライオンズ発行<2023-24-A-M 臨時> 添付資料：アラートフォーラム組織図 11/15 現在

閉会の挨拶

新里副委員長

新たな組織図が出来上がって良かった。

11月13日に岡山市でお会いしたい、今日のご苦勞様でした。

2023年11月1日(水)

議事録作成人 MD334 アラート委員長

堀岡昭夫



日本ライオンズ発行<2023-24-A-M 臨時> 添付資料：アラートフォーラム組織図 11/15 現在



## 全国アラートフォーラム2024 IN 岡山

主催：一般社団法人 日本ライオンズ アラート委員会  
主管：ライオンズクラブ国際協会336複合地区



### 組織図

- 主催委員会→フォーラム内容の立案
- 開催地委員会→フォーラム開催にあたり実務作業



## 主催委員会（計画） 一般社団 日本ライオンズ 開催地委員会（主管）ライオンズクラブ国際協会 MD336

大会委員長  
L池原 MD336

大会副委員長  
L新里 MD337

大会顧問  
L田名部 MD332

計画委員長  
L藤井 MD336

計画副委員長  
L木村 MD332

計画委員長補佐  
L西尾 MD336

委員  
L福岡MD334

委員  
未定MD335

計画サポート委員  
L増田MD330・L浅野MD331・L木川田MD332・L中田MD333

実行委員長  
L西尾 MD336

アドバイザー  
L佐々木 MD335

開催地大会顧問  
L澤 MD336

アドバイザー補佐  
L木村 MD332

アドバイザー補佐  
L藤井 MD336

アドバイザー補佐  
L畑中 MD336 (班長)

事務局長

副事務局長

総務部長

副部長

フォーラム部長

副部長

交流部長

副部長

L松岡 (336-B)

L佐々木 (336-B)

L藤井 (336-B)

L白坂 (336-A)

L田部 (336-C)

L岡部 (336-C)

L岡部 (336-C)

L岡部 (336-C)

L岡部 (336-C)

L真治 (336-B)

L中川 (336-D)

L井上 (336-B)

L出射 (336-A)

計画サポート委員 (オブザーバー) MD330～MD337 班長

### 第3回アラート委員会 議事要録

- ◇日時：2023年11月13日（月）14:30-16:30 場所：岡山県岡山市+ZOOMシステム  
 ◇司会：若林 純也（水戸葵LC）

◇ 開会宣言

2023-2024年度 アラート委員会委員長 池原 堅

今日は2024年2月24日に予定している全国アラートフォーラム西日本の開催について、及び、アラート委員会運営規則改定に関する事項等を中心に協議を行いたい。フォーラムの開催に向け中心となって動いていただいている佐々木統括リーダー、木村東日本統括リーダー、藤井西日本統括リーダーには感謝申し上げる。

◇ 一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶

一般社団法人日本ライオンズ理事長 田名部 智之

オセアルフォーラムを始め複合地区、準地区のイベント等忙しい中、委員会に参加いただき感謝を申し上げます。諸事情でWEBでの参加となったが、現地では様々な確認が行われていると思うが、しっかりとアラートフォーラムの成功に向けて準備を進めて欲しい。又、アラート委員会ルール改訂について検討が進んでいる様だが、上半期のうちに決めて理事会を通し、しっかりとしたルールの下で活動できるようお願いしたい。

◇出席者の確認

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部 智之	(八戸LC)	【WEB】
専務理事	増澤 義治	(諏訪湖LC)	【WEB】
アラート委員会委員長	池原 堅	(福山久松LC)	【WEB】
アラート委員会副委員長	新里 正雄	(沖縄LC)	

日本ライオンズ アラートチーム

統括リーダー	佐々木 健太	(大阪若獅子LC)	
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森ZERO LC)	
西日本統括リーダー	藤井 信英	(岡山みらいLC)	

アラート委員

MD330委員	増田 正明	(東京田無LC)	【WEB】
MD331委員	浅野 敬一	(北見中央LC)	【WEB】
MD332委員	木川田 明弘	(仙台大砂LC)	【欠席】
MD333委員	中田 泰範	(新潟東LC)	【WEB】
MD334委員	堀岡 昭夫	(金沢東LC)	
MD335委員	堀口 清隆	(神戸みなとLC)	【欠席】
MD336委員	西尾 慎一	(鳥取LC)	
MD337委員	高野 裕子	(熊本平成LC)	【WEB】

委員長補佐・MD333アラート班長

若林 純也	(水戸葵LC)
-------	---------

オブザーバー参加

アラート委員会MD336班長	畑中 孝之	(岡山みらいLC)
MD336アラート副班長	織田 秀樹	(東予LC)
MD336アラート副班長	井上 哲孝	(岡山みらいLC)
MD336アラート副班長	廿日出 一晴	(呉安浦LC)
MD336アラート副班長	植田 節雄	(浜田LC)
MD336アラート副委員長	出射 隆文	(高松フェニックスLC)
336Bアラート委員	眞治 憲之	(倉敷天領LC)
336Cアラート委員	田部眞 一郎	(庄原LC)
336Dアラート委員	中川 和昌	(岩国錦LC)

## ◇ 議事録作成人の指名

MD336委員 西尾 慎一を指名

## ◇ 前回議事録の確認

10月26日開催の臨時アラート委員会の議事録（MD336堀岡委員作成）について、増澤専務理事より、池原委員長に承認を頂いているので、これから田名部理事長に回付し、承認が取れ次第各委員に配信する予定であると報告された。

## ◇ 議案

## ① アラートフォーラム（岡山）開催について

池原委員長は、10月26日開催の臨時アラート委員会於いて、2月24日開催予定の全国アラートフォーラムin岡山の組織図について承認を頂き、これを日本ライオンズの執行理事会に報告し承認を得たとして佐々木統括リーダーに組織図について説明を求めた。

※注：その後開催日を2月3日開催に変更。

佐々木統括リーダー

組織図を画面共有し、池原委員長を大会委員長とする主催委員会（計画）、MD336の西尾委員を実行委員長（開催地大会委員長としてMD336澤議長を検討）とする開催地委員会（主管）について説明した。尚、今後相談の上、主管委員会組織に田名部理事長の役職を加える事としたいとした。

池原委員長

組織について日本ライオンズ執行理事会で承認を頂いてはいるが、個人的な意見として組織に田名部理事長、澤議長を加えることに加え、開催地委員会に藤井西日本統括リーダーを加えるべきと思うが意見を聞きたいと質問。

藤井西日本統括リーダー

私としては総務部会に名前があり、役職には拘っていない。実体として自分が中心となり実行する事なので問題はない。しいて言えば、アドバイザー補佐に加える事で良いと思うと答えた。

池原委員長

問題がなければ今期はこれで良いと思うが、来期や再来期、今後同じスタンスで行うとなった場合、開催地以外の関係者も構成図に入れるように、同じような問題が起きないようにお願いしたいと要望した。

藤井西日本統括リーダー

ご指摘に従い、アドバイザー補佐としてやらせていただくと述べた。又、澤議長

の役職について、大会委員長とした場合は上に委員長が2人となるので、大会顧問とさせていただきたいと提案した。

以上の発言を受け司会のL.若林は、会議参加の各委員に組織図の変更について賛否を諮り、全員異議無くこれを承認した。

次に、池原委員長は本日行ったアラートフォーラム開催会場の視察結果について説明を求めた。

#### **藤井西日本統括リーダー**

本日、フォーラム開催予定会場である岡山市民会館を視察した。会場へのアクセスはJR岡山駅から徒歩3分の所にある路面電車の岡山駅から東山行きに乗車、城下駅で下車し徒歩5分弱の所に立地、会場は1,700名収容と申しぶんなく、ホールは1階・2階に分かれており、1階の収容人数は約700名。せめて1階を満席にしたいと考えている。閉会後は、同じルートで帰り、岡山駅直結の“ホテルグランヴィア岡山”で懇親会を行うと報告した。

#### **池原委員長**

会場へのアクセスは、案内に添付するようになっていないかと質問。

#### **藤井西日本統括リーダー**

案内パンフレットに、会場のURLを記載しているのに加え、フォーラム当日はアクセスのポイントとなる地点にメンバーを配置し案内するようにしていると答えた。

#### **池原委員長**

先回の臨時委員会後、日本ライオンズにMD336よりフォーラムの案内をどの様に発信するかという問合せがあり、執行理事会、臨時理事会で案内はMD336で作成し日本ライオンズに送付、日本ライオンズから8複合に、そして35準地区に発信するという事で承諾をえているがそれでOKかと尋ねた。

#### **藤井西日本統括リーダー**

そのように理解しており、すでに案内をMD336から社団のほうに送付、返事待ちとなっていると答えた。

#### **増澤専務理事**

案内に関し、11月15日に大阪で開催される理事会で承認を得た後発信する予定である。但し、参加者の集約については、MD336にお願いしたい。併せて登録料（参加費2,000円、懇親会費8,000円）について、MD336で単独の専用口座を作り管理してほしいと付け加えた。

#### **MD330増田委員**

案内は何時頃出していただけるか、当方としては出来るだけ早く出して欲しいと要望した。

#### **増澤専務理事**

社団としては、送付いただいている内容に問題なければ11月15日の理事会で決定し16日には発信できると答えた。

#### **木村東日本統括リーダー**

昨年仙台で開催した際も各クラブに案内が届くまでに3週間程度かかってしまった。11月16日に発信出来れば良いと思うが、全国フォーラムなので遅れないようにお願いしたいと要望した。

### 池原委員長

今話があった通り昨年は1月の執行理事会で案内についての話しがあり、タイミングとして遅いと感じた。本年は、執行理事会に於いて8複合の議長にしっかりと連絡、案内をアラートらしく速やかに議長より夫々のMD内地区に下ろすように徹底すると答えた。

### 増澤専務理事

事務局に連絡したところ、案内に瑕疵がなければ理事会翌日の11月16日に各MD宛一斉に配信する事が確認出来たと付け加えた。

### 池原委員長

若林委員長補佐がフォーラムの内容について説明したい旨述べたのを受け、池原委員長はフォーラムの内容について説明するよう求めた。

### 藤井西日本統括リーダー

フォーラムの内容について、昨年の仙台では青森、静岡の豪雨災害に関する事例発表を行ったが、今年は5年が経過した西日本豪雨災害について、ライオンズ関係、倉敷社協の事例発表、四国の大学生の取組み事例発表を考えている。併せて本年の秋田、岩手の豪雨災害について取り上げるか、或いは来年にするか、又、その他に取り上げるべき内容がないか意見を聞きたいと述べた。

### 若林委員長補佐

池原委員長が皆から意見を聞くように要望したため、若林委員長補佐は各委員を指名し意見を求めた。

### MD337高野委員

次年度災害が起こらないとも限らないので、今年度起こった災害は聞かせて頂きたいと思うので入れた方が良くと思うと述べた。

### MD336西尾委員

災害は起こった地域によって色々なケースがあると思うので、取り入れた方が良く思う。併せて専門家の意見も取り入れるべきと述べた。

### MD334堀岡委員

入れたほうが良く思うと述べた。

### MD333中田委員

パソコンの調子が悪く今参加したばかりで質問の内容が不明、後ほどお話しすると述べた。

### MD331浅野委員

昨年行った仙台のフォーラムは素晴らしく、ビデオもインパクトがあった。フォーラムは全国が対象なので、全てを網羅すべきだと述べた。

### MD330増田委員

時間が許すのであれば、全国の多種多様な事例を見聞きたいのでよろしくお願ひしたいと述べた。

### 池原委員長

各委員の意見を総合すると、本年の秋田、岩手の豪雨災害について取り上げれば良いと思うので、皆さんの賛否を取るようにと述べた。

### 若林委員長補佐

全員賛成意見なので、藤井西日本統括リーダーは今まで各地で色々経験しているので、フォーラム内容の組み立ては、これまでの災害を出来るだけ多く取り入れる方向で検討する事としたいと述べ、全員がこれに賛成した。

## ②アラート委員会研修について

### 池原委員長

本件について、臨時アラート委員会でも話したが、佐々木統括リーダーの発案と言う事で、佐々木統括リーダーに説明を求めた。

### 佐々木統括リーダー

現在、東・西の各統括リーダーにお願いし、夫々3月（日程は未定）の各委員の都合の良い日に4MDごとに研修会を行うよう進めている。研修会開催の意図は、過去5～6年アラート委員会を開催してきた中で決まった事を見ると、東京・大阪・九州・東北と各地域によって対応がバラバラだと受援側も支援側も活動がやりにくいのではないかとこの事で、まず各地区から集まっている委員が意見を出し合い、決まった事の周知を図る事、周知は委員が複合に持って帰り、準地区の委員会、各クラブの皆様伝えて頂きたいという事で提案した。日程については両統括リーダーが皆様に連絡して決めると思うので協力をお願いしたい。又、研修会の対象は委員だけでなく、将来的に複合の委員長になる方としたいので、班長の方もお願いしたいと説明した。

### 若林委員長補佐

池原委員長が皆から意見を聞くように要望したため、若林委員長補佐は各委員を指名し意見を求めた。

### MD330増田委員

研修会の開催は大賛成だが、参加対象は委員長と班長に限られるのか？開催場所によっては多く動員したいが如何か、開催は東日本と西日本2箇所の開催となると質問した。

### 佐々木統括リーダー

社団の行う研修会なので、複合地区の委員長、班長を対象としている。その方々が複合地区、準地区の皆様を対象とした研修会を開き周知するのが良いと考えている。又、開催地は東日本と西日本の4複合ずつ2箇所（対象者各8名）での開催を計画している。また、研修内容は社団のアラート委員会が出来て現在に至るまでの経緯を柿原シニアアドバイザーや坂本アドバイザーに協力をお願いしお話し頂くのに加え、研修内容は作成後に池原委員長、田名部理事長にチェックしていただいた後に、それらの資料を使って研修を行いたいと考えていると答えた。

### MD331浅野委員

研修を東と西に分けて行う事に何か意図があるか？私は皆が一堂に会して色々な話を聞ける方が良いと思うと意見を述べた。社協との締結状況などもお話いただけるとありがたい。

### 佐々木統括リーダー

研修は過去の事例ではなく、委員会としての方向性を意思統一する事、過去に決定した事の周知徹底を図るためのものなので、移動距離が短くなるよう東西に分けて行うよう計画。アラートは日本独自であり、国際協会から指針が示されるわけではないので、日本のアラート委員会はこう有るべきといった事も含め、東と西で実施内容は統一して行うことを予定していると答えた。なお今回は第1回目であるため、次回以降開催形式を変えていくことも考える。

### MD333中田委員

複合と日本ライオンズでは、アラートに対する考え方が微妙に違うと考えているので、統一する意味でもぜひ研修会を開いていただきたいと要望した。

**MD334堀岡委員**

ライオンズクラブは学ぶことが最優先。正確な学び、正しい情報、共有なくしてガバナンスは取れないと思うので、とにかく勉強しましょうと述べた。

**MD336西尾委員**

ライオンズのアラートとはこうあるべきというベクトルを統一する事は必要だと考えるので、ぜひ開催して頂きたいと述べた。

**MD337高野委員**

研修会を行う事は賛成だが、2月のフォーラムに続いて3月というのは少し性急。4月は年次大会等があるので5月位にと考えると希望を述べた。

**若林委員長補佐**

各委員から一通り意見を頂戴した。開催時期については池原委員長、統括リーダーで協議し決定いただきたいと述べた。

**池原委員長**

研修会の実施は前向きな提言で良い。アラートチームの委員の方はアラートに対する基本的な知識の醸成が必要であり、そういった意味で多種多様なアラートに対応するためにはライオンズ外の専門職を招聘し研修を行うのも一つの方法。アラートには多種多様な状況に応じた研修会が必要だと考えており、毎年新しい委員や班長が任命されてもアラートに対する基礎知識がないと対応が難しくなるので、災害時に十分に情報やノウハウを共有できる組織であることが大切だと思っている。次年度は新里副委員長が中心となって進めていくと思うがトップダウンではなく、今後についても最低限必要な事項についての研修を皆さんの意見を聞きながら進めて行かねばならないと述べた。

**佐々木統括リーダー**

池原委員長の発言に補足するとして、アラートは全社協や、地区の中でもガバナー協議会との連携が必要な組織である。研修は今後2回目、3回目と続くが、今回の研修内容は1回目であることから、委員会としてどう動くか、日本ライオンズとして、複合地区として、準地区としてどのように受援体制と支援体制を整えるかと言うことにスポットを当てた研修であり、個人のスキルの問題については考えていないので理解いただきたいと述べた。

**池原委員長**

皆さんの意見もくみ上げて、前向きに取り組んでいただきたい。

**③アラート委員会運営規則改定に関する事項****池原委員長**

本件は継続している事項であり、組織図と運営規則がマッチしていない部分があるため佐々木・木村・藤井の3名を中心に少しずつ見直しを行っている状況である。細部に亘って見直しがあるので、この改定を今回の社員総会に間に合えばとは考えているが、無理に間に合わせるようあせってやることは考えていない。実際今の組織図は昨年度承認を得ておらずそのまま今期まで来ており、これを最終的に今期でしっかりとした組織図とそれに連動した運営規則にしなければならない。すべてについて承認をいただいたかたちでスタートできるようにしたい。最終的には改定しておくべき部分や新規に追加する部分について皆の意見を聞いた上、ベストなものにと仕上げたいと述べた。

**佐々木統括リーダー**

緊急アラート災害支援運営規則について、森川委員長時に20年12月の社員総会で承認されたはずが、社団の中では（案）としか残っておらず現在に至っている。修正削除しなければいけない項目、例えば、第3条5項、「対象とする災害は原則は国内を優先するが、東日本大震災において諸外国から多くの支援を受けた経緯を鑑み、国外においても理事会で必要と認めた場合支援対象とする。」についてこれは過去の議論の中で、35準地区のガバナーが決めれば良いことであり、アラート委員会が関わらないほうが良い、理由としてアラート委員会は日本独自の組織なのでガバナーたちの連携により議論をすすめていただければよいのではないかとという考えでありこの項目は削除すると言った箇所を初め、削除・改正項目は私が見た中で少なくとも22箇所に入る。従ってこれを田名部理事長・池原委員長に見ていただき、執行理事会の中で論議していただき、内容が固まってから皆様に届くのが良いのではないかと池原委員長に提案し進めている。現在末尾には森川委員長の名前と日付が掲載されているが、出来れば3月末あたりを目途に理事会に通して頂き、社団のアラート委員会の中で理事会も社員総会も承認されたものを見ていただけるよう、12月～1月と作業を進めていく予定である。この様な日程で進める事で良いかと述べた。

又、池原委員長の組織図が言葉だけの説明では参加者に分かりにくいのではないかとこの発言に対し、組織図について、規約では委員長が指名するとなっているので問題ないと考えている。ただ、色々役職を設け、来期もその次も定番的に続けるのかどうか、毎年ガバナーチームでも新しい委員会を設けたりするのでその様にした方が良いという意見、或いはあまり役職者を増やさない方が良いという意見もあるので、全てを見直さなくても良いと思っていると佐々木リーダーより意見。

池原委員長より、現状の組織図と規約が一致していないことが問題であると発言。佐々木リーダーより、今期の役職の中には、柿原シニアアドバイザー、坂本・森川アドバイザーが、あまり人数が多くなってもということが入っていない。今期の委員長が来期のアドバイザーとして残ってもらうよう変えては如何かと言う提案があったので、その方向で作業を進めているので理解いただきたいと述べた。

#### **池原委員長**

組織図等について引継ぎが出来ていない事は理解いただきたい。引継ぐためには、委員会だけでなく最終的に社員総会で承認されたものでなくてはならない。組織などについて不透明なまま引き継がれてしまっており、皆さんの意見を反映して、良いものにするということは絶対であり、きちんと引き継いでゆけるものにならなくてはならないと強調した。不透明な部分を改正し皆が納得できる組織図と運営規則にならなくてはならないという事を理解いただきたいと述べた。

#### **若林委員長補佐**

池原委員長の考え方を基に各リーダーで調整をお願いしたいと本議題を結んだ。

#### **④その他**

##### **池原委員長**

皆様の方でその他意見があればお聞きしたいと述べ、無ければ新里アラート委員会副委員長に挨拶を頂きたいと述べた。

##### **若林委員長補佐**

今日は複合を代表して委員の皆様に参加いただいているので、皆様から意見を賜

りたいとして、各委員を指名した。

#### **MD330増田委員**

東西に分けて研修を行うのは大変ありがたいこと。MD330でも単独での研修会開催を考えているので、佐々木・木村リーダーにお願いしたいと要望した。

#### **若林委員長補佐**

研修会の単独開催はウエルカムなので各リーダーに相談の上進めていただきたいと答えた。

#### **MD331浅野委員**

岡山でのフォーラムが成功裏に終わるよう願うのと同時に出来る限り協力したい。研修について、規則や決まった事等に加えて、実際に災害時現場で活動している木村リーダー等、現場での経験や苦労などの話しも聞きたいと要望した。

#### **MD333中田委員**

先般、若林L、松本前議長にお願いしアラートセミナーを開催した。大変勉強になったが、日本ライオンズのアラート委員会で聞いた事とMD336の認識に多少のズレを感じたが、その事がMD333でも問題となっているので、それらを整合するためにも研修会で勉強したいと述べた。

#### **MD334堀岡委員**

災害についてMD330～MD337の認識はバラバラと感じている。その為、災害時に共通の認識を持ってもらうこと、加えてこれからのガバナーが、災害の規模を示すステージ1（クラブもしくはゾーン対応）、ステージ2（MDでの対応が必要）、ステージ3（阪神大震災・東日本大震災レベル）の各段階の認識、夫々の段階でどのように対応するかといった共通の認識を持ってもらうための研修であって欲しいと述べた。

#### **MD336西尾委員**

2月23日開催予定のアラートフォーラムの案内について11月15日開催の理事会で承認を頂く運びとなり、いよいよ本番に向けてスタートし、開催内容についても承認を頂いたので、現地実行委員長として実り多き大会となるよう努力するので宜しくお願いしたいと述べた。

#### **MD337高野委員**

岡山フォーラムの準備にあたって頂いている皆様に感謝いたします。研修会について、ガバナーが研修を受けなければ意味がないと思う。ガバナーと第1、第2、チームで研修を受ける、その為に少し時間を取って内容を考えていただきたいと要望した。

#### **池原委員長**

今回はMD336の班長、副班長、委員の方々にも参加いただいているので、夫々お話しを頂きたいとして発言をもとめた。

議長の発言を受け、会議へ参加した感想や、フォーラム開催へ向けて、地区でのアラート活動を通じて感じた点や取り組み、社協との協定や地区での体制作りの重要性など、出席のMD336班長、副班長、委員が夫々挨拶した。

#### **池原委員長**

アラートは何よりも結束が大切である。意見の相違もあるかもしれないが、お願いしていきたい。

### 佐々木統括リーダー

岡山アラートフォーラム組織図の主催委員会に記載が抜けていた田名部理事長について、仮で大会顧問と言う役職を充てているが如何かと諮ったところ同意を得たので、改めて組織図を作り直した上で関係者に配信するとした。

### 閉会挨拶

アラート委員会副委員長                      新里 正雄                      (沖縄LC)

今日は皆様お忙しい所、多くの方にご参加いただきました。又、日本ライオンズ田名部理事長、増澤専務理事にもご参加いただき有難うございました。統括リーダーの皆様にはご苦勞をお掛けしますがよろしく申し上げます。さて、2月23日開催のアラートフォーラムの内容が見えてきたが、後は周知徹底が肝要なので理事会で早期に承認いただき発信をお願いしたい。今後MD336の皆様にはフォーラムに向け宜しくをお願いしたい。佐々木統括リーダーからお話の合った研修会の開催は必要だと思っている。研修会を通して準地区での意思統一を図ること、その意味においてガバナーチームも加えての研修会は必要だと考えている。運営規則の改正についても小さな改善の積み重ねとはなるが、必要だと考えているので宜しくをお願いしたい。

今日は有難うございました。

議事録作成人  
MD336委員 西尾 慎一

(2023～2024 年度)

**第4回アラート全体会議および****第1回能登半島地震支援対策本部会議【WEB】議案要録**

◎日時：2024年1月22日(月) 14:00～16:30

◎システム：ZOOM システム

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長

田名部 智之 (八戸 LC)

専務理事

増澤 義治 (諏訪湖 LC)

アラート委員会委員長

池原 堅 (福山久松 LC)

アラート委員会副委員長

新里 正雄 (沖縄 LC)

オブザーバー

334-D 地区ガバナー

小出 進 (金沢兼六 LC)

ライオン誌日本語版委員会編集長

団 英男 (神戸みなと LC)

日本ライオンズアラートチーム

統括リーダー

佐々木 健太 (大阪若獅子 LC)

東日本統括リーダー

木村 知紀 (青森 ZERO LC)

西日本統括リーダー

藤井 信英 (岡山みらい LC)

アラート委員

MD330 委員

増田 正明 (東京田無 LC)

MD331 委員

浅野 敬一 (北見中央 LC)

MD332 委員

木田川 明弘 (仙台高砂 LC)

MD333 委員

中田 泰範 (新潟東 LC)

MD334 委員

堀岡 昭夫 (金沢東 LC)

MD335 アラートアドバイザー

平田 佳之 (大阪狭山 LC)

MD336 委員

西尾 慎一 (鳥取 LC)

MD337 委員

高野 裕子 (熊本平成 LC)

委員長補佐・MD333 アラート班長

若林 純也 (水戸葵 LC)

アラート班長

MD330 班長

高橋 長正 (東京レスキュー LC)

MD332 班長

山下 里美 (山形アルカディア LC)

MD335 班長

中尾 斉 (撰津 LC)

MD336 班長

畑中 隆之 (岡山みらい LC)

MD337 班長

石永 扶佐夫 (武雄 LC)

司会進行：佐々木統括リーダー

- ・出席者の確認
- ・議事録作成人の指名  
西日本統括リーダー藤井信英・MD336 班長畑中隆之が指名された。
- ・前回議事録の確認  
全体会議としては一回目である、委員会議事録は先日送付の資料を確認願いたい。
- ・開会挨拶  
池原アラート委員会委員長より開会の挨拶。
- ・一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶  
田名部理事長よりご挨拶。
- ・議案：
  - ① 全国アラートフォーラム(岡山)開催直前情報
    - ・藤井西日本統括リーダー  
資料 A の次第、懇親会、フォーラム内容について説明。
  - ② 令和 6 年能登半島地震について
    - ・佐々木統括リーダー  
資料 B の能登半島地震被災地支援の関する書面の確認。
    - ・小出 334-D 地区ガバナー  
能登半島地震発生から現在の状況を報告。
    - ・団ライオン誌編集長  
ライオン誌、WEB マガジンへ掲載する能登半島地震被災地現状、支援活動などの情報提供を被災地地区より寄せて頂きたい旨のお願い。
    - ・小出 334-D 地区ガバナー  
被災地区ライオンの安否確認、動向、活動状況の報告。
    - ・被災地支援活動報告  
山下 MD332 班長、若林委員長補佐、木村東日本統括リーダーより報告。
    - ・池原委員長  
今後の支援を行う時期や内容、支援金に関する考えを小出 334-D 地区ガバナーに尋ねた。
    - ・小出 334-D 地区ガバナー  
334-D 地区災害対策本部で計画調整を進めている。  
被災地避難所への支援活動は堀岡 MD334 委員長を中心として進めている。  
今後現地入りするボランティア活動は事前に連絡があると調整しやすい。  
アラート委員会での統制を行ってもらうとありがたい。  
全国から支援金送付先の問合せに応じて 334-D 地区支援金口座を開設した。

募金活動、クラブからの資金等を送金頂ければありがたい。

多額の支援金は能登復興支援に活用して行きたい。今後のご協力をお願いしたい。

現状の情報提供は 334-D ホームページより発信する。

・池原委員長

被災地区ガバナー、担当委員、班長との連絡を密にして適確な情報提供を日本ライオンズに頂きたい、それを受けてアラート委員会は早急に会議を開催している。

全体として結束をしてアラートを前に進めて行きたい。情報を共有して対策を一日も早く復旧復興に向けて進むことが大事である。色々な面で必要な物があるが欠ける事なく進めていけるアラート委員会にして頂きたい。

・田名部理事長

日本ライオンズとアラート委員会が被災地区ガバナー、MD 委員長の要望のもとに情報を集めてしっかりと正しく進めていく事を条件に行ってほしい。

アラート委員会組織の指示命令系統の中で困っている皆さんへの支援には佐々木統括リーダーを中心として具体的に日時、内容、人数を確認し全国のアラートメンバーを動かして頂きたい。具体的日時、ニーズが分かれば日本ライオンズとしても動いていけるのではないか。

・佐々木統括リーダー

334-D 地区の発災からの動きを説明。

CtoC、クラブ合同での支援活動をスプレッドシートを活用し情報共有を行いたい。

能登半島地震支援について各委員に意見を求めた。

それをうけ各委員より、お見舞いと現在の支援活動について発言があった。

③ アラート委員会組織・運営規約改定について

④ 台風 19 号剰余金の活用について

・佐々木統括リーダー

・資料 C（組織図・緊急アラート災害支援運営規則）について説明。

・運営規約第 26 条から 28 条までのアラート委員会運営規約改定

について第 26 条に記載のある、台風 19 号支援金剰余金について、会計上は預り金約 680 万があり、アラート支援基金（仮名）と変更して今後の災害支援に使える資金とするよう変更したい。

・池原委員長

・資料 C 組織図について補足説明。

・第 26 条剰余金について補足説明。

・佐々木統括リーダー

・異議、意見等求めたところ挙手がないため、本件は可決承認された。

・名目については執行理事会に一任する。

・増澤専務理事

- ・名称により使用が変わる、支援金と基金では違いがある、緊急で使用できる資金として理解をもとめ緊急時に正しく使えるような方向性をもった名称に協議する。
- ⑤ アラート研修会開催について
  - ・佐々木統括リーダー  
グループ LINE で東西統括リーダーより案内をする。
  - ・閉会挨拶  
新里アラート委員会副委員長より閉会の挨拶。

以上

議事録作成

西日本統括リーダー  
MD 3 3 6 班長

藤井 信英  
畑中 隆之

(2023-2024年度)  
第4回会則委員会 (WEB) 議事要録

◎日時：2023年11月24日(金) 10:00~12:00

◎システム：Zoomシステム

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ：各複合地区会則委員長：

理事長 田名部智之(八戸LC) 330複合地区会則委員長  
細川孝雄(東京赤坂LC)

委員長 (MD333協議会議長) 331複合地区会則委員長  
松本宰史(南房総LC) 馬場哲也(函館東LC)

副委員長 (MD335協議会議長) 332複合地区会則委員長  
中谷豊重(岸和田LC) 荒川友成(郡山西LC)

専務理事 333複合地区会則委員長  
増澤義治(諏訪湖LC) 岩沼忠伺(千葉ネオLC)

334複合地区会則委員長  
野村善弘(岡崎竜城LC)

335複合地区会則委員長  
小林 寛(姫路中央LC)

336複合地区会則委員長  
松岡 鯨(福山久松LC)

337複合地区会則委員長  
高野正勝(佐賀葉がくれLC)

- ① 開会宣言  
松本会則委員長より開会宣言。
- ② 一般社団法人日本ライオンズ理事長挨拶  
今期、会則委員会において役員必携及びライオンズ必携61版の制作がここ数年で一番スムーズに進行しており、委員会の皆様にはご負担をお掛けしておりますが、ライオンズの為になっており、やりがいのある一年になっていると思います。  
各複合地区を訪問し、各地区ガバナー・各メンバーとお話をさせて頂いた中で、日本ライオンズの立ち位置・地区ガバナーとしての役割・複合出向者の権限 等々が伝わっていないを確認しました。  
今後、メンバーの皆さんの声を各委員会に繁栄させていきたい。  
来月の委員会は、対面開催する様ですので楽しみにしております。
- ③ 出席者の確認  
別紙資料確認願います。
- ④ 議事録作成人の指名  
MD331馬場委員長・MD334野村委員長が指名された。

議案：

1. 前回議事録の確認  
松本委員長より前回議事録の確認事項について説明。
  - ・前回審議事項が確認される。役員必携の発行について完結（次期役員に2024年4月発行予定）ライオンズ必携の進捗状況について。  
コンプライアンス委員会の現況報告。  
その他・会員種別（割引会員～特典会員へ名称変更について報告）  
次回委員会開催は、東京にて対面と致します。
2. 田名部理事長からの諮問事項の件について  
田名部理事長
  - ・家族会員、特典会員（旧訳：割引会員）について  
国際本部に変更して頂いたので、国内では落ち着きました。
  - ・社団構成員のプロトコールにつて  
プロトコールは、理事会において決議された。理事長のみを記載する。松本委員長  
プロトコール表を説明し、1年と1日同じクラブの部分強調され  
皆さんからご意見を問う。  
皆さんは、特になかった。
3. 前回からの継続議題について
  - ・コンプライアンス関係、禁忌事項について松本委員長  
役員必携P125、皆さんからご意見を問う。  
小林委員長  
ライオンズ組織の存在理由、人間性、インテリジェンス等を再確認し、ライオンズ全体で考えることではないのか。  
松本委員長  
おっしゃる通りで、地区リーダーとして襟を正し、ステータスと自覚が必要で、会則委員会のみならずGLT（指導力育成）研修との連携が必須で、今後の課題です。  
岩沼委員長  
禁忌事項を前面に出し、学ぶことが必要。  
田名部理事長  
335地区に訪問の際、社団の行っていること（責任・権限などについて）ライ

オンズ必携を読んでもよくわからないので、社団としても勉強会を是非開催して頂きたいとの意見がありました。

松本委員長

複合地区の目的は情報の共有が第一であり、8複合のリーダーが理解し地区へ持ち帰り、伝えて説明することが大事です。

特に、言わないと聞かないと分からないのが会則です。

荒川委員長

先般、332MDにて簡単に説明したところ、役員必携を持っていないメンバーが多数おり驚愕しました、又、ライオンズ必携は毎年同じだから必要ないという意見がありましたが、やはり全員が必携を取得し携帯して頂くことが必須である。

松本委員長

ライオンズ必携は、毎年変わっているので全メンバーに取得させる。

特に、地区運営の会則部分が相当変わっているので毎年取得は必須。

岩沼委員長

20年前のライオン誌に、諸先輩の経験談の記載が多くありました自分も随分勉強になりましたので、又復活させて頂きたい。

#### 4. ライオンズ必携第61版発行について

松本委員長

グラ版が遅れておりますので、後日皆さんにはPDFで送信致します。スケジュール確認され、初校が11月24日現在、届いてませんので一週間ほどずれる可能性があり、ページ数の確認等々時間的にタイトなる予想、部数アンケート調査開始し今回65,000冊・≒924万見積前年度より10%の値上げもあり、60版では¥200でしたが61版は¥220で、理事会に提案する予定。

出来れば、全会員及び新入会員の分も購入して頂きたい。

増澤専務理事

今回、構成を委員会メンバー8名で間に合うのか疑問？間違いがあった場合の責任は？各地区に落として確認させて方がよいのでは？

皆さんに確認頂きたい。

中谷委員長

地区に一度確認した方がよい。

年表のガバナーリストを除いたのでしょうか。

松本委員長

役員必携に記載されているので、必携をより薄くする為にも年表のガバナーリストを除き、今後ウェブ版に掲載する予定です。

増澤専務理事

ガバナー名が無くなると苦情があると思いますし、除いた理由の一致が必要逆にライオンズ必携の方に、ガバナーリストが必要では？

小林委員長

それなら、何の為の委員会なのか意味がないのでは。

個人の感情で潰されるのは大きな問題である。

責任の問題ですが、委員会の立場からすると責任は取れません。

増澤専務理事

慎重に進めて頂きたい事と、責任はないと思いますがクレームがあるのでは？その辺を、丁寧に進めて頂きたい。

岩沼委員長

年表があると厚くて、ポケットに入らないので無くてよい。

荒川委員長

年表無くてよい。

馬場委員長

年表無くてよい。

今迄、構成確認は業者がしていたのですか？

松本委員長

基本、事務局員が確認していた。

野村委員長

年表無くてよい。

松岡委員長

スケジュールに問題があり、各複合に意見を問うと収拾が付かなくなる。

年表はどちらでもよい。責任問題は複合で受け止める。

高野委員長

まだ、勉強させてください。

細川委員長

役員必携では、割引会員で～ライオンズ必携では、特典会員ですか。

松本委員長

ポケット版は全て、特典会員に変更します。

年表を削除して50ページ減りますが、標準版地区会則が抜けていたので

複合会則第2章がポリウムアップされましたので、さほど減らない。

年表削除を地区に確認するかどうか！賛否を取る。

確認を取らない事を賛成多数可決。

松本委員長

ライオンズ必携第61版 主な改訂箇所一覧を説明される。

※なぜ改定が必要なのか！ミッション1.5を実行する為の権限を有する。

P13

彼→その人。

P31,32

目的 大きく変更。

P51

削除。

P74

地区ガバナー（より明確に、MDに説明要）

P88

会員種別最後(g.賛助会員)に次ぎに(h.特典会員)追加

P139

複合地区の目次を付けた。

P140

第3条 構成。

P144

第6条 複合地区年次大会（国際理事候補者資格審査委員会規則に変更）MD年次大会にて決議必要。

P149

第2章 地区（所属クラブに30日前までに通知する）各キャビネット承認必要。

P154

第16章 各地区コーディネーターに投票権が与えられる。

P155

第17章 PR→マーケティング・IT→テクノロジー。

第19章 解任が新たに追加された。

P164

〇〇〇複合地区第〇〇回年次大会議事規則例が新たに追加された。

3. 委員会（変更）5. 審議（変更：再質問2回は超えてならない）6. 採決（変更：今まで拍手で承認でしたが挙手により過半数に変更）

P166

名称変更：国際理事候補者資格審査委員会規則（改正案）  
全国8複合地区年次大会決議後有効となる。

P199

公認プロトコール

12. 一般社団法人日本ライオンズ理事長が入る。 ※※

※※8複合議長情報等取りまとめ役としての位置づけとする。

5. その他

新たに追加されたページ

- ・別紙：複合地区大会開催手順（例）
  - ・別紙：地区大会開催手順（例）
  - ・別紙：指名委員会チェックリスト（地区ガバナー・第一第二各候補者）
  - ・別紙：新入会員入会式参考例及び進行と次第（例）
- 以上を参考資料として追加。

松本委員長

以上ですが、ご意見ご質問ございますか？

細川委員長

役員必携では、割引会員で～ライオンズ必携では混乱するのでは？  
統一できないでしょうか？

松本委員長

説明が必要と思いますので、皆さんにその対応をお願いしたい。  
私達の役目でないでしょうか。

馬場委員長

331MDでは、第3回1月に開催されるガバナー協議会で、各自役員必携を持参いただいで概略説明する予定です。

中谷委員長

P130赤文字部分ですが、国際協会はいくまで割引会員で日本ライオンズが特典会員となったことを付け加えが必要と思います。

小林委員長

第2章 地区（所属クラブに30日前までに通知する）キャビネット会議承認事項ですよ。

松本委員長

キャビネット会議承認が必要です。

荒川委員長

今回ライオンズ必携の重要部分が変更されておりますので、全メンバーが取得し一読し更に、携帯して頂く事が必須です。

松本委員長

ライオンズメンバーとしての基本は、ピンバッチとライオンズ必携を携帯して頂く事を意識につなげたと思いますので、宜しくお願い致します。

・次回開催予定について

第5回会則委員会 12月11日月曜日 15:00～17:00  
日本ライオンズ事務局【対面】

⑤ 閉会挨拶 一般社団法人日本ライオンズ理事長 田名部 智之

2023年11月24日

議事録作成人

MD331会則委員長 馬場哲也

MD334会則委員長 野村善弘

議事録署名人

会則委員長 松本幸史

(2023-2024 年度)

第5回会則委員会(対面)議事要録

◎日 時： 2023年12月11日(月) 15:00-17:00

◎会 場： 日本ライオンズ事務所

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ：

理 事 長 田名部 智之(八戸LC)

委 員 長 (MD333 前協議会議長)

松本 宰史 (南房総LC)

副 委 員 長 (MD335 協議会議長)

中谷 豊重 (岸和田LC)

専 務 理 事

増澤 義治(諏訪湖LC)

各複合地区会則委員長：

330 複合地区会則委員長

細川 孝雄 (東京赤坂LC)

331 複合地区会則委員長

馬場 哲也 (函館東LC) 【欠席】

332 複合地区会則委員長

荒川 友成 (郡山西LC)

333 複合地区会則委員長

岩沼 忠伺 (千葉ネオLC)

334 複合地区会則委員長

野村 善弘 (岡崎竜城LC)

335 複合地区会則委員長

小林 寛 (姫路中央LC)

336 複合地区会則委員長

松岡 諒 (福山久松LC)

337 複合地区会則委員長

高野 正勝 (佐賀葉がくれLC) 【欠席】

① 開会宣言

松本会則委員長より開会の宣言。

② 一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶

田名部理事長よりご挨拶。全複合地区の協議会議長、全準地区のガバナーと面談した。様々な意見をいただいたが、今期、丁寧に対応し解決に向けて進めている旨、説明があった。

③ 出席者確認

④ 議事録作成人の指名

細川委員・松岡委員が指名された。

主要議案：

1. 前回議事録の確認

松本委員長より前回議事録の確認事項について説明。

時間が許せばコンプライアンス委員会についての議論を進めたい。

2. ライオンズ必携第 61 版改定について

(1) スケジュール

松本委員長から、元々の予定よりも一週間程度遅れているが、12月18日には印刷部数の集計を終えて発注する。来年1月末には配送できる予定であると説明。

(2) 発行部数

松本委員長より、昨年よりも発行部数が減少する見込みであるとの説明。

役員必携について、ライオンズ必携と間違えて注文したとの理由で多数キャンセルがあったが、次期クラブ三役研修会で再利用するとしてキャンセルを受けなかったとの事例が報告された。

(3) 変更内容の確認

松本委員長より、禁忌事項を載せるなど主な内容変更について説明。

(4) 複合地区会則、国際理事候補者資格審査委員会規則についての複合地区大会での承認

松本委員長より、複合地区会則、国際理事候補者資格審査委員会規則改正について、各複合地区大会で承認が必要であると説明。

(5) 複合地区会則、国際理事候補者資格審査委員会規則を必携に掲載することの是非

複合地区会則、国際理事候補者資格審査委員会規則の改正後の条文を必携に掲載するが、これらは来年の各複合地区大会で承認されてから効力を生じる。効力を生じる前に必携に載せることについて誤解を招くおそれがあるが、どのようにしたら良いか協議した。

協議の結果、改正条項案の最後に、「(注)」として、複合会則の改正部分については2023～2024年の各複合地区大会の閉会後に効力を生じる旨付記することとした。

(6) 国際理事候補者資格審査委員会規則について

増澤専務理事より、同委員会が「推薦」とすると誤解を招くおそれがあるとの指摘があり、これを受けて、同規則について次のとおり変更することとした。

ア 第2条の目的を「本委員会の目的は、地区及び複合地区から推薦を受けた国際理事候補者の資格を審査することにある。」

イ 第4条cの「選出、推薦」を「資格審査」

ウ 第14条を削除（以下の条項の数字を一つずつ繰り上げる）

(7) 価格について

6万部であれば220円であるが、6万部を下回れば余った印刷用紙を買い取る必要があるため、10円から20円程度値上げをしなければならない。このことについては、理事長一任ということで理事会で承認済みであると松本委員長より報告。

(8) その他

ア 松本委員長より、役員必携について次期クラブ三役研修会で各委員が講師となって説明してもらいたい、必携の変更点についてガバナーに伝達して欲しいと要望。

イ 松本委員長より、改正箇所について、ライオン誌に投稿予定であると報告。

ウ 松本委員長より、複合地区大会の議事規則を新規搭載すると説明（特に動議の取扱いについて）。

エ 中谷副委員長、荒川・岩沼各委員より、複合年次大会で決議が必要な箇所を各複合に案内してはどうか、会則の改正点について説明する次期クラブ三役研修会向けのビデオレターを作成してはどうかなど改正点について周知すべきとの意見。

オ 小林委員から、発行部数が、会員数より少ないとの問題提起。各ガバナーに、必携を購入するよう働きかけるべきとの意見。

### 3. 公益財団法人日本ライオンズ理事長 ローカルプロトコルの件

松本委員長より、ローカルプロトコルとして、公式プロトコルの枠外に、8 複合として一般社団法人及び公益財団法人日本ライオンズの両理事長を、複合協議会議長の上に配置したと報告。既に、理事会、社員総会を通じて、各ガバナーも承認済みとのこと。

田名部理事長より、プロトコルは、日本ライオンズが複合の上位組織であるという意味ではないこと、外国と関わる際に、日本ライオンズ理事長の扱いで混乱を招き、オセアルからも位置付けを明確にするよう要請があったこと、日本ライオンズという組織そのものに対する様々な意見があることは承知しているが、混乱を招かないための措置であり、組織についての議論とは別問題と捉えていること、この理解について各委員は各複合で説明を尽くして欲しいことが説明、要望された。

荒川委員より、公益財団法人の理事長が一般社団法人の理事に就任していること、公益財団法人の説明を聞いたが、一般社団法人が公認されていないかのような話があり理解できていないとの意見があった。これに対し、田名部理事長より、2018年11月5日に、エイミーJ. ペーニャ法律顧問から山田元国際会長宛に、一般社団法人日本ライオンズが国際協会からライオンズの名称と紋章を使用することについて許可を得ていると返答を受けており、公認を受けていないとの指摘は当たらないと説明。

#### ・次回開催予定について

第6回会則委員会 1/22 (月) 10:00-12:00 WEB

⑤ 閉会挨拶 会則委員会副委員長 中谷 豊重

2023年12月11日

議事録作成人

MD330 会則委員会委員長 細川 孝雄

MD336 会則委員会委員長 松岡 諒

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ 会則委員会委員長 松本 宰史

(2023-24 年度)

## 第6回会則委員会会議 WEB 議事要録

- 日 時：2024年1月22日（月）10：00～12：00
- 会 場：WEB会議
- 出席者：

### ◎一般社団法人日本ライオンズ

- ・理事長  
田名部 智之（八戸 LC）
- ・委員長（MD333 前協議会議長）  
松本 宰史（南房総 LC）
- ・副委員長（MD336 協議会議長）  
中谷 豊重（岸和田 LC）
- ・専務理事  
増澤 義治（諏訪湖 LC）

### ◎各複合地区会則委員

- ・330 複合地区  
細川 孝雄（東京赤坂 LC）
- ・331 複合地区  
馬場 哲也（函館東 LC）
- ・332 複合地区  
荒川 友成（郡山西 LC）
- ・333 複合地区  
岩沼 忠何（千葉ネオ LC）
- ・334 複合地区  
野村 善弘（岡崎竜城 LC）
- ・335 複合地区  
小林 寛（姫路中央 LC）
- ・336 複合地区  
松岡 諒（福山久松 LC）
- ・337 複合地区  
高野 正勝（佐賀葉がくれ LC）

### ① 松本委員長より開会宣言

- ・能登半島地震について  
地震の被害へ合われた方へのお見舞いと、亡くなられた方へのご冥福が伝えられた。

### ② 一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶 田名部部理事長

- ・1/1 から被災地に対して日本ライオンズとして会議を重ね準備している。  
被災地から要望・要請があった場合、直ちに動けるよう準備している。
- ・会則委員会について、今年度プロトコルなど、昨年までできなかったこと、

中途半端になっていることを今期詰めている。

- ・全国の複合地区を回り、周囲からライオンズの組織や権限が分からない指摘があり。松本委員長には国際協会、LCIF、一般社団法人日本ライオンズ、GAT の分かりやすい図を作成していただいた。皆さんにも確認の上、全国に発信していきたい。
- ・会則委員会は今期相当に進んでいる、それに対し感謝申し上げたい。

◎増澤専務理事より

- ・ライオンズ必携の件で委員長から議案が提案される、
- ・各複合地区年次大会でも承認頂かなければいけないが、出来上がったものを各複合地区でも皆様に良く周知いただきたい

◎松本委員長

- ・議事録作成人の指名。荒川委員と高野委員が指名される。

1. 前回議事録確認

ライオンズ必携第 61 版改定のスケジュール、発行部数について審議を行った。

- (1) 1 月末には印刷所発送予定。注文部数は、予想より少なく 53,550 部の受注在庫分 1,450 部合わせ 55,000 部印刷注文を行う。  
注文のない分は日本ライオンズ在庫 1,450 部で対応。

- (2) 内容変更確認の件

禁忌事項についてライオンズ必携に掲載する。  
後のコンプライアンス委員会に規定案に関連する議論を後ほどお願いしたい。

- (3) 国際理事候補者資格審査委員会規則について、  
複合地区年次大会での承認必要の件準備を進めたい。

- (4) ライオンズ必携の価格について 250 円で決定した。

- (5) ローカルプロトコルも理事会で認められた。

2. 議案

◎ライオンズ必携第 61 版改定について

- ・発行部数および頒布価格について報告。今回は 55000 部発行、頒布単価 250 円で決定
- ・ライオンズ必携 改定内容勉強会について  
三役研修会におけるビデオメッセージを 3 月末までには取りまとめる。  
今回大幅な規則改定がありこれをどう伝えるかが重要。

(細川委員)

年次大会の議案提出には事前にガバナー協議会へ提出が必要である。

内容が多岐に渡るため、実際の改定の場合と具体的な事例との差異を明確にしてほしい。

(馬場委員)

第3回キャビネット会議が1/27にある。

ライオンズ必携第61版改定の大きな変更箇所について、資料作成し説明予定。

第4回キャビネット会議では大まかな説明予定。

(松本委員長)

複合地区年次大会ではキャビネット、ガバナー、議長などは議事規則についての理解が重要だが規則自体を知らない場合がある。理解しないまま年次大会に臨み、問題が出てしまうこともある、作成中のビデオメッセージにも入れて具体例と共に伝えたい。

議事規則は近年必携に入っていなかったものを復活させた、各地区で十分周知したい。大会議案は事前提出が基本であり、議案を深く理解の上審議する。

(荒川委員)

キャビネット会議が2/2にあるので概要説明予定。次期3役の勉強会でも必携の内容を周知したい。

(岩沼委員)

地区内では必携規則に対する意識が低い。

地区会則委員長と共に考えていく、複合は各委員長にも伝えていく。

(野村委員)

地域の会則委員長には伝えている、末端会員までは周知できていない。

キャビネット会議で会則委員長がゾーンチェアパーソンにも内容を詳しく説明し、各ゾーン会議でも会則委員長に出席していただき説明いただく。

(松本委員長)

段取りをゾーンチェアパーソンにまで落とし込むのは素晴らしい。

各地区キャビネットを通してどう落とし込むか。ガバナーの協力を求めてやっていただきたい

(小林委員)

キャビネット会議が2/21にある。

ライオンズ必携第61版改定の主な改定は箇所各地区委員長に送っている。

地区委員長に会員から、「案」が取れたものが作成されるかどうか、質問がある。

必携が必要な人とそうでない人がいる。変更内容について周知が必要な方（第1・第2副地区ガバナー・ZCなど）に周知を徹底することが必要だと思われる。

(松本委員長)

主な改定箇所については一般会員に関係ある部分は少ない。

キャビネット運営に関わる人へ向け周知が必要。

(松岡委員)

今回は一般会員に影響がある改定内容が多いわけではなく、キャビネットの運営に関する内容が大きく変更になっている。

各地区のキャビネットにて勉強会が必要と考える。

(高野委員)

必携を見たことがないという会員もいる。会則改定の件について会員が認識できるよう、ガバナーに徹底して、各委員会に指導をお願いしたい。

(松本委員長)

キャビネット会議・クラブ3役会議で改正についてお伝えいただきたい。

#### ◎国際理事候補者資格審査委員会規定の改正に伴う複合地区年次大会への共通提案について

(松本委員長)

複合地区年次大会の議案として提出をお願いする。今回は事後決議という形になる。

決議後大会閉会時から効力を生ずると必携には記載した。

(小林委員)

複合地区年次大会での提案決議事項について、各複合地区委員長が議長に対し議案として提案する事になるのか。

(松本委員長)

議長提案議案になる、説明は複合地区会則委員長に行っていただく。

(松岡委員)

複合地区会則についても同様に年次大会での決議が必要である。説明のための資料は統一したほうがよいのではないか。

(松本委員長)

資料については統一が望ましいと考えられる。各地区での国際理事資格審査規則改定の新旧対比表と共に複合地区、会則改定分も一緒に会則委員長が取りまとめたい。

#### ◎コンプライアンス委員会について（委員会ガイドライン案について）

(松本委員長)

コンプライアンスによって日本ライオンズが全ての事項に対し審議を行うのではなく、ガイドライン案を元に各MD・地区にてコンプライアンス規定が設置される事が望ましい

(細川委員長)

当地区でもコンプライアンスが必要な状況であると議論があった。

日本ライオンズで委員会を定め各地区へ落とししていくことに賛成。

(松本委員長)

日本ライオンズがコンプライアンスを作成し各地区に落とし込む。

地区の中のことまでは審議できない。それぞれの地区・複合でコンプライアンス委員を設け実行していく事が良い。

(馬場委員)

各地区でバラバラにコンプライアンスを決めたら日本ライオンズが決める意味がなくなる。ルールは統一したほうがよいのでは。

(松本委員長)

基本的なルールは国際理事会方針書に記載がある。そこで解決できない部分をどうするか？そのために必要であると思う。皆さんの意見を聞きたい。

(荒川委員)

日本ライオンズが地区での紛争に関与することは好ましくない。

(岩沼委員)

紛争はクラブ間・人間性の問題・責任である。社団法人とクラブでは考え・運営方法が違う。

日本ライオンズのコンプライアンスはクラブと一線を引いて設置したほうがよい。

(野村委員)

クラブや複合地区で解決できない場合、日本ライオンズのコンプライアンス委員会で最終的に判断するのがよいのでは。

(小林委員)

本来教養とマナーがあればクラブでも問題は起きない、日本ライオンズが基本コンプライアンスを作り、各地区に落とし込み、問題発生時には委員会とは別に利害関係の無い人で都度、第三者委員会を作り、審議するなどどうか。問題解決には情報共有が必要。ひな形を作成することには賛成。

(松岡委員)

紛争は少なからず起きている、解決策としてのコンプライアンス委員会設置だけではなく、しっかり機能するものが必要、日本ライオンズでコンプライアンス委員会を作るのは懐疑的。

処分の権限がない中で責任だけ負うことになってしまうのではないか。

やるのであるなら日本ライオンズの指針の上に各複合地区、準地区の中にコンプライアンス委員会を作り対応する。

本来ライオンズ国際協会の中に紛争処理手続きがあり、ここが機能していれば裁判になるまでいかなと思う。作るのであれば複合地区、準地区のコンプライアンス委員会のサポートとして紛争処理手続きが機能していくように手助けをしていくという位置づけがよいのではないか。

現在のコンプライアンス規定案について、

- ・4条5項の窓口設置についてはここを頼っていろいろな紛争が持ち込まれる可能性があり、権限のない日本ライオンズではかえって混乱を招く可能性がある。

- ・7・8条は会員向け・事務員向けが混じっており、分けたほうが良いのでは。

(松本委員長)

ご指摘の通り、基本的には複合・地区内で処理をできる形が良いと思う。

必ずしも紛争が国際理事会でされるかというところでもなく、コンプライアンス委員会でどう処理していくか。

(高野委員)

本来なら規定を作らないほうが良いとは思いますが、日本ライオンズがまったく関与しないわけにもいかないと思う。

(中谷副委員長)

調停の役割をするのがコンプライアンス委員会。委員会にて禁忌事項やルールのまとめを作り、問題については地区→MD→日本ライオンズの流れが良いのでは。どういう委員会にするか、ルールや流れについてはっきりと決めておきたい。

(田名部理事長)

コンプライアンス委員会には罰する権限・責任はない。

現在は準地区・複合・日本ライオンズに統一された規定はなく、禁忌事項があるだけでも抑止力になり、モラル・ルールを再認識することに繋がる。

全国共通の指針としてもらい、問題発生時に DG.CC が罰則ではなく、戒めとして使えるようにもしたい。

コンプライアンス委員会が罰するところではないことは規定の中で明らかにする。

また会員のみではなく、複合地区事務局員の行動で禁忌事項に触れる事柄が見られるため、指導ができるような規定があればよいと思う。現在は社団事務局員の意識改革に取り組んでいる。その次は複合・準地区の事務局の改善が必要になると考えているが、日本ライオンズが成功例を示すことで改革・改善に至っていくと思う。

なんらかの決めごとは日本ライオンズ、複合地区、準地区まで筋が通るといふ、見通しのよさがあつたほうが良い。

(増澤専務理事)

コンプライアンス委員会を設置しなければいけないというのは恥ずかしいことである。問題に立ち入り調停するようなことは日本ライオンズではできない、クラブや地区の中で解決していただき、罰則が目的ではなく、活動できる指針を簡素化し禁忌事項を中心に明確にする。

事務局員も会員と同様の気持ちでまとまっていくことが望ましい。

新たに委員会を作るのではなく、管理委員会などの中に指針として規約を置く。

(松本委員長)

規定についてまだは精査が必要。日本ライオンズの中で維持管理するのではなく、複合地区もしくは準地区の中でコンプライアンス規定を設けてもらい、審議できる流れを作るべきか。

(馬場委員)

禁忌事項内に、コンプライアンスについて詳しく記載するという意見に賛成。

(荒川委員)

複合地区と準地区は国際協会から認められている組織。

日本ライオンズがコンプライアンスを作るのは難しく、関与すべきではない。

問題は複合、準地区で解決する。

すべての複合・地区でコンプライアンス委員会を作るべきでなく、問題が起こった時に作ればよい。

(小林委員)

コンプライアンス委員会では係争が起こっても解決できない、どちら側も正しいからである。理解の上でどうするか、両方とも認めて落とし込むことも重要である。

(松岡委員)

コンプライアンス委員会を作ることは反対。

作ったとしても会員やクラブに遵守を周知徹底させること、目的事項や道徳、禁止事項を発信し、コンプライアンス遵守のための体制作りを行い、複合地区、準地区で問題が発生した場合にコンプライアンス委員会の設立を促す程度に留める。

地区でコンプライアンス委員会を立ち上げた場合、地区の有力者が集まり、委員会が力を持ちすぎること懸念がある、委員会は常設せず問題解決できたら解散するほうが良い。

(細川委員)

日本ライオンズにコンプライアンス委員会があっても紛争解決は難しい。  
設置せず、今までなかった条文を書面に残し影響を与えるくらいがよい。

(岩沼委員)

複合や日本ライオンズが関わると余計難しい問題になる場合もある。クラブ・地区で解決すべき。

(松本委員長)

複合地区、準地区向けに、今回の意見を元に作り直したコンプライアンス規定案を一つの見本として作るのが良いのではと思う。意見を諮りたい。

賛否評決 賛成：9票 反対：3票

結果を受け、次回までに複合・準地区にて対応できる規定案を作りたい。

(田名部理事長)

禁忌事項も含めた指針ができればよいと思う。

(小林委員)

複合地区で委員会を開きコンプライアンスの説明をする、問題や提案も含めて話し合い、複合地区で作成し委員長に上げる、その内容を委員長がまとめる方法はどうか。

(松本委員長)

日本ライオンズで作成したたたき台を元に、複合地区などの意見をうかがう流れで考えたい。  
次回までにメールで案を送る。

・次回第7回会則委員会の日程

2月22日(木) 10:00~12:00 WEB開催

以上

議事録作成人：

332 複合地区会則委員長 荒川 友成

337 複合地区会則委員長 高野 正勝

(2023-2024年度)  
第7回会則委員会(WEB)議事要録

◎日時：2024年2月22日(木) 10:00~12:00

◎システム：Zoomシステム

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ：	○各複合地区会則委員長：
理事長 田名部智之(八戸LC) 【欠席】	330複合地区会則委員長 細川孝雄(東京赤坂LC)
委員長 (MD333協議会議長) 松本宰史(南房総LC)	331複合地区会則委員長 馬場哲也(函館東LC)
副委員長 (MD335協議会議長) 中谷豊重(岸和田LC)	332複合地区会則委員長 荒川友成(郡山西LC)
専務理事 増澤義治(諏訪湖LC)	333複合地区会則委員長 岩沼忠伺(千葉ネオLC)
	334複合地区会則委員長 野村義弘(岡崎竜城LC)
	335複合地区会則委員長 小林 寛(姫路中央LC)
	336複合地区会則委員長 松岡 諒(福山久松LC)
	337複合地区会則委員長 高野正勝(佐賀葉がくれLC)

1.開会宣言

松本会則委員長より開会宣言。

2.一般社団法人日本ライオンズ理事長 田名部理事長欠席の為  
増澤専務理事より挨拶。

3.出席者の確認

別紙資料に基づき確認。

4.議事録作成人の指名

MD331馬場委員長・MD335小林委員長が指名された。

5.議案：

①前回議事録の確認

- a. ライオンズ必携第61版改定について  
必携に対して知って頂く為にもビデオメッセージなどにてPRをしている。
- b. コンプライアンス委員会のガイドラインを、本日再度協議する。

②年次大会への共通提案事項について

(松本委員長)

- ・ライオンズ必携第61版改訂箇所の確認。  
承認決議事項として、複合地区会則・国際理事候補者資格審査委員会規則がある。  
ページ数が相当増えているので、新旧対照表にて説明。  
近日中に説明用資料を委員会メンバー並びに各MD事務局にメール送信する予定。  
MD330より指摘があったライオンズ必携61版内容の改正が必要な箇所(2点)  
について説明。  
年次大会においては修正を加えていただいた上での承認決議をお願いしたい。

(細川委員)

修正箇所の説明。第2章については数字のミスであるが、第1章については変えてはならない部分であるとの説明。

③コンプライアンス委員会について

- ・ガイドライン案について

(松本委員長)

コンプライアンス委員会がなぜ必要なのか？

将来的に問題が発生した場合、どこの機関で処理するのか。

現在、基本的に対応する規則がないので、早めに対応のためにもこのような委員会が必要である。

コンプライアンス規定(案)の説明

第3章コンプライアンスへの取り組み

第5条(役員および構成員の義務)

(9)と(10)はいただいた意見を受け、削除する。

(松岡委員)

コンプライアンス規定は、MDの役員に対しての縛りですか？

(松本委員長)

今回は、事務局は除いて、役員と構成員に絞り込んでいます。

(小林委員)

コンプライアンス委員会は常設ですか？

(松本委員長)

常設ではありません、問題が発生したら、事前に決めていたコンプライアンス委員会

を立ち上げ対応する。

私の所属している333-Cでは、運営委員会で対応しています。各地区では？

(松岡委員)

336では、対応する委員会は特になく、キャビネット事務局の運営委員会はあります。

(荒川委員)

332では組織はなく、もし問題があれば改革委員会・地区においては名誉顧問会が対応すると思います。

(松本委員長)

改革委員会のような委員会のメンバーが兼務というのもよいと思います。

(小林委員)

委員会の人選についても考えなければいけない。判断基準が人の心の中にあり、役職に関係なく地区において人望のある人物が望まれる。

(馬場委員)

331では、長期計画委員会と名誉顧問会により、調整され対応が来ておりますので、コンプライアンス委員会は必要なのでしょうか？

(松本委員長)

健全な運営をされている地区もあるが他地区では、現実的に問題が起きているので準備として必要で、規定があることにより予防にもなると思う。

(松岡委員)

各MD・地区に降ろすと、コンプライアンス委員会の規定・運営が様々な方向になると思いますが、それでいいのでしょうか？

(松本委員長)

各所で考えは違うと思いますがそれでよろしいかと思います。

規定は作りますが、あくまで見本にすぎません。

必要が無ければ、それでもよろしいかと思います。

(松岡委員)

MDに持ち帰って検討しますが、委員会メンバーをどう選別するか？

第三者を入れないといけないような気がしますし、何をもってコンプライアンス違反なのか、禁忌事項違反・刑事事件・セクハラなど、人それぞれ基準が変わります、悪用するメンバーも出てくるような気がします。

人選と、何をもって違反とするかは明確にしたほうが良いと思います。

(松本委員長)

第5条にハラスメントについて、第7条には禁忌事項の記載がありますが、どのように指摘をしていくか。

そのような観点から、今回第4章、第13条(懲戒の種類)1~3を入れました。

できれば注意で終わればよいですが、特に大きな懲罰に値する3、の降格は、ガバナー協議会もしくはキャビネット会議へ上程され、三分の二の賛成で可決されます。

(細川委員)

330では問題を起こした会員が国際本部に提訴されました。回答は、道徳的に卑劣な犯罪行為には当たらないという回答でした。誰が判断するのか？複雑な問題の場合コンプライアンス委員会でも結論は出せないと思います。

(松本委員長)

同じようなケース発生を想定し、ガバナー一人では、解決出来ないなので組織で対応する、コンプライアンス委員会で方向性を出し、場合によっては審議結果をガバナー協議会、キャビネット会議へ上程し、それでも解決ができない場合には国際理事会へ訴える。問題発生時にすぐに国際本部へ紛争調停処理をするのではなく、ワンクッションを置く為にも必要。問題がエスカレートすることを防ぎ早期解決をするためにも、将来の問題発生時を考えつっておくことに意味があると思う。

(小林委員)

そもそもメンバーの私利私欲が問題。情けなく、普通のメンバーなら退会するので、色々な方がいるので、怪文書が出たり、将来的に問題が発生したりする可能性があり、寂しい気持ちではあるが前もって作っておくのはよいと思う。

(岩沼委員)

悲しい現実です。

(高野委員)

当地区でも、一年半前に問題が発生しましたが、ガバナー中心に顧問会・クラブ会長等で何とか解決しました。MD・準地区、問題がおこった場所それぞれで解決する方法しかないし、今後入会メンバーの選出も重要であると思います。

(荒川委員)

332では過去に事件はありません、複合では改革委員会が議長やガバナー、会則委員長など16名で組織していますので、そちらで対応すると思います。

コンプライアンスについては、最近はセクハラなど問題発生しています。

コンプライアンス規定は、今後の叩き台として提示されたら良いと思います。

(馬場委員)

たたき台というのはあってもよいと思います。

(松本委員長)

それでは、こちらを見本とし、取り扱いについてはそれぞれMD/地区の判断で議論して頂く事と致します。

日本ライオンズとしては将来に向けて規約を作り上げることが大切であると思います。

(増澤専務理事)

この規約が頻繁に使われてはいけないので、一つの線引きとして作成し問題発生時に検討する、一つの基準・指針とするために持っておくということによりよいと思う。

悪用されては本末転倒になるので注意が必要ですし、今後、入会審査をきちんと行うことなど重要になると思う。

(松本委員長)

コンプライアンス規定について、MD年次大会で取り上げて頂きたい。

第5条と第6条を入れ替える。第3章第5条(9)と(10)削除します。

道徳綱領については心構えであるが遵守すべきとして掲載する。

(小林委員)

当MDでは外国人のみのクラブ、男性のみのクラブ、女性のみのクラブがあり、今後、人種差別・性別差別等々発生する要因があるのでは?と懸念する。

コンプライアンス委員会でどの様に対処できるのか?大変難しいのではと感じる。

(松本委員長)

人種差別問題等も世界的に重要なポイントです、今後外国人との関わりは大いにあると思いますので、将来的に向けてコンプライアンス委員会が必要になると思います。

(中谷副委員長)

改廃は、ガバナー協議会またはキャビネット会議となっているが、道徳的・禁忌事項の問題なので年次大会の承認をいただくほうがよいのでは。

(松本委員長)

MD年次大会で決議して頂きたい。準地区は間に合わないと思いますので次年度でよろしいかと思います。

(松岡委員)

対象がMD役員・構成員のみであれば、内規扱いでよろしいかと思います。

(松本委員長)

内規扱いにするかを含め、扱いについては、各議長、ガバナー等々中心としての議論で、各MD・地区にお任せ致します。日本ライオンズからの指針を示し、取り上げるかどうかについては柔軟にお考えいただければと思います。

(増澤専務)

対象は役員・構成員ですか？自分はメンバー全員が対象だと思っておりまして、役員・構成員へ限定するのであれば、意味がないのでは。

(松本委員長)

最終的には、全メンバーに必要かと思います。会員へ向けては役員必携・ライオンズ必携に道徳綱領や禁忌事項が盛り込まれております。コンプライアンス規約についてはまずは役員・構成員と考えております。

(松岡委員)

MD・準地区・クラブごとに規定を設ける想定でしたので、内規的なものだと考えておりましたが全員を対象とするものになるのでしょうか。

(増澤専務)

ライオンズとして活動する、一個人として生活する上での一つの指針として作成するイメージでした。

(松岡委員)

指針とする場合は、懲戒規定は作るのは難しいのでは。

(松本委員長)

大きなクラブの場合は規約が必要になるかもしれませんので、その際の見本となれば良いと思います。

(増澤専務)

ライオンズ国際会則における理事会方針書のような位置づけで、会則委員会の中に規約を置いておく形ではいかがでしょうか。

(松岡委員)

いろいろな選択肢を示しながら、複合で議論してみます。

(松本委員長)

最終的にどこで審議が行われ、どう結果を伝えるのか、指針を有効活用いただくために委員会設置と併せて規定が必要だと思う。

指針として取りまとめる方向で進め、次回委員会でも議論したいと思います。

第3回ガバナー協議会が終了している複合もあるとは思いますが出来れば今年度で、MDで決議して頂きたい。

(増澤専務)

焦らないで、複合では今期無理しなくても次年度でいいのでは。MDに持ち帰り議論して頂き、会則委員会にフィードバックして頂いて更に詰めて、次年度に結果を出す方がよいと思います。

(松本委員長) 来年度でも問題ないと思います。一度MDで審議をお願い頂ければと思います。

(荒川委員)

2月26日、日本ライオンズの理事会がある様なので、協議して頂いて会則委員会に下ろして頂きたいと思います。

#### ④ライオンズ必携第61版 修正箇所と対応について

(松岡委員)

第3条の、メンバーの件はどの様に対処致しますか？訂正を周知する必要があると思います。

(松本委員長)

各MDに、訂正文をメール送信致します。

訂正箇所についても年次大会へ取り上げていただきたい。

WEB版を日本ライオンズHPへ掲載の際には修正したものを掲載します。

(増澤専務)

再度全体を確認し、修正文を各MD事務局に送信して、必要な分を使って頂く事にし

たらいかがでしょうか。

6.次回開催予定について

第7回会則委員会 3月14日 木曜日 10:00~12:00 【ZOOM開催】

7.閉会挨拶

会則委員会副委員長 中谷 豊重

以上

2024年2月22日

議事録作成人

MD331会則委員長 馬場哲也

MD335会則委員長 小林 寛

議事録署名人

会則委員長 松本宰史

# 2023-24年度ライオン誌日本語版委員会 第7回会議 報告書

日 時：2024年2月7日(水) 14:00～16:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	鶴嶋 浩二 (北海道・札幌中島ライオンズ)
国際理事	城阪 勝喜 (大阪港ライオンズ)
委員長	藤谷 文雄 (332複合地区／秋田県・大曲ライオンズ)
編集長	団 英男 (335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズ)
委員	田中 明 (330複合地区／埼玉県・和光ライオンズ)
委員	馬場 哲也 (331複合地区／北海道・函館東ライオンズ)
委員	増澤 義治 (334複合地区／長野県・諏訪湖ライオンズ)
一般社団法人専務理事／PRマーケティング委員長／事務長	
委員	上田 隆政 (336複合地区／広島県・三原ライオンズ)
ITアドバイザー	莊 英隆 (東京恵比寿ライオンズ)

欠席者：国際理事	濱野 雅司 (埼玉県・岩槻ライオンズ)
委員	三枝 久夫 (333複合地区／栃木県・佐野西ライオンズ)
委員	渕野二三世 (337複合地区／大分ライオンズ)
一般社団法人理事長	田名部智之 (青森県・八戸ライオンズ)
一般社団法人常務理事 PRマーケティング副委員長	星野 勝美 (群馬県・太田ライオンズ)



藤谷委員長による開会あいさつがあり、その中で「1月25日発行の印刷版冬号の掲載原稿についてさまざまな意見が寄せられており、今後熟慮していく必要がある」として、委員の協力を求めた。続いて鶴嶋、城阪両国際理事からあいさつがあり、委員長が言及した原稿について次の趣旨の発言があった。

鶴嶋国際理事：国際協会から補助金を受けて活動の普及を図るべきライオン誌に、個人の意見とはいえ協会を揶揄するような原稿が掲載されたことに大きな問題がある。これまで、国際理事はライオン誌の発行に対する責任はあるものの、編集に口をはさむことはないと言ってきたが、どうしてこのような投稿が掲載されたのか、今日の審議の中でこの原稿が掲載された経緯の説明を聞きたい。委員会をよく議論して同じ轍を踏まないようにしてほしい。

城阪国際理事：会員を意欲付け、より良い方向へ向かうようにすることがライオン誌の役目である。国際理事は必要な時に注意を促すガードレールのような立場であり、編集内容に関してはライオン誌委員で十分に検討して良いライオン誌を作してほしい。どのような考え方でこの原稿を掲載したのか説明してもらい、この先は同じようなことが起こらないようにしていかなければならない。

あいさつの後、出席者を確認し、藤谷委員長と団編集長の進行で議事に入った。

## 【議事】

### 1. ライオン誌日本語版の運営

#### ●2023年7～12月ライオン誌関係会計報告

社団の2023-24年度正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。収入の部では12月に上半期の国際協会翻訳料30,000円（予算執行率25.0%）が入金された他、1月入金の上半期国際協会補助金11,519,062円（同53.1%）を未収入金として計上。支出の部では、12月は印刷版ライオン誌の発行はなかったため直接出版費は前月からほぼ変動はなく16,487,089円（同51.8%）だった。毎月発行のデジタル版関連費は6回発行完了時点で2,862,669円（同41.1%）だった。予算に沿って運営されていることを確認した。

#### ●国際本部からの翻訳料及び補助金

国際本部から12月に入金された翻訳料と、1月に入金された補助金の送金通知書を確認した。

#### ●2024-25年度ライオン誌事業計画案

委員会として次年度予算案を作成するため、ライオン誌の事業計画を検討した。発行回数は今年度と変わらず、印刷版年4回とすることを決定。予算案に事務費を含めるべきかを社団の専務理事である増澤委員に確認したところ、事務費は含めずにライオン誌の編集・印刷の費用のみの予算案作成を求められた。印刷・編集・発送の外注費の3社見積もりを取った上、4月委員会で予算案をまとめて社団へ提出する。

### 2. ウェブマガジン編集関係

#### ●2024年2月号（2月1日公開）出来

公開済みの2月号の出来を確認した。1月末に掲載を開始した「特集・能登半島地震」で被災地支援に取り組むクラブから寄せられた情報を掲載。また団編集長から、2月2～3日に石川県に入り輪島市門前町、能登町で支援活動の取材を行ったことが報告された。団編集長の取材レポート記事は委員会後、各委員が確認した後、掲載する。

#### ●2024年3～5月号更新予定(案)

3～5月号の主要コンテンツの内容を確認した。3、4月号の「取材レポート」を一部変更し、能登半島地震の被災地支援に関する記事を追加。今後の地区及

びクラブによる支援活動の情報を集め、可能な場合は委員による取材を行う。

3月号「日本ライオンズ情報」は全国アラートフォーラムの原稿を池原堅アラート委員長に依頼済み。

4月号「国際理事だより」は国際理事3人に原稿を依頼し、春季国際理事会の終了後、3月中を目処に提出をお願いする。

●「取材レポート」取材対象候補

「クラブアンケート」で収集した5～6月に実施予定のアクティビティのリストから、取材候補を協議した。候補に上がった活動の詳細情報の確認と取材対象の選定は、団編集長に一任する。

### 3. 印刷版編集関係

●2024年冬号(1月25日発行／81,100部)出来

1月25日発行の冬号の出来を確認した。冒頭あいさつでの両国際理事の求めを受け、獅子吼欄に投稿原稿「クラブの主権を考える」を掲載した経緯について団編集長、続いて藤谷委員長から、次の趣旨の説明があった。

団編集長：編集部が届いた当該の投稿原稿の内容を委員長と編集長で精査し、文中にかなりきつい言葉があるためそのまま掲載することは出来ないと判断。投稿者に対し、穏当な表現に書き換えることが出来れば掲載の可能性を編集部から連絡した。獅子吼の投稿はウェブマガジンにも掲載しているが、当該原稿については一般の人が閲覧出来るウェブでの公開は控えた方がよいと考え、掲載する場合には印刷版のみにすることを委員長と編集長で協議。その後、書き換え済み原稿をライオン誌委員へ送って確認を求めたところ、掲載に反対する意見はなかった。理事会方針書 第16章ライオン誌には『会員の意見は、それが必ずしも協会の立場を表すものでないことを明記することを条件に、手紙又は記事の形で載せることができる』とある。獅子吼は会員が自由に発言出来る場とすべきとの判断から掲載することとした。

藤谷委員長：掲載の経緯は団編集長の説明の通り。前回委員会の前に冬号記事を送っており、内容については了承を得たものと理解していた。国際理事への確認が不足していたことについて申し訳なく思っている。

続いて各委員がそれぞれの意見を述べ、以下のような意見があった。

「言葉の解釈の仕方は人によって異なるため、無難な形を探っていくしかない」

「掲載を拒否すればSNSなど他に波及する危険があり、掲載すればそれに対する批判もあって、判断が非常に難しい」

「こうした原稿を全て排除することにも問題があり、高度な判断が必要」

「今後、どのように掲載を判断するかしっかり考える必要がある」

委員が意見を述べた後、両国際理事から次の趣旨の発言があった。

鶴嶋国際理事：国際協会の補助金と会員の拠出金で発行する機関誌であることを鑑みると、掲載内容が国際協会の普及活動になるか、ならないかを第一に考えるべき。活字が暴力になることもある。個人の意見とはいえ、活字になったことの影響は大きく、この問題が拡散した時の責任の所在について委員会で考えてもらいたい。

城阪国際理事：会員の意見は何を載せてもよいというものではなく、ルールがあるべきで、この内容を掲載したことは遺憾。団編集長が触れた理事会方針書の項の前段には「公式版の編集者は、国際理事会、複合地区ガバナー協議会、又は地区キャビネットの方針に反する方針を支持してはならない」とあり、ライオン誌にそぐわない記事は責任を持って外すべき。どうしても載せるのであれば「国際協会の方針に反するものであるが、個人の意見である」という記載を入れる必要がある。

出席者の意見交換の後、団編集長から、委員によるしっかりとした議論とより慎重な判断をもって編集に当たることとし、今回の件については今後の状況を見ながら対応していきたいと述べた。これに対し鶴嶋国際理事から、各委員が説明出来るように現時点での委員会としての統一見解を示してはどうかとの助言があった。助言を受けて藤谷委員長が、団編集長と共に文書を作成して各委員に送ると応じた。

#### ●2024年春号(4月25日発行)台割(案)

前回検討した台割に「特集①能登半島地震被災地支援」を追加した修正案を確認した。国際協会配信「ミッション1.5」「国際理事だより：城阪国際理事」「編集室：団編集長、増澤委員」「特集②：小児がん」。

「ミッション1.5」の記事掲載に関して城阪国際理事から、国際協会配信の記事と共に、日本国内の進捗状況を伝える記事も掲載してはどうかとの提案があった。日本国内の活動も一緒に掲載出来るよう、2月15日に開催されるミッション1.5進捗報告会（愛知県名古屋市）の内容を取材するか、担当リーダーに原稿を依頼するか、いずれかの方法で記事を作成する。

## 4 主要記事予定

### ●2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

### ●2024年3～4月取材経費概算

3～4月に行う取材の経費概算を確認し承認した。

## 5. その他

### ●ServannA（サバンナ）関係

前回委員会の決定を受けて、日本情報サービス合同会社（旧・JPインターナショナル）から新しい会員種別「特典会員」をサバンナに反映させるための見積り（110,000円）を取った。その内容について荘ITアドバイザー

から説明を受け、機能を追加することを承認した。

●ライオン誌公式SNS

ライオン誌が運用している公式SNSの登録者数のデータを確認した。SNS登録者を増やすため、ライオン誌のSNS投稿に対して委員が自身のアカウントで反応するよう努める。

閉会あいさつ 藤谷委員長

**【次回開催予定】**

3月4日(月) 14:00～16:00 第8回会議 (Zoom)

# 2023-24年度ライオン誌日本語版委員会 第8回会議 報告書

日 時：2024年3月4日（月）14:00～16:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	鶴嶋 浩二（北海道・札幌中島ライオンズクラブ）
国際理事	濱野 雅司（埼玉県・岩槻ライオンズクラブ）
国際理事	城阪 勝喜（大阪港ライオンズクラブ）
委員長	藤谷 文雄（332複合地区／秋田県・大曲ライオンズクラブ）
編集長	団 英男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）
委員	田中 明（330複合地区／埼玉県・和光ライオンズクラブ）
委員	三枝 久夫（333複合地区／栃木県・佐野西ライオンズクラブ）
委員 一般社団法人専務理事／PRマーケティング委員長／事務長	増澤 義治（334複合地区／長野県・諏訪湖ライオンズクラブ）
委員	上田 隆政（336複合地区／広島県・三原ライオンズクラブ）
委員	渕野二世（337複合地区／大分ライオンズクラブ）
一般社団法人理事長	田名部智之（青森県・八戸ライオンズクラブ）
一般社団法人常務理事 PRマーケティング副委員長	星野 勝美（群馬県・太田ライオンズクラブ）
ITアドバイザー	荘 英隆（東京恵比寿ライオンズクラブ）
欠席者：委員	馬場 哲也（331複合地区／北海道・函館東ライオンズクラブ）



藤谷委員長から開会あいさつがあり、能登半島地震の被災地におけるライオンズクラブの支援活動は一部ではあるがウェブマガジンに掲載しており、多くの人に読んでほしいと述べた。また、前回委員会で鶴嶋、城阪両国際理事から指摘を受けた印刷版冬号「獅子吼」の投稿原稿に関して、これを掲載したことで両国際理事の心証を損なったことを謝罪した上、「ライオン誌編集においては理事会方針書第16章ライオン誌に『公式版の編集者は、国際理事会、複合地区ガバナー協議会、又は地区キャビネットの方針に反する方針を支持してはならない』という記載があり、私たちライオン誌日本語版委員会は理事会方針書に則って編集・発行に努めるべくご協力をお願いしたい。国際理事の皆様にはこれまで以上に、大所高所からのご指導をお願いしたい」と述べた。

続いて各国際理事からあいさつがあり、それぞれ次の趣旨の発言があった。

鶴嶋国際理事「今年度は残り3カ月となり、残る期間でやり残すことのないように励んでほしい」、濱野国際理事「ライオン誌の内容充実だけでなく、多くの人に読んでもらうための施策やアイデアを出し合って読者数を増やしてほしい」、城阪国際理事「藤谷委員長から獅子吼に関する話があったが、これからはそのように編集をお願いした。今年度初めに委員長、編集長から預かった質問事項に対する回答が、公式版ライオン誌に関する権限を持つ国際本部の事務総長、マーケティング部長、法律部長から届き、現在翻訳を行っている。バンクーバー国際理事会終了後の4月中に次回のライオン誌検討委員会が開かれるかと思うので、その際に英語原文と日本語訳を提示したい」

田名部理事長からのあいさつでは、次の趣旨の発言があった。「前回委員会は欠席したが報告書を読み、また藤谷委員長から説明があった『獅子吼』の原稿に関しては国際理事から意見を伺っている。ライオン誌日本語版委員会は一般社団法人日本ライオンズの中の委員会ではあるが、編集については全て委員会に任せており、編集について口を出すことはこれからのないわけだが、編集方針のルールを外れてしまったことに対して社団としてどう対処するかという指摘もある。社団の執行理事会と理事会でこの件を審議し、さまざまな意見が出た。私としては社団として何かを罰するとか責任を取らせるということは避けたいが、再発防止のためには明確な措置を取らなければならない。これについてどのように始末をするか、藤谷委員長、団編集長と協議して速やかに手を打ちたい」

あいさつの後、出席者を確認し、藤谷委員長と団編集長の進行で議事に入った。

## 【議事】

### 1. ライオン誌日本語版の運営

#### ●2023年7月～2024年1月ライオン誌関係会計報告

社団の2023-24年度正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。1月は印刷版ライオン誌が発行され、年間4回中3回の発行が完了した時点で直接出版費は24,347,765円（予算執行率76.6%）。毎月発行のデジタル版関連費は7回発行完了し3,137,729円（同45.1%）。ライオン誌委員会の旅費は1月に集合会議が開催されて285,000円（同45.2%）となった。予算に沿って運営されていることを確認した。

#### ●2024-25年度ライオン誌事業計画案

前回委員会で、次年度予算案を作成するために3社見積を取ることにしたのを受け、委員による業者の推薦がないか確認。増澤委員から印刷会社への打診をしており見積要項書を作成してほしいとの発言があった。印刷及び発送に関する見積要項書を作成するよう事務局に指示した。

### 2. ウェブマガジン編集関係

#### ●2024年3月号（3月1日公開）出来

公開済みの3月号の出来を確認した。

- 2024年4～5月号更新予定(案)

4～5月号の主要コンテンツの内容を確認した。5月号「編集室」（印刷版流用なし）の担当は渕野委員（337複合）の担当とすることを決定した。

- 「取材レポート」取材対象候補

前回委員会での協議を踏まえ、4～5月実施予定の奉仕活動の中から団編集長が挙げた4件を6、7月号の取材候補とすることを決定。うち3件は日程が確定していないため、掲載号は開催日によって調整する。また、6月実施予定のアクティビティのリストを検討。取材候補とする奉仕活動は団編集長に一任する。

### 3. 印刷版編集関係

- 2024年春号(4月25日発行)台割(案)

基本の編成に8ページ増やした44ページの台割案を確認した。「特集①能登半島地震」「ミッション1.5」(国際協会配信)「国際理事だより：城阪国際理事」「編集室：団編集長、増澤委員」「特集②：小児がん」。

国際協会から配信された「ミッション1.5」英語版を確認。記事は掲載必須、表紙は掲載推奨の指定となっている。掲載推奨の表紙を使うかどうか委員の意見を聞いた上、配信された表紙で編集作業を進めることにした。また、前回委員会で指定記事と併せて掲載することにした日本国内のミッション1.5進捗状況報告はオセアル調整事務局に手配を依頼済みで、報告原稿が届き次第、確認することとした。

### 4 主要記事予定

- 2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

- 2024年4～5月取材経費概算

ウェブマガジン6、7月号の取材候補とした奉仕活動4件の経費概算を確認し、承認した。

### 5. その他

- ライオン誌投稿欄（ウェブマガジン・印刷版）

前回委員会において、国際理事から印刷版冬号「獅子吼」に国際協会を批判する内容を含む投稿を掲載したことを問題視する意見が出たことを受けて、団編集長から2021-22年度ライオン誌日本語版委員会で策定した掲載ガイドラインに関する説明があった。ガイドラインでは他者への誹謗中傷や差別に当たるもの、営利目的の宣伝や勧誘に当たるもの、差別的表現など人を不快にさせる表現を含むもの、委員会が掲載に不適と判断したものを含む原稿・写真は掲載対象から除外することとしている。団編集長は、今後このガイドラインに沿って慎重に掲載可否を判断すると述べた。ま

た、印刷版春号からは「獅子吼」欄内に、掲載原稿は個人の意見であり、国際協会の立場を表すものではないこと、ライオン誌日本語版委員会がその内容を支持するものではないことを明記するとし、記載する文章については用意出来次第、各委員に確認してもらうとの説明があった。

これに関連し、現在「獅子吼」で掲載保留としている投稿原稿1点の掲載について協議した。団編集長から、原稿には個人の経歴に関する情報が含まれていることから慎重に判断したいとの説明があり、出席者に意見を求めた。投稿者の社会貢献活動に関する内容で掲載して問題ないとの意見が大半だった一方、「掲載により執筆者が傷つくような事態が生じる危惧もある」という意見や「個別の内容よりも掲載することが会員の意欲を高めるものであるかを基準に判断してはどうか」との示唆もあった。これらを踏まえ、更に情報を確認した上で判断することにした。

#### ●ウェブマガジンの改修

団編集長から、PDF配布に切り替えた「ライオンズクラブ入門」の注文フォームの削除や、ハッシュタグによる記事収集機能のキーワードなど、基幹部分で改修が必要な箇所があるとの報告があり、制作を担当した業者に見積を依頼することとした。

#### ●ServannA（サバンナ）関係

荘ITアドバイザーから、オセアル調整事務局へ問い合わせた懸案事項2件の経過報告と説明があった。

Lion Portal移行に伴うeMMRについては、大きな影響はないとの国際本部IT部長の回答ではあるが、技術担当者から回答が届くことになっている。また、新しい会員種別・特典会員の施行によるライオン誌発送対象の変更はないことを確認した。

サバンナへの特典会員（学生会員、レオライオン、若年成人会員）の項目追加については、前回承認された見積で発注し近くテストが出来る見込み。

閉会あいさつ 藤谷委員長

#### 【次回開催予定】

- 4月 8日（月） 14:00～16:00 第9回会議（Zoom）
- 5月 9日（木） 14:00～16:00 第10回会議（Zoom）
- 6月13日（木） 14:00～16:30 第11回会議（集合／日本ライオンズ事務所）





# 複合レベル

- 2023-2024 年度 331 複合地区 第 3 回ガバナー協議会 次第
- 2023-2024 年度 第 3 回 YCE 委員会議事要録
- 2023-2024 年度 OSEAL フォーラム特別委員会報告
- 2024 年第 8 回スペシャルオリンピック日本冬季ナショナルゲーム
- 2023-2024 年度 331 複合地区 中間決算報告
- 2023-2024 年度 331 複合地区 中間会計監査報告書
- 2023-2024 年度 331 複合地区 第 70 回年次大会



2023-2024年度331複合地区  
第3回ガバナー協議会 次第

2024年3月4日(月) 京王プラザホテル札幌

ガバナー協議会事前会議 (12:30-13:30)  
ガバナー協議会全体会議 (14:30-17:00)

司会	運営委員長	L南部谷 靖			
	議長	L松浦 淳一			
	運営事務局長	L山本 國昭			
	議長	L松浦 淳一			
	国際理事	L鶴嶋 浩二			

開会宣言  
出席者紹介  
議長挨拶  
国際理事挨拶

**報告事項**

〔国際協会 日本レベル〕

		頁
1. 一般社団法人日本ライオンズ報告	副理事長 L松浦 淳一 理事 L須藤 敏幸 監事 L佐々木忠康	1-19
2. 公益財団法人日本ライオンズ報告	副理事長 L小野寺眞悟	
3. LCIFコーディネーター報告	コーディネーター L及川 隆人	20-22
4. GLTコーディネーター報告	コーディネーター L西國 宏治	
5. GMTコーディネーター報告	コーディネーター L其田 勝則	
6. SCP・FWTコーディネーター報告	コーディネーター L熊谷 敬子	
7. GETコーディネーター報告	コーディネーター L伊藤 直人	
8. ライオン誌日本語版委員会報告	委員 L馬場 哲也	23-41
9. 会則委員会報告	委員 L馬場 哲也	42-65
10. 国際大会委員会報告	委員 L本所 光男	66-81
11. YCE委員会報告	委員 L鈴木 善一	82-93
12. アラート委員会報告	委員 L浅野 敬一	94-103

〔331複合地区〕

1. GLTコーディネーター活動報告	コーディネーター L西國 宏治	105
2. YCE委員会報告	委員長 L鈴木 善一	106-112
3. OSEALフォーラム特別委員会報告	委員長 L齊田 博文	114-115
4. 公益財団法人日本ライオンズ特別委員会報告	委員長 L山崎 巖	116-121
5. SON(スペシャル・オリンピックス日本)特別委員会報告	委員長 L阿部 昭	122-124
6. その他		

〔質疑応答〕

**審議事項**

1. 2023-2024年度複合地区中間決算報告について	ガバナー協議会会計 L渡部 義男	125-128
2. 2023-2024年度複合地区中間決算監査報告		129
3. 第70回複合地区年次大会組織表(案)について	大会委員長 L大笹 進	130
4. 第70回複合地区年次大会議事規則(案)について	大会委員長 L大笹 進	131
5. 第70回複合地区年次大会議事運営構成表(案)について	大会委員長 L大笹 進	132
6. 第70回複合地区年次大会予算(案)について	大会委員長 L大笹 進	133
7. 複合地区大会費の改定(案)について	ガバナー協議会会計 L渡部 義男	134

閉会宣言 議長 L松浦 淳一

(2023-2024)331 複合地区

## 第三回 YCE 委員会 議事録

開催日時: 2024 年 1 月 19 日(金) 16:00~17:30

開催場所: 小田ビル 4F 会議室 (対面)

参加者: 331 複合地区

複合地区 YCE 委員会 委員長 鈴木 善一(千歳 LC)

副委員長・A 地区 YCE 委員長 高橋 貫治 (札幌わかば LC)

副委員長・B 地区 YCE 委員長 小林 孝彦 (羽幌 LC)

副委員長・C 地区 末永 玲子 (函館グリーン LC)

運営サブリーダー・

A 地区 YCE 副委員長 猪熊 健嗣 (札幌南 LC)

C 地区 YCE 委員長 林 謙治 (苫小牧中央 LC)

B 地区 2RMC・YCE 委員 広瀬 寛人 (富良野 LC)

B 地区 3RMC・YCE 委員 田邊 宏 (帯広平原 LC)

### 開会宣言及び挨拶

1 月 16 日の日本レベル第 4 回 Y C E 委員会における変更点や全体の見直しが必要な状況であることの説明を行い、本日ご参加いただいた事に感謝申し上げ、次第に沿って出席者確認と進行を鈴木複合地区 YCE 委員長が行った。

### 議事録作成人の指名

複合地区委員長の鈴木善一が作成。

### 報告事項

①第 2 回複合地区 YCE 委員会議事録より報告説明を行った。

②B 地区の YCE 委員会議事録確認。

受入アンケートの結果、フィンランド 2 名希望と報告があった。

A 地区・C 地区も各 2 名計 4 名の受入れ確認を行った。

※A 地区・C 地区ともに 1 月末日締切にてアンケート集計を行うよう依頼をした。

③1月16日の日本レベル第4回YCE委員会の資料を配布し確認していただいた。

変更点 334 複合地区石本委員長よりスイス1名の派遣と受入れを行いたいと申し出があった。

335 地区定岡委員長より国際協会ホームページ掲載の情報よりフィンランド1名を受け入れたいとの申し出があった。

この件で出席にて意見交換を行った結果、各複合地区の決まり事が進まないのでは規則を改善すべきという意見がまとまった。

1. 以前より334地区にて行っていた振分けを別な地区が行い、キャンプ情報を国際協会のホームページにアップして定員と時期を記載して全てのキャンプ及びホームステイ希望者に対しては国を問わず対応する。

2. 国担当窓口業務は中止する。(現在スイス、スペイン、フィンランド)

※他の複合地区の一覧表の再確認を行った。

④受入れ期間について

7月10日～12日到着から19日までホームステイ

キャンプ ネイパル深川 7月20日(日)より26日(金)AMチェックアウト

26日レセプション(場所調整中)

26日から8月4日までホームステイの予定。

※キャンプ期間、標茶高校より参加依頼あり。

## 協議事項

①今後のキャンプ開催地の検討。

②国際協会ホームページに登録する情報や写真など依頼し冬季なども対応して行く協議を行った。

## 閉会挨拶

複合地区YCE副委員長・A地区高橋貫治地区委員長より

皆様、今日は遠方より第3回YCE委員会にお越しいただきありがとうございます。窓口のシステムがまだ固まっていないため苦勞していますが、鈴木委員長に協力して窓口の土台を作り上げ、次の複合につなげましょう。と、挨拶され閉会した。

以上

議事録作成人

MD331YCE 委員長 鈴木善一

フジマキネクタイ制作 YCEベストサンプル画像



着用例



サイズ比較画像 (上がフリーサイズ・下がXLサイズ)



## OSEALフォーラム特別委員会 報告

委員長 L 齊田 博文

- ・第62回オセアルフォーラム札幌 登録料及びロゴマークが決定  
早期登録料 18,000円  
登録料 20,000円
- ・登録料の受け皿として、一般社団法人を設立予定
- ・オセアルフォーラム運営資金獲得を目的として、ふるさとチョイスと提携し、全国に協力をお願いをする
- ・12月12日 第13回オセアル委員会開催
- ・1月29日 第14回オセアル委員会開催
- ・2月 8日 委員長連絡会議開催
- ・3月 5日 第15回オセアル委員会開催予定
- ・3月26日 福岡フォーラム実行委員会訪問予定



# シンボルマーク・コンセプト

「北緯43度からのねがい」

WISH  
～ LAT.43°N ～



The 62nd  
OSEAL FORUM  
2025 SAPPORO

～Color～

4つのテーマ、「循環（3R）、環境保全（植樹）、子ども、共生（ダイバーシティ）」を多色で表している。

～Wings～

サステイナブルな未来へ向かって大きく羽ばたくイメージを表している。

# ふるさとチョイスで

## 2025 OSEAL FORUM in SAPPORO をサポート！

2025 OSEAL FORUM in SAPPORO 公式ページからふるさとチョイスで商品を購入すると、一部費用が 2025 OSEAL FORUM in SAPPORO 運営事務局に還元されます。

### Step 1



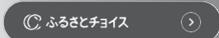
2025 OSEAL FORUM  
in SAPPORO 公式ページ  
から、ふるさとチョイスへ



<https://2025oseal.com/>

QRコードを読み込む、または  
上記 URL をクリックして  
2025 OSEAL FORUM  
in SAPPORO 公式ページを開く

ふるさとチョイスのバナー ▼



をクリックしてふるさとチョイスへ！

### Step 2



ふるさとチョイスで  
会員登録 または ログイン



ふるさとチョイスの  
オフィシャルページで、  
会員登録またはログイン  
を行います。

### Step 3



ふるさとチョイスで  
商品購入



商品を購入します。



サポート完了！

商品を購入する際は、毎回 2025 OSEAL FORUM in SAPPORO 公式ページから！

### サポートに必要な3つのポイント！



Step1 ~ 3 まで 60 日以内に行う。



Step1 ~ 3 まで同じブラウザで行う。  
(Yahoo!, Google, safari 等)



Step1 ~ 3 まで同じ端末で行う。  
(PC・スマホ・タブレット)

## 2024 年第 8 回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム ご案内状(雪上競技)

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、格別のご高配を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、「2024 年第 8 回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム」の開催にあたり、下記の通りご案内申し上げます。大会関係者一同、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

謹白

記

### ■ 競技及び会場

競技	会場
アルペンスキー・スノーボード	名寄ピヤシリスキー場(住所:北海道名寄市日進)
クロスカントリースキー・スノーシューイング	なよろ健康の森(住所:北海道名寄市日進)

### ■ 競技・表彰式スケジュール

日にち	ピヤシリスキー場		健康の森	
2/11 (日)	8 時 20 分～	開始式	9 時 00 分～	開始式
	9 時 10 分～	アルペンスキー	10 時 10 分～	スノーシューイング
	11 時 20 分～	スノーボード	10 時 30 分～	クロスカントリースキー
	12 時 35 分～	アルペンスキー	12 時 30 分	クロスカントリースキー
	14 時 55 分～	スノーボード		エキシビション
	16 時 05 分	競技終了	14 時 00 分	競技終了
2/12 (月・祝)	9 時 10 分～	アルペンスキー	9 時 30 分～	クロスカントリースキー
	9 時 30 分～	表彰式	9 時 40 分～	スノーシューイング
	13 時 00 分～		10 時 10 分～	表彰式(スノーシューイング)
	11 時 20 分～	スノーボード	12 時 30 分	
	13 時 05 分	終了式	10 時 30 分～	表彰式(クロスカントリースキー)
			11 時 00 分	
		13 時 00 分～	終了式	

### 【留意事項】

- ご来場されましたら受付をお済ませください。受付時に、来賓用 ID カードをお渡ししますので、会場内では ID カードをご着用ください。お帰りの際、ID カードは返却不要ですのでお持ち帰りください。  
＜受付場所＞  
ピヤシリスキー場: 体育センターピヤシリフォレスト内受付  
なよろ健康の森: 管理棟 1 階 総合受付
- 表彰プレゼンターに関する詳細は、受付時にお伝えさせていただきます。
- 撮影上のルールにつきましては当日受付にてご確認ください。
- 昼食(お弁当)をご用意しております。昼食はピヤシリフォレスト 2 階又は健康の森管理棟 3 階にてお召し上がりください。
- 観覧されている方の写真、映像等が新聞、テレビ、雑誌、インターネット、パンフレット等に報道、掲載される場合がございますので予めご了承ください。

以上

＜本件に対するお問合せ＞  
2024 年第 8 回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム 大会実施委員会事務局  
E-mail: narayama@son.or.jp  
大会ウェブサイト: <https://www.son.or.jp/event/nationalgames/>

## 受付場所及び駐車場利用について

- お車でお越しの場合は下記をご確認の上、「駐車許可証」をフロントガラスの見やすい位置にご提示ください。

### 競技会場（ピヤシリスキー場 駐車場）

<駐車場>

- ・選手団バス/シャトルバス …… 「P1」発着
- ・本部スタッフ/競技関係者 …… 「P1」「P2」駐車場を利用
- ・ボランティア/観客 …… 「P1」「P2」駐車場を利用
- ・来賓/ゲスト …… 「P1」「P2」駐車場を利用

※ 応援、観覧の皆様は、一般駐車場(緑)を利用できます。(事前申込不要)2か所での駐車が可能です。  
 ※ 今回、仮設トイレは、設置いたしませんので、スキー場の施設のトイレをご利用ください。



### 競技会場（なよろ健康の森 駐車場）

<駐車場>

- ・選手団バス/シャトルバス …… 「P1」発着
- ・本部スタッフ/競技関係者 …… 「P1」「P2」「P3」「P4」駐車場を利用
- ・ボランティア/観客 …… 「P1」「P2」「P3」「P4」駐車場を利用
- ・来賓/ゲスト …… 「P1」「P2」「P3」「P4」駐車場を利用

※ 応援、観覧の皆様は、一般駐車場(緑)を利用できます。(事前申込不要)2か所での駐車が可能です。  
 ※ 今回、仮設トイレは、設置いたしませんので、管理棟、又はサンピラー交流館のトイレをご利用ください。



## シャトルバス・路線バスについて

路線バス臨時増便:無料 / シャトルバス:無料

※「路線バス臨時増便」については、通常の路線バスの輸送経路と異なり、「名寄駅⇄競技会場」区間の『直行便』となります。なお、通常の路線バスを利用される場合も発着地点にいずれかが「競技会場のバス停」の場合は無料になりますが、市内での利用は運賃 200 円がかかります。時刻表は下記をご確認ください。

※競技会場「なよろ健康の森」から路線バスを利用される際は、『サンピラー交流館前』のバス停をご利用ください。

### ●名寄駅 → なよろ健康の森 → ピヤシリスキー場

日にち	バスの種類(台数)	出発時刻	時刻・経路
2/11 (日)	シャトルバス(2台)	8:00 発	8:22 なよろ健康の森→8:30 ピヤシリスキー場
	シャトルバス(1台)	8:30 発	8:52 なよろ健康の森→9:00 ピヤシリスキー場
	シャトルバス(1台)	9:30 発	9:52 なよろ健康の森→10:00 ピヤシリスキー場
2/12 (月・祝)	シャトルバス(2台)	10:00 発	10:22 なよろ健康の森→10:30 ピヤシリスキー場
	シャトルバス(1台)	10:30 発	10:52 なよろ健康の森→11:00 ピヤシリスキー場
	シャトルバス(1台)	11:00 発	11:22 なよろ健康の森→11:30 ピヤシリスキー場

### 名寄駅 シャトルバス・路線バスの乗車場所



●ピヤシリスキー場 → なよろ健康の森(サンピラー交流館) → 名寄駅

日にち	バスの種類(台数)	出発時刻	時刻・経路
2/11 (日)	路線バス臨時増便 (3台)	15:55 発	16:04 なよろ健康の森(サンピラー交流館)→ 16:25 名寄駅
	路線バス臨時増便 (3台)	17:30 発	17:39 なよろ健康の森(サンピラー交流館)→ 18:00 名寄駅
2/12 (月・祝)	路線バス臨時増便 (2台)	13:50 発	13:59 なよろ健康の森(サンピラー交流館)→ 14:20 名寄駅
	路線バス臨時増便 (4台)	15:55 発	16:04 なよろ健康の森(サンピラー交流館)→ 16:25 名寄駅

ピヤシリスキー場



なよろ健康の森



※ 「路線バス臨時増便」は、なよろ健康の森の会場では、『サンピラー交流館前 バス停』のみ停車、「なよろ健康の森 バス停」には停車しませんので、ご注意ください。

※ 通常の「路線バス」をご利用される方は、「なよろ健康の森 バス停」もごさいますが、『サンピラー交流館前 バス停』にて乗降をお願いします。  
『サンピラー交流館前 バス停』は、バスを待つ際の歩道が整備されている為 安全で、また、待ち時間がある場合は、サンピラー交流館で暖をとることができます。





レオクラブ  
ボランティア活動の様子



ライオンズクラブ国際協会331複合地区  
2023-2024年度  
一般会計収支中間報告書

(自2023. 7. 1~至2023. 12. 31)

(単位:円)

支出の部				収入の部			
科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比	科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比
日本ライオンズ会費	4,866,240	2,433,600	2,432,640	前年度繰越金	5,306,969	5,306,969	0
会 議 費	1,300,000	739,154	560,846	複 合 地 区 費	10,949,040	5,545,080	5,403,960
旅 費・交 通 費	3,000,000	648,412	2,351,588	日本ライオンズ会費	4,866,240	2,433,600	2,432,640
通 信 費	420,000	160,107	259,893	雑 収 入	100	73	27
事 務 所 費	2,700,000	1,324,064	1,375,936				
消 耗 品 費	100,000	55,715	44,285				
交 際 費	50,000	0	50,000				
備 品 費	50,000	0	50,000				
印 刷 費	800,000	635,210	164,790				
人 件 費	4,000,000	2,014,950	1,985,050				
福 利 厚 生 費	500,000	257,562	242,438				
雑 費	200,000	52,370	147,630				
慶 弔 費	400,000	43,381	356,619				
国 際 関 係 費	800,000	0	800,000				
退 職 金 積 立	240,000	120,000	120,000				
予 備 費	1,696,109		1,696,109				
剰 余 金		4,801,197	△ 4,801,197				
計	21,122,349	13,285,722	7,836,627	計	21,122,349	13,285,722	7,836,627

ライオンズクラブ国際協会331複合地区  
2023-2024年度  
YCE特別会計収支中間報告書  
(自2023. 7. 1~至2023. 12. 31)

支出の部				収入の部			
科目	予算額	執行額	予算対比	科目	予算額	執行額	予算対比
派遣・受入関係	700,000	0	700,000	前年度繰越金	3,754,534	3,754,534	0
委員会関係	700,000	0	700,000	3地区負担金	450,000	225,000	225,000
事務・通信費	1,000,000	0	1,000,000	キャンプ負担金	0	0	0
キャンプ費用	0	0	0	雑収入	0	0	0
予備費	1,804,534	0	1,804,534				
剰余金		3,979,534	△ 3,979,534				
計	4,204,534	3,979,534	225,000	計	4,204,534	3,979,534	225,000

ライオンズクラブ国際協会331複合地区  
2023-2024年度  
レオ特別会計収支中間報告書  
(自2023. 7. 1~至2023. 12. 31)

支出の部				収入の部			
科目	予算額	執行額	予算対比	科目	予算額	執行額	予算対比
レオ支援金	150,000	150,000	0	前年度繰越金	716,845	716,845	0
予備費	866,845	0	866,845	3地区負担金	300,000	150,000	150,000
剰余金		716,845	△ 716,845				
計	1,016,845	866,845	150,000	計	1,016,845	866,845	150,000

ライオンズクラブ国際協会331複合地区  
2023-2024年度  
緊急災害援助資金収支中間報告書  
(自2023. 7. 1～至2023. 12. 31)

(単位:円)

支出の部				収入の部			
科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比	科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比
緊急援助資金	11,203,664	0	11,203,664	前年度繰越金	11,203,664	11,203,664	0
				クラブ拠出金	0	0	0
剰 余 金		11,203,711	△ 11,203,711	雑 収 入	0	47	△ 47
計	11,203,664	11,203,711	△ 47	計	11,203,664	11,203,711	△ 47

ライオンズクラブ国際協会331複合地区  
2023-2024年度  
第70回年次大会特別会計収支中間報告書  
(自2023. 7. 1～至2023. 12. 31)

(単位:円)

支出の部				収入の部			
科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比	科 目	予 算 額	執 行 額	予算対比
第69回年次大会費	1,390,572	0	1,390,572	前年度繰越金	782,292	782,292	0
				複合地区大会費	608,280	308,060	300,220
剰 余 金		1,090,360	△ 1,090,360	雑 収 入	0	8	△ 8
計	1,390,572	1,090,360	300,212	計	1,390,572	1,090,360	300,212

ライオンズクラブ国際協会331複合地区  
 一般会計・特別会計  
 貸借対照表  
 (2023年12月31日現在)

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金	56,848	預り金	1,700,537
普通預金(北海道銀行)	10,819,189	仮受金	0
普通預金(緊急援助資金)	11,203,711	退職積立金	3,240,000
普通預金(年次大会)	782,300		
普通預金(退職積立金)	3,240,013	一般会計剰余金	4,801,197
		YCE特別会計剰余金	3,979,534
立替金	70,123	レオ特別会計剰余金	716,845
		緊急災害援助資金	11,203,711
敷金	560,000	大会特別会計剰余金	1,090,360
合計	26,732,184	合計	26,732,184

ライオンズクラブ国際協会 331 複合地区  
2023 - 2024 年度中間会計監査報告書

私たちは、331 複合地区 2023 - 2024 年度会計期間にかかる中間  
会計監査を行い次のとおり報告します。

1. 監査の方法の概要

会計帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、  
中間財務諸表の正確性を検討した。

2. 監査意見

各会計の収支計算書及び貸借対照表は会計帳簿の記載金額と一致して  
おり、収支及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

2024年 2 月 27 日

ライオンズクラブ国際協会 331 複合地区  
2023 - 2024 年度

会計監査委員

伊東 隆志 

会計監査委員

坂本 将一 

## 第 70 回年次大会議事規則

1. 331 複合地区第 70 回年次大会は、大会に参加した複合地区内の現・元国際協会役員およびクラブ代議員をもって構成する。その他の会員および同伴者は、大会に参加することができるが、発言したり投票したりすることはできない。
2. クラブ代議員は、クラブ会長が署名した資格証明書を、公式プログラムに記載された登録時間内に資格審査委員会に提出し、資格を確認されなければならない。
3. 大会議長（以下議長という）にはガバナー協議会議長、大会幹事にはガバナー協議会副議長または幹事、大会副議長にはこのほかのガバナー協議会構成員が当たる。議長に事故あるときは大会幹事がこれに当たり、大会幹事が欠けたときはあらかじめ定めた順位に従って大会副議長がこれに当たる
4. 議長は下記の委員会を設け、代議員のうちからその委員長および副委員長（さらに、必要な場合は顧問）を任命する。
  - (1) 資格審査委員会
  - (2) 議事運営委員会
  - (3) 国際理事候補者推薦委員会
  - (4) 決議委員会
5. 代議員の委員会の所属は議長がこれを定める。
6. 各委員会の委員長はその議事を主導し、審議結果を大会に報告する。
7. 議決はすべて、出席し投票した代議員全員の過半数をもって決する。可否同数の場合は議長の裁定するところによる。ただし、複合地区会則改正には3分の2以上の賛成投票を要する。クラブ代議員が投票できないときは補欠がこれに代わる。
8. 議案は、あらかじめ文書をもって各地区ガバナーを経由してガバナー協議会に提出する。ガバナー協議会はこれを検討のうえ大会の議案を決定し、大会開催2週間前までに各クラブに通知する。それ以外の方法で提出された議案を審議しようとするときは、大会に出席したすべての代議員の3分の2以上の同意を必要とする。ただし、その議案は前もって文書で議長に提出しなければならない。
9. 議案理由の説明および発言は、一人3分を超えてはならない。ただし、大会では議長、委員会では委員長が特に必要と認めた場合は、このかぎりではない。
10. 別に定めないかぎり、議事手続きはロバート議事規則による。

## 第70回年次大会 議事運営委員会構成表

大会議長	ガバナー協議会議長	L松浦 淳一 (岩見沢はまなす)
大会幹事	ガバナー協議会副議長	L設楽 幸子 (札幌アカシヤ)
大会副議長	ガバナー協議会幹事	L藤原 回向 (稚内北斗)
大会副議長	ガバナー協議会会計	L渡部 義男 (苫小牧中央)

### 資格審査委員会

委員長	ガバナー協議会議長	L松浦 淳一 (岩見沢はまなす)
副委員長	ガバナー協議会副議長	L設楽 幸子 (札幌アカシヤ)
副委員長	ガバナー協議会幹事	L藤原 回向 (稚内北斗)
副委員長	ガバナー協議会会計	L渡部 義男 (苫小牧中央)

### 議事運営委員会

委員長	ガバナー協議会副議長	L設楽 幸子 (札幌アカシヤ)
副委員長	ガバナー協議会運営委員会委員長	L南部 谷 靖 (岩見沢はまなす)
副委員長	ガバナー協議会運営委員会副委員長	L前川 忠 男 (札幌アカシヤ)
副委員長	ガバナー協議会運営委員会副委員長	L中野 修 吾 (稚内北斗)
副委員長	ガバナー協議会運営委員会副委員長	L脇田 忠 (苫小牧中央)
副委員長	ガバナー協議会運営委員会事務局長	L山本 國 昭 (札幌アカシヤ)

### 国際理事候補者推薦委員会

委員長	ガバナー協議会議長	L松浦 淳一 (岩見沢はまなす)
副委員長	ガバナー協議会副議長	L設楽 幸子 (札幌アカシヤ)
副委員長	ガバナー協議会幹事	L藤原 回向 (稚内北斗)
副委員長	ガバナー協議会会計	L渡部 義男 (苫小牧中央)

### 決議委員会

委員長	長期計画リサーチ委員長	L佐々木 忠康 (小樽)
副委員長	A地区第一副地区ガバナー	L美田 法 賢 (札幌パイオニア)
副委員長	B地区第一副地区ガバナー	L伊東 隆 志 (北見)
副委員長	C地区第一副地区ガバナー	L齋藤 尚 仁 (函館北斗)

ライオンズクラブ国際協会331複合地区  
第70回年次大会委員会組織図

国際理事	
鶴嶋 浩二	(札幌中島)

元国際理事	
安井 克之	(旭川東)
杉本 忠夫	(札幌ライラック)

大会議長  
松浦 淳一  
ガバナー協議会議長  
(岩見沢はまなす)

大会名誉顧問		
【A地区】	【B地区】	【C地区】
竹内 武司 (札幌トラスト)	阿部 昭 (土別)	馬場 哲也 (函館東)
岩井 淳佳 (札幌アカシヤ)	中谷 宣巨 (釧路)	須藤 敏幸 (伊達)
古谷野 環 (美唄)	香川 俊雄 (帯広中央)	中村 全博 (小樽)
宮脇 寛海 (恵庭)	奥山 壽雄 (白滝)	北島 孝雄 (木古内・知内)
山口 富雄 (札幌クラーク)	山田 正昭 (釧路めさまい)	吉原 成昌 (苫小牧ハスカップ)
渡辺 修 (美唄)	佐藤 信雄 (富良野)	本所 光男 (室蘭東)
小野寺眞悟 (札幌北の杜)	井ノ浦義明 (稚内北斗)	佐々木忠康 (小樽)
三澤 聖一 (札幌新星)	山崎 博信 (名寄中央)	松浦 則雄 (函館北斗)
安部 尚明 (札幌赤レンガ)		高橋 和雄 (苫小牧)
柏崎 昭朗 (岩見沢中央)		奥山 幸一 (函館みなど)
能澤 正明 (札幌トラスト)		小玉 誠 (苫小牧白鳥)
荒井 喜和 (札幌清田)		後藤 忍 (函館グリーン)
鈴木 善一 (千歳)		田中 稔 (苫小牧中央)
諏訪 昇三 (札幌時計台)		荒川 隆志 (室蘭東)

大会幹事	
A地区ガバナー	
設楽 幸子	(札幌アカシヤ)

大会副議長	
B地区ガバナー	
藤原 回向	(稚内北斗)
C地区ガバナー	
渡部 義男	(苫小牧中央)

大会会計監査	
伊東 隆志	(北見)
坂本 将一	(苫小牧中央)

年次大会委員会	
委員長	
大笹 進	(札幌時計台)
副委員長	
佐藤 雅光	(札幌時計台)
事務局長	
村重 欣延	(札幌アカシヤ)

ガバナー協議会運営委員会	
委員長	
南部谷 靖	(岩見沢はまなす)
副委員長	
前川 忠男	(札幌アカシヤ)
中野 修吾	(稚内北斗)
脇田 忠	(苫小牧中央)
事務局長	
山本 國昭	(札幌アカシヤ)

ホストクラブ	
大会副委員長-会長	
長谷川征輝	(札幌アカシヤ)
真嶋 彰	(札幌クラーク)
八城 一幸	(札幌時計台)
蠣崎 基	(札幌パイオニア)
今野 達則	(札幌羊ヶ丘)
大塚 周雄	(札幌グリーン)
斉藤 茂晃	(札幌ノース)
武部 孝彦	(札幌わかば)

総務部会	
部会長	櫻井 利行 (札幌時計台)
副部会長	八城 一幸 (札幌時計台)
代議員部会	
部会長	京極 琢弥 (札幌アカシヤ)
副部会長	増永 勉 (札幌アカシヤ)
式典部会	
部会長	大塚 周雄 (札幌グリーン)
副部会長	戸田 環 (札幌パイオニア)
会場部会	
部会長	真嶋 彰 (札幌クラーク)
副部会長	大石 幸弘 (札幌クラーク)
大会記念誌部会	
部会長	斉藤 茂晃 (札幌ノース)
副部会長	今野 達則 (札幌羊ヶ丘)
懇親会部会	
部会長	山崎 博史 (札幌わかば)
副部会長	美馬 剛 (札幌わかば)

## 第70回年次大会収支予算

(単位:円)

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	予 算 額	科 目	予 算 額
総務部会	400,000	前年度繰越金	782,292
代議員部会	300,000	複合地区大会費	622,190
式典部会	400,000	大会登録料 @4,000×300名	1,200,000
会場部会	150,000	懇親会登録料 @14,000×250名	3,500,000
大会記念誌部会	800,000		
懇親会部会	3,500,000		
予備費	554,482		
合 計	6,104,482	合 計	6,104,482

## 第70回年次大会登録料振込指定銀行

- 銀行名 北海道銀行 札幌駅北口支店
- 口座番号 普通預金 1158832
- 口座名 ライオンズクラブ331複合地区年次大会  
議長 松浦 淳一

A decorative, ornate frame with intricate scrollwork and flourishes, rendered in a light blue color. It encloses the main title text.

# マンスリーレポート







A decorative, ornate frame with a light blue outline and a subtle drop shadow, featuring intricate scrollwork and flourishes at the corners and midpoints.

# LCIF(1~2月)状況



LCIF献金実施状況一覧 2024年1月度

R	Z	クラブ名	MJF一括		MJF分割		その他個人		その他クラブ		LCIF合計		期首からの累計	
			件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	1	函館	1	1,000	0	0	0	0	1	280	2	1,280	3	1,373
		江差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		北檜山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	137
		奥尻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	600
		函館一楽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	函館北斗	1	1,000	0	0	0	0	1	520	2	1,520	3	1,694
		木古内知内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	1,813
松前		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82	4,349	
R合計			2	2,000	0	0	0	0	2	800	4	2,800	108	9,966
2	1	小樽	0	0	36	1,800	0	0	0	0	36	1,800	37	2,047
		余市	0	0	51	1,301	0	0	0	0	51	1,301	52	1,649
		岩内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	206
		黒松内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	194
	2	小樽中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	123
		倶知安	0	0	1	100	0	0	0	0	1	100	56	1,861
		小樽みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	260
		ニセコ	1	1,000	27	1,350	0	0	1	50	29	2,400	30	2,560
小樽うしお	0	0	25	500	0	0	0	0	25	500	26	640		
R合計			1	1,000	140	5,051	0	0	1	50	142	6,101	205	9,540
3	1	室蘭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1,120
		洞爺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	455
		伊達	3	3,000	0	0	0	0	0	0	3	3,000	7	6,241
	2	登別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	213
		室蘭東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44	6,374
		白老	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	221
		登別中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	267
R合計			3	3,000	0	0	0	0	0	0	3	3,000	75	14,891
4	1	函館東	0	0	38	760	0	0	0	0	38	760	39	1,007
		函館海峡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		上磯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	697
		函館元町	0	0	0	0	0	0	1	600	1	600	2	807
		函館臥牛	0	0	0	0	0	0	1	42	1	42	5	359
	2	八雲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		函館中央	0	0	0	0	0	0	1	360	1	360	2	480
		函館グリーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
函館みなと	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1,113		
R合計			0	0	38	760	0	0	3	1,002	41	1,762	52	4,463
5	1	苫小牧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	1,546
		静内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	1,441
		門別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		新冠	0	0	35	700	0	0	0	0	35	700	36	921
		苫小牧ハスカップ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	8,990
	2	むかわ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	2,667
		苫小牧中央	11	11,000	0	0	0	0	0	0	11	11,000	85	37,556
		安平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	198
		厚真	0	0	31	3,100	0	0	0	0	31	3,100	32	3,307
苫小牧白鳥	1	1,000	0	0	0	0	0	0	1	1,000	112	5,782		
R合計			12	12,000	66	3,800	0	0	0	0	78	15,800	445	62,408
地区合計			18	18,000	244	9,611	0	0	6	1,852	268	29,463	885	101,268

LCIF献金実施状況一覧 2024年2月度

R	Z	クラブ名	MJF一括		MJF分割		その他個人		その他クラブ		LCIF合計		期首からの累計	
			件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1	1	函館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1,373
		江差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		北檜山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	137
		奥尻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	600
		函館一楽	0	0	0	0	0	0	1	900	1	900	1	900
	2	函館北斗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1,694
		木古内知内	1	1,000	0	0	0	0	0	0	1	1,000	19	2,813
松前		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82	4,349	
R合計			1	1,000	0	0	0	0	1	900	2	1,900	110	11,866
2	1	小樽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	2,047
		余市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	1,649
		岩内	0	0	11	1,100	0	0	0	0	11	1,100	12	1,306
		黒松内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	194
	2	小樽中央	0	0	17	340	0	0	0	0	17	340	18	463
		倶知安	0	0	1	300	0	0	0	0	1	300	57	2,161
		小樽みなと	0	0	40	800	0	0	0	0	40	800	41	1,060
		ニセコ	0	0	33	540	0	0	0	0	33	540	63	3,100
小樽うしお	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	640		
R合計			0	0	102	3,080	0	0	0	0	102	3,080	307	12,620
3	1	室蘭	0	0	16	688	0	0	0	0	16	688	18	1,808
		洞爺	0	0	65	1,910	0	0	0	0	65	1,910	66	2,365
		伊達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	6,241
	2	登別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	213
		室蘭東	2	2,000	0	0	0	0	0	0	2	2,000	46	8,374
		白老	0	0	29	580	0	0	0	0	29	580	30	801
登別中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	267		
R合計			2	2,000	110	3,178	0	0	0	0	112	5,178	187	20,069
4	1	函館東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	1,007
		函館海峡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		上磯	0	0	0	0	0	0	1	575	1	575	3	1,272
		函館元町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	807
		函館臥牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	359
	2	八雲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		函館中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	480
函館グリーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
函館みなと	1	1,000	0	0	0	0	0	0	1	1,000	3	2,113		
R合計			1	1,000	0	0	0	0	1	575	2	1,575	54	6,038
5	1	苫小牧	0	0	21	273	0	0	0	0	21	273	64	1,819
		静内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	1,441
		門別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		新冠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	921
		苫小牧ハスカップ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	8,990
	2	むかわ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26	2,667
		苫小牧中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85	37,556
		安平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	198
		厚真	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	3,307
苫小牧白鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	112	5,782		
R合計			0	0	21	273	0	0	0	0	21	273	466	62,681
地区合計			4	4,000	233	6,531	0	0	2	1,475	239	12,006	1,124	113,274



# 活動報告

- 地区 GMT・GLT・GST・FWT・GET・LCIF 活動報告
- ゾーンチェアパーソン活動報告
- 第 1R～第 5R 各クラブへの質問書 回答集計
- 各委員長活動報告



# 【活動報告】

GET コーディネーター  
L 高橋 伸介(室蘭東 LC)

## GET コーディネーター活動報告

今期もスタートして、渡部ガバナー齊藤第1ガバナーと共に GAT の一員として動して参りましたが、早いもので今期最後のキャビネット会議となりました。第4回目の活動報告を致します。

- ・2月10日(土)第3回開催された第3Rの諮問委員会にてリジョンセミナーを行いました。  
本所名誉顧問・ゾーンチェアパーソンと連携しミッション1.5ミリオンの説明を行い、各クラブと意見交換等行いました。  
今後のLCのアクティビティを一般の方々を巻き込んでLCがどのような奉仕活動を行っているのか理解して頂く。又、チャリティゴルフコンペボウリング等一般の方々を取り込んで行い、LCの奉仕活動を理解して頂く等色々な意見がでました。  
その中で共感して頂き新しいクラブの創設や会員の純増に繋がればと思われました。
- ・現状の会員の退会防止も本当に大切な事なことなので各クラブ会長へ退会防止のお願いを致しました。
- ・今期の渡部ガバナーの目標(1つの新クラブ結成と、新会員10名の純増)について各クラブの会長に今期の方針説明も行いました。

## 今後の活動

- ・3月30日(土)第3Rで、山本 GLT コーディネーターの要請で LC 入会 5 年未満の方々の次世代育成リジョンコーカスを庄司 GMT 片岡 ZC 門脇 ZC で行います。

# 【活動報告】

GMT コーディネーター  
L 庄司 典弘(室蘭 LC)

## 1. 各種会議 (1月～2月)

- 2024年1月27日 第3回キャビネット会議  
会場 グランドホテルニュー王子
- 2024年2月3日 第5R 地区ガバナー諮問委員会  
会場 グランドホテルニュー王子
- 2023年2月10日 第1R 地区ガバナー諮問委員会  
会場 ロイヤルシーサイド函館
- 2023年2月24日 第2R 地区ガバナー諮問委員会  
会場 ホテル第一会館

## 2. 地区 GMT 活動報告 (12月～2月)

2024年1月～2月28日までの会員数 推移  
期首 クラブ数 43 会員数 1465名

12月末 入会者 9名 退会者 18名 会員数1507名(内家族会員235名)  
1月末 入会者 13名 退会者 5名 会員数1515名(内家族会員235名)  
2月末 入会者 8名 退会者 8名 会員数1515名(内家族会員234名)

2月28日現在 期首より50名増加している

・第3回キャビネット会議終了後、前回訪問できなかった第1R、第2R、第5R の諮問会議に出席させて頂き、引き続き会員増強に向けての現状確認と会員の維持についての話をさせて頂きました。新設された特典会員についての説明、現状の家族会員についてのあり方、現在の各クラブ会費についても再確認させていただきました。現在の各クラブの現状を把握するためにも、各リジョン訪問を行ったことは参考になったことを含め非常に大事であったと感じております。

又、クラブ支部の設立の動きについては、2月20日に第5R 苫小牧中央L所属クラブ支部「NOILS」の結成説明会に参加させていただき、申請済で登録を待つのみとなっております。結成人数は7名ですが、まだまだ増員する要素を含んだクラブ支部だと判断しております。苫小牧中央Lにつきましては、一般会員も5名(すでに登録済)クラブ支部も 1クラブ支部結成される動きとなっております。

これから次世代育成リジョンフォーラム開催することが決定しておりますので、できる範囲でのリジョン会議訪問を行い、新会員入会への推進、GAT活動の理解等含めて懇親を高めたいと考えております。

# 【活動報告】

GLT コーディネーター  
L 山本憲治(小樽みなと LC)

## 次世代育成リジョンミーティング開催について

### 1. 目的

入会5年未満のライオンに次世代育児研修の場を設け、クラブ運営に参加する必要性を理解して頂く。また他クラブの同じ立場のライオンと交流できる場を設ける。

### 2. 内容

各リジョン毎に開催する。但し1・4Rは合同とする。時期は2024年3～4月を予定。ZCの皆様におかれましては、クラブの取りまとめ、開催場所、会場セッティングをお願いしたいと考えます。各コーディネーターより担当内容の説明コメント、時間として1時間程のミーティングを実施し、終了後懇親会を行う。

### 3. イメージ

円卓に6～8名程度をグループとする。座席は抽選若しくは同じクラブ2名程度とし他クラブと相席とする。CAB役員は懇親会にて各テーブルに参加する。他クラブのメンバーとの交流を目的とする。

### 4. その他

クラブ役員就任の大切さ、新会員の勧誘は新会員が実施、LCIFの必要性、FWT全般の事業の理解、会員交流の推進

### 開催予定

1R・4R 合同ミーティング 函館 諮問会議合同開催 4/13  
2R ミーティング 小樽 単独開催 5月中旬～下旬  
3R ミーティング 室蘭 単独開催 3/30  
5R ミーティング 苫小牧 詳細検討中

以上の日程で実施予定です。

## 【活動報告】

SCP・FWTコーディネーター  
L荒川 祥子(倶知安LC)

### 地区SCP・FWT活動報告(1月～2月)

#### ◎ ヘアードネーション

331-C地区ヘアードネーション数 5件

室蘭LC	1件	函館中央LC	1件
黒松内LC	1件	静内LC	1件
室蘭東LC	1件		

#### ◎ たんすに眠る外貨募金

331-C地区 外貨募金件数 0件 合計 0円

#### ◎ こどもの未来古本募金

331-C地区 古本募金件数 0件 0円

#### ◎ 使用済み眼鏡リサイクル

331-C地区 使用済み眼鏡数 615件

黒松内LC	45個	上磯LC	215個
静内LC	28個	木古内知内LC	79個
苫小牧中央LC	220個	室蘭東LC	12個
苫小牧白鳥LC	16個		

331複合地区で負担していました、中古眼鏡の寄付金50円の補助は、3月22日をもちまして終了となりました。ご協力ありがとうございました。

◎ 女性・家族会員増強報告

※ 331-C地区LC全会員数 7月初め1,465名 2月末日1,522名

≪女性会員≫ 1月初め 291名 → 2月末日 294名

3名増加(新入会員5名・退会会員2名)

≪家族会員≫ 1月初め 235名 → 2月末日 233名

2名減少(新家族会員0名・退会会員2名)

◎ クラブ支部結成報告

331-C地区結成クラブ支部 1件

苫小牧中央LC

NOILS(ノイルズ)クラブ支部 2024年2月20日結成

≪既存クラブ支部 6クラブ支部≫

- ・木古内・知内LC 若獅子会支部
- ・黒松内LC わかぶな会支部
- ・函館東LC こどもサポートクラブ支部
- ・函館東LC 函館東わんぱく相撲サポートクラブ支部
- ・函館グリーンLC アミカル支部
- ・苫小牧ハスカップLC 友絆会支部

## 【活動報告】

GST コーディネーター  
L 坂本 将一(苫小牧中央 LC)

### 1. 眼鏡リサイクル事業

331-C 各クラブへ情宣、結果 331-C 地区において眼鏡が559個(2月27日現在)集まりました。

### 2. 第 3 回キャビネット会議にてアクティビティの報告依頼

現状各クラブのアクティビティ報告は MyLion と SERVANNA の両方に登録しなければならず、MyLion に登録をしないと国際協会への報告にならないので注意が必要。

### 3. 地区内一斉清掃事業共催のご協力依頼(別紙参照)

以上、諸々ご協力ありがとうございます。



ライオンズクラブ国際協会331-C地区  
 苫小牧キャビネット事務局  
 〒053-0022 苫小牧市表町1丁目4-5 ほくせんビル4F  
 TEL: (0144)38-5111 FAX: (0144)38-5110  
 E-mail:hokkaido331c@lionsclubs-331c.org



《苫小牧 CAB-66》  
 2024年2月22日

ライオンズクラブ国際協会331-C 地区  
 ライオンズクラブ会長 各位

ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区  
 地区ガバナー L 渡部 義男  
 地区 GST コーディネーター L 坂本 将一  
 環境保全社会福祉委員会 委員長 L 小坂 直江

## 「地区内一斉清掃事業」共催のご協力をお願い

謹啓 春寒の候、貴職におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より、地区キャビネット運営に対しご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2023～2024年度のガバナースローガンである「地域と共に新たな挑戦 We serve キーワード共に～未来へ輝く～」を掲げ船出した苫小牧キャビネットも、残すところ4カ月足らずとなりました。

国際会長パティ・ヒルのメッセージより、「はじめの一步」の一例【もっとエコでクリーンな環境を目指す】自然環境の保護と改善は、地域住民を巻き込んで行える、優れた社会奉仕活動です。天然資源を守りよみがえらせるお手伝いをする事で、具体的に世界を変えることができます。今すぐ大胆に行動しましょうとコメントが出されました。

それに伴い、今期も苫小牧キャビネットの事業といたしまして、雪解けでプラごみ等が目立つこの時期に、各クラブの地域にある河川・海岸等の清掃活動を地区内にて一斉開催することで、地域におけるライオンズクラブの活動をアピールする機会にもなるため下記のとおり企画させていただきました。

また、少額ではありますが、苫小牧キャビネット予算より、開催頂いたクラブに対して消耗品等の購入にお使いいただけるよう助成金を出す事と致しました。

つきましては、時節柄何かとご多用の折とは存じますが、クラブ内にてご協議の上趣旨にご賛同いただき開催いただければ幸いです。

謹白

### 記

テーマ 「環境に奉仕する日」  
 主催 ライオンズクラブ国際協会331-C 地区  
 共催 ライオンズクラブ(実施主体)  
 日時 2024年5月1日(水)～26日(日)の間で設定  
 場所 各クラブで設定(地元)  
 参加者 ライオンズクラブ会員・地域住民等  
 助成金 1クラブ5,000円(開催計画書提出後キャビネット事務局よりクラブ口座へ振込)  
 広報 各クラブが日時や清掃場所を設定し、地元自治体や地元新聞等へ積極的に働きかけていただき、多くの地域住民とともに奉仕活動ができれば幸いです。



## 【活動報告】

LCIF 副コーディネーター  
L 作並 真一(函館みなと LC)

今期もいよいよ終盤となり、今期 C 地区目標額 120,000 ドルですが  
3 月 6 日時点で 127,144 ドルとなり目標額達成いたしました  
C 地区の会員皆様のお力添え、誠にありがとうございました  
年次大会での LCIF ゴルフ・ボーリングチャリティー、LCIF ブース等々もありますの  
で更なるご協力よろしくお願ひいたします  
任期あと残り僅かですが、会員皆様のご理解ご協力の程よろしくお願ひ申し上げま  
す。

## 【活動報告】

第1R 第1Z  
ZC L石戸 保(松前 LC)

1月27日 第3回キャビネット会議 参加(苫小牧グランドホテルニュー王子)  
\*ゾーン委員代理出席

2月10日 第3回ガバナー諮問委員会実施(函館ロイヤルシーサイド)

第3回キャビネット会議の要点を説明  
各クラブ活動方針とクラブの現状説明

3月9日 次期函館キャビネット準備事務局開所式 参加  
\*ゾーン委員代理出席

## ゾーンチェアパーソン報告書

### 第1R 第1Z ゾーンチェアパーソン L石戸保

①現在の会員数の内訳    ②入会5年以内の理事の人数    ③アクティビティの実績と見直し    ④LCIFの実績

クラブ名	会員動向	アンケート回答	クラブの対策・手法	備考(質問)
函館	期首 22名 (家族会員 8名) (女性会員 7名)	① 正会員数:14名 家族会員数:8名 ② 0名	④ MJF L志賀松 晋 1000\$ LCIF 20\$×14名 280\$	
	現在 22名 (家族会員 8名) (女性会員 名)	③ ホタル観賞会 2023年7月24日 献血ACT 2023年9月11日 献血ACT 2024年5月予定 北海道障がい者施設タオル寄贈2024年2月予定		
	期首 9名 (家族会員 3名) (女性会員 4名)	① 正会員数:6名 家族会員数:3名 ② 0名	④ なし	
	現在 9名 (家族会員 3名) (女性会員 4名)	③ 江差LC旗争奪少年軟式野球大会 10月 ミーナ募金 2月か3月 江差、上ノ国、乙部町 新1年生記念品 3月 見直しはなし 継続		
	期首 24名 (家族会員 5名) (女性会員 4名)	① 正会員数:22名 家族会員数:6名 ② 4名	サケの上る森作り植樹祭参加 クリスマス家族会 特別養護老人ホームきひやま荘物資提供	
	現在 28名 (家族会員 6名) (女性会員 名)	③ 温泉まつりへの出店出店(射的・スーパーボールすくい) *新規ACT ヘアードネーション実施 町内保育園遊具塗装ACT*新規ACT	④ モロッコマウイ復興支援 \$137 9月29日 能登半島復興支援 ¥56,000 2月16日 日本ライオンズ寄付 ¥44,000 2月16日 一般寄付 \$22.00 2月26日	
奥尻	期首 12名 (家族会員 名) (女性会員 名)	① 正会員数:12名 家族会員数:0名 ② 0名		
	現在 12名 (家族会員 名) (女性会員 名)	③ なし ④ 能登半島地震支援 2,000×12名 LCIF 6000ドル		
	期首 33名 (家族会員 7名) (女性会員 8名)	① 正会員数:26名 家族会員数:7名 ② 0名	④ 献血ACT 2023年10月6日 コスモスロード整備事業雑草刈り 2023年8月5日	
函館北斗	現在 33名 (家族会員 7名) (女性会員 名)	③ 第1500回例会記念ACT 2024年4月6日 (全盲のシンガーソングライター佐藤ひらりさんコンサート) 函館地区ジュニア水泳大会 2024年2月4日 少年武道大会 2024年3月24日		

## ゾーンチェアパーソン報告書

### 第1R 第1Z ゾーンチェアパーソン L石戸保

①現在の会員数の内訳    ②入会5年以内の理事の人数    ③アクティビティの実績と見直し    ④LCIFの実績

クラブ名	会員動向	アンケート回答	クラブの対策・手法	備考(質問)
木古内 知内	期首 19名 (家族会員 1名) (女性会員 2名)	① 正会員数:18名 + 支部若獅子会19名 家族会員数:1名	クリスマスケーキ寄贈 若獅子会 認定こども園 2023.12.25	
		② 1名	ペットボトルアートACT 2023.10.14	
		③ 眼鏡リサイクル事業79本 2023.2.7	交通安全街頭啓発 2023.10.10	
	現在 19名 (家族会員 1名) (女性会員 名)	第4回少年野球大会 2023.9.2-3 クリスマスチャリティパーティー参加者250名 2023.12.9	ヘアードネーション 1件 ④ 能登半島地震大災害支援	
		クリスマスケーキ&タオル 老人福祉施設へ寄付 タオル186本 2023.12.22	モロッコ大地震及びハワイマウイ島山火事復興支援 LCIF 100\$ 献金	
松前	期首 36名 (家族会員 1名) (女性会員 5名)	① 正会員数:35名 家族会員数:4名	桜並木の草刈り・肥料事業	
		② 3名	④ \$3,649	
	現在 39名 (家族会員 4名) (女性会員 5名)	③ 赤い羽根共同募金 クリスマスケーキを町内園児への贈呈		
		商工会青年部主催のウインターフィスティバルでの 豚汁の提供		
函館 一楽	期首 40名 (家族会員 5名) (女性会員 6名)	① 正会員数:49名 家族会員数4名		
		② クラブ設立2022年12月。 会員全員5年以内。		
	現在 53名 (家族会員 4名) (女性会員 名)	③ なし		
		④ 20\$×45名=900\$ 能登半島地震支援金 2,000円×45名=90,000円		
	期首 名 (家族会員 名) (女性会員 名)	①		
		②		
	現在 名 (家族会員 名) (女性会員 名)	③		
		④		
	期首 名 (家族会員 名) (女性会員 名)	①		
		②		
	現在 名 (家族会員 名) (女性会員 名)	③		
		④		

## ZC 活動報告書(諮問会議・ZC 公式訪問など)

第2R 第1Z

ZC L 狩野 敏哉(余市 LC)

### ① 担当クラブの活動報告・例会訪問等を踏まえて特色ある活動例を記載ください

※地元リトルシニア球団と合同の草刈りに汗を流し野球用品50万円を贈呈し、地元野球少年達の未来を応援。(小樽 LC)

※近郊の少年野球チーム(4チーム)を招き少年野球大会を開催。選手及び父兄全員と豚汁を食べながらの毎年恒例の ACT。(余市 LC)

※道の駅冬祭りにて雪像制作・滑り台を作成、屋台を出店し売上金を地元子供達の為に寄付を行う。(岩内 LC)

※イベントでライオンズ一座を開催しスモークチーズ・クレープの提供販売を行う。イベントの収益金や例会でのドネーションで LCIF100\$/1 名達成を目指す。(黒松内 LC)

### ② 諮問会議の内容を簡単に記載ください

地区コーディネーターを講師としてセミナーを複数回開催し、LCIF100\$の現況説明と達成に向けての啓蒙を行う。また、FWT 活動の現況報告にて活性化への啓蒙を行う。

会員増強活動はもとより、自クラブに於いて退会防止に努めるべく対応を啓蒙。

### ③ これまでの ZC 活動結果を記載ください

会員増強に繋がる例会及び ACT 開催の啓蒙はもとより、退会防止に向けての自クラブでの退会原因の把握を行い対応策の啓蒙を行うべくディスカッションを行う。

各クラブに於いて、所属会員の在籍年数・年齢等の構成比、会長就任歴・CB 出向歴など

を数値化したデータ作成をお願いし検討資料するべく啓蒙中です。

## ゾーンチェアパーソン報告書

### 第2R 第1Z ゾーンチェアパーソン L狩野敏哉

①現在の会員数の内訳    ②入会5年以内の理事の人数    ③アクティビティの実績と見直し    ④LCIFの実績

クラブ名	会員動向	アンケート回答	クラブの対策・手法	備考(質問)
小樽	期首 54名 (家族会員 12名) (女性会員 2名)	① 正会員35、優待会員6、家族会員12		
		② 4人		
	現在 53名 (家族会員 12名) (女性会員 2名)	③44年間小樽地区少年少女空手道選手権大会支援、44年間少年少女合唱団支援、さくら学園・相愛母子寮へのクリスマスプレゼント、周年記念に少年野球チームへ野球用具を寄贈しました。 今後は、長期間するであろう被災地への支援や小樽で73年続く小中学生のアルペンスキー大会を継続させるための支援など考えています。		
		④ 実績 \$50×36L=\$1,800		
余市	期首 53名 (家族会員 1名) (女性会員 4名)	①正会員50名、優待会員1名、家族会員1名。		
		②2名。		
	現在 52名 (家族会員 1名) (女性会員 4名)	③青少年、宇宙少年団、サマージャンプへの協賛。 後志少年野球大会を主催。		
		④ \$1302.31(一人\$20、個人6名\$282.31)	会費と徴収 ドネーション袋と別にLCIF袋を例会に用意。	
岩内	期首 37名 (家族会員10名) (女性会員 11名)	①正会員32名・家族会員10名・女性会員11名		
		② 3名内1名は再入会会員		
	現在 42名 (家族会員10名) (女性会員11名)	③先に予定しておりました、「道の駅冬まつり」無し チャリティー屋台の実行が不可となりました。	③非行防止教室について開催中学校が 1枝増(泊中学校)3枝→4枝実施	
		④100\$献金1名実行済み 今月20日までに「9名実施予定」		
黒松内	期首 46名 (家族会員 13名) (女性会員 2名)	① 左記参照		
		② 1名		
	現在 48名 (家族会員 14名) (女性会員 2名)	③ ・町内クリーン作戦参加 ・道道除草作業 ・クリーボックス修繕 ・交通安全啓発運動	・継続していく	
		④ ・オークション例会 41,020 ・クレーブ 31,200 ・モロッコハワイ 29,000		
	期首 名 (家族会員 名) (女性会員 名)	①		
		②		
	現在 名 (家族会員 名) (女性会員 名)	③		
		④		

## ZC 活動報告書(諮問会議・ZC 公式訪問など)

第2R 第2Z  
ZC L 佐藤 裕(倶知安 LC)

- ① 担当クラブの活動報告・例会訪問等を踏まえて特色ある活動例を記載ください  
学校PTA を交えた防災訓練 ACT 豚汁、おにぎりの炊き出し  
子供たちと親参加でねぶたを使った薬物乱用防止啓発活動  
リジョン内小樽、余市5クラブ合同新年例会  
500回ごとの記念例会で会報や先輩たちから当時の様子などを聞きながら  
楽しく過ごす移動夜例会  
小樽まちなか図書館に本の寄贈
  - ② 諮問会議の内容を簡単に記載ください  
キャビネット会議での内容を説明する。  
各クラブの例会内容や新人セミナーや指導力育成セミナーの開催状況  
などを質問形式で報告書にまとめてもらい説明を聞く。  
LCIF、会員増強状況を報告してもらおうとともに問題点を話し合う  
LCIF 交付金で会員募集のポスターを作れないか？
  - ③ これまでの ZC 活動結果を記載ください  
8月7日 第1回 キャビネット会議  
8月8日、10日 ガバナー公式訪問(小樽、黒松内)  
9月15日 LCIF シーハン理事長公式訪問(札幌)  
9月17日 第1回 ガバナー諮問会議  
10月19日 小樽みなとL 訪問  
10月24日 第2回 キャビネット会議  
11月11日 第2回 ガバナー諮問会議  
11月16日 ニセコL 訪問  
11月22日 キャビネット GAT 会議オブザーバー参加  
12月12日 小樽中央L 故三浦恂宗 L 葬儀代理出席  
12月12日 小樽うしおL 訪問  
12月16日 第2回リジョンコーカス  
1月13日 第3回 リジョンコーカス  
1月19日 小樽・余市5クラブ合同例会(新年例会)参加  
1月27日 第3回 キャビネット会議  
2月24日 第3回 ガバナー諮問会議  
3月9日 第2リジョン 積立金委員会
- 今後 小樽中央L クラブ訪問  
3月23日 第4回キャビネット会議  
4月13日 第4回 ガバナー諮問会議  
4月26日 331-C 地区 地区年次大会

## ゾーンチェアパーソン報告書

### 第2R 第1Z ゾーンチェアパーソン L狩野敏哉

①現在の会員数の内訳    ②入会5年以内の理事の人数    ③アクティビティの実績と見直し    ④LCIFの実績

クラブ名	会員動向	アンケート回答	クラブの対策・手法	備考(質問)
小樽	期首 54名 (家族会員 12名) (女性会員 2名)	① 正会員35、優待会員6、家族会員12		
		② 4人		
	現在 53名 (家族会員 12名) (女性会員 2名)	③44年間小樽地区少年少女空手道選手権大会支援、44年間少年少女合唱団支援、さくら学園・相愛母子寮へのクリスマスプレゼント、周年記念に少年野球チームへ野球用具を寄贈しました。 今後は、長期間するであろう被災地への支援や小樽で73年続く小中学生のアルペンスキー大会を継続させるための支援など考えています。		
		④ 実績 \$50×36L=\$1,800		
余市	期首 53名 (家族会員 1名) (女性会員 4名)	①正会員50名、優待会員1名、家族会員1名。		
		②2名。		
	現在 52名 (家族会員 1名) (女性会員 4名)	③青少年、宇宙少年団、サマージャンプへの協賛。 後志少年野球大会を主催。		
		④ \$1302.31(一人\$20、個人6名\$282.31)	会費と徴収 ドネーション袋と別にLCIF袋を例会に用意。	
岩内	期首 37名 (家族会員10名) (女性会員 11名)	①正会員32名・家族会員10名・女性会員11名		
		② 3名内1名は再入会会員		
	現在 42名 (家族会員10名) (女性会員11名)	③先に予定しておりました、「道の駅冬まつり」無し チャリティー屋台の実行が不可となりました。	③非行防止教室について開催中学校が 1校増(泊中学校)3校→4校実施	
		④100\$献金1名実行済み 今月20日までに「9名実施予定」		
黒松内	期首 46名 (家族会員 13名) (女性会員 2名)	① 左記参照		
		② 1名		
	現在 48名 (家族会員 14名) (女性会員 2名)	③ ・町内クリーン作戦参加 ・道道除草作業 ・クリーボックス修繕 ・交通安全啓発運動	・継続していく	
		④ ・オークション例会 41,020 ・クレーブ 31,200 ・モロッコハワイ 29,000		
	期首 名 (家族会員 名) (女性会員 名)	①		
		②		
	現在 名 (家族会員 名) (女性会員 名)	③		
		④		

# ZC 活動報告書(諮問会議・ZC 公式訪問など)

第3R 第1Z

ZC L片岡 雄也(伊達LC)

① 担当クラブの活動報告・例会訪問等を踏まえて特色ある活動例を記載ください

② 諮問会議の内容を簡単に記載ください

会員増強について

① 室蘭LC、会員の知りあいに入会依頼。退会会員にも再入会依頼。

賛助会員としての入会も依頼している。

② 洞爺LC、会員間のコミュニケーションを図り情報共有

③ 伊達LC、例会をしっかりと開催。

PR 情報委員会がライオンニュースを発行した。

③これまでのZC活動結果を記載ください



## ZC 活動報告書(諮問会議・ZC 公式訪問など)

第3R 第2Z

ZC L門脇 宏幸(室蘭東 LC)

- ① 担当クラブの活動報告・例会訪問等を踏まえて特色ある活動例を記載ください  
登別ライオンズクラブの海岸清掃はクラブのメンバー数は少ないながら  
クラブ単独ではなく市内の町内会やあらゆる団体と連携して毎回70名近くで一斉清掃  
を行い、多い時で400袋にもなるゴミの回収をしています。  
クラブ単独では出来ない事を周りの諸団体と連携すると大きな成果を上げることが出来る  
成功事例だと思います。
  
- ② 諮問会議の内容を簡単に記載ください  
第1回諮問会議では渡部ガバナーの紹介、ガバナースローガンに対するガバナーの思い、  
活動方針、キャビネット会議審議事項の報告、ミッション1.5の説明等を行いました。  
  
第2回諮問会議では、キャビネット会議審議事項の報告、地区 GMT コーディネーター  
L 庄司 典弘をお招きして「会員増強に向けての現状確認と会員の維持について」と題し  
てのリジョンセミナーを行いました。  
  
第3回諮問委員会では、次期ガバナー、第一副地区ガバナー、第2副地区ガバナーの立  
候補届、各ゾーンチェアパーソンのおすすめ等キャビネット会議の審議事項の報告、地区第2副  
地区ガバナー GET コーディネーターの L 高橋 伸介、助言者として元地区ガバナー L  
本所 光男をお招きし、新クラブの設立、会員増強におけるミッション1.5の重要性につい  
てのリジョンセミナーを行いました。  
その後、地区役員、第3リジョン所属クラブの 3 役との交流を深める懇親会を開催し大変  
盛り上がりました。
  
- ③ これまでの ZC 活動結果を記載ください  
ZC という重責を担い 1 年間活動して参りましたが、自分の能力不足からキャビネット会  
議への報告、諮問会議の準備などに時間を費やすのが精いっぱい、最初に思い描いて  
いた各クラブの会長と連絡を密にとり会員増強や退会防止、クラブ変革のお手伝いなど  
をする事が全然出来ませんでした。もっとスケジュール感をもって活動しなければ、ZC と  
しての役割を満たすことが出来ないと反省いたしました。

## ゾーンチェアパーソン報告書

### 第3R 第2 Z ゾーンチェアパーソン L門脇宏幸

①現在の会員数の内訳    ②入会5年以内の理事の人数    ③アクティビティの実績と見直し    ④LCIFの実績

クラブ名	会員動向	アンケート回答	クラブの対策・手法	備考(質問)
登別	期首名	① 14名		
	(家族会員名)	家族会員 3名 女性会員 2名		
	(女性会員名)	② 0名		
		③ ビール祭り・海岸清掃・タオルボランティア・ヘッドネーション・		
	現在名	献血・障がい者施設餅つき・豆まき・こども未来古本 実施		
	(家族会員名)	海岸清掃・少年の主張大会・新入学児童交通安全啓発等予定		
	(女性会員名)	④10月モロッコ大地震マウイ島支援金1,000円、12月1人\$20 3月に能登半島地震支援金予定		
室蘭東	期首 44名	① 正会員41名(終身会員3名) 家族会員7名 計48名	④ 2023-2024年度	
	(家族会員 7名)	② 0名	LCIF100\$献金 正会員41名×100\$	
	(女性会員 5名)	③ 室蘭2LC合同ACT薬物乱用防止教室 (7/19・11/15・2/14 3回実施)	【MJF1000\$献金】 L本所 光男(2回)・L高橋 伸介(1回)	
	現在 48名	第42回室蘭東LC杯青少年育成弓道大会	モロッコ地震・ハワイ島山火事義援金	
	(家族会員 7名)	イタンキ浜清掃 室蘭市交通安全人と旗の波運動	能登半島地震被災地義援金(個人寄付3件)	
	(女性会員 7名)	ヘッドネーション(7件) 赤い羽根・歳末助けあい募金		
		室蘭言泉学園ご寄付 公益財団法人日本ライオンズへ寄付		
白老	期首 33名	①正会員29名 内女性会員1名 家族会員17名		
	(家族会員 17名)			
	(女性会員 1名)	②6名		
	現在 29名	③ほぼ予定通りです。見直し等は有りません。		
	(家族会員 17名)			
	(女性会員 1名)	④一人、20ドルのみです。		
登別中央	期首名	① 18名		
	(家族会員名)	家族会員 8名 女性会員 5名		
	(女性会員名)	② 0名		
	現在名	③ ビール祭り・海岸清掃・タオルボランティア・ヘッドネーション等 実施		
	(家族会員名)	海岸清掃・少年の主張大会・新入学児童交通安全啓発等予定		
	(女性会員名)	④10月モロッコ大地震マウイ島支援金1,000円 12月1人20\$実施 3月に能登半島地震支援金予定		
	期首名	①		
	(家族会員名)			
	(女性会員名)	②		
	現在名	③		
	(家族会員名)			
	(女性会員名)	④		

# ZC 活動報告書(諮問会議・ZC 公式訪問など)

第 4R 第 1Z

ZC L 嘉堂 卓也(函館臥牛 LC)

## ① 担当クラブの活動報告・例会訪問等を踏まえて特色ある活動例を記載ください

- ・函館東LC:ヤングケアラー・ひとり親支援等暮らしに関することに厚い
- ・函館海峡 LC:会員数は少ないが単独で清掃や植樹を行っている
- ・上磯 LC:地元密着のアクトが根強く地盤強化に繋がっている
- ・函館元町 LC:車いすバスケや障害者水泳の支援に厚い
- ・函館臥牛 LC:ヘッドネーションの提出が地区内では多い

## ② 諮問会議の内容を簡単に記載ください

キャビネット会議の説明を審議事項から始まり活動方針まで一部は関連する場所のみ説明している  
一番時間を割いているのは各クラブ報告とそれに対しての皆さんとの意見交換で内容が充実していると思う

## ③ これまでの ZC 活動結果を記載ください

ZC クラブ訪問予定

10/18 函館元町 LC 訪問(移動例会)

10/24 函館東 LC 訪問(移動例会)

11/16 函館海峡 LC 訪問(移動例会)\*中止

11/21 函館元町 LC 訪問(CN)

11/28 上磯 LC 訪問(CN)

11/29 函館臥牛 LC 訪問(CN)

12/15 1R 松前 LC、4R1Z 函館臥牛 LC、4R2Z 八雲 LC、函館グリーン LC、函館みなと LC4 クラブ合同例会(3ZC 参加)

今後の予定

4/13(土)諮問委員会及びリジョンミーティング

5/19(日)1R・4R 合同木古内ビーチ清掃及び LCIF 焼肉(予定)

## ゾーンチェアパーソン報告書

### 第4R 第1Z ゾーンチェアパーソン L嘉堂卓也

①現在の会員数の内訳    ②入会5年以内の理事の人数    ③アクティビティの実績と見直し    ④LCIFの実績

クラブ名	会員動向	アンケート回答	クラブの対策・手法	備考(質問)
函館東	期首 61名 (家族会員 8名) (女性会員 24名)	①会員38名 家族会員8名 支部会員13名 計59名 女性会員 会員6名 家族会員5名 支部会員10名 計21名 ② 1年理事1名 (理事会構成員6名)		
	現在 59名 (家族会員 8名) (女性会員 21名)	③函館市ヤングケアラー対策事業へ寄付・ひとり親世帯へお米1トン支援 第41回東ライオンズ杯サッカー大会・U-11フットサル大会・ひとり親家庭食糧支援 ④10/18 37,000円(\$247.91)モロッコ大地震・ハワイマウイ島山火事支援 1/27 107,685円(\$760) \$20×38名		
	期首 4名 (家族会員 名) (女性会員 1名)	①4名 ②0名		
	現在 4名 (家族会員 名) (女性会員 1名)	③献血・植樹 ④0		
上磯	期首 27名 (家族会員 7名) (女性会員 3名)	①会員30名(正会員23名 家族会員7名 女性会員3名) ② 入会5年未満 1名 理事は8名(50歳代2名 60歳代3名 70歳代3名)		
	現在 30名 (家族会員 7名) (女性会員 3名)	③7/8第13回わんぱく相撲大会(4年振り) 7/30第18回北斗市夏まつり 10/2世界ライオンズ協賛交通安全街頭啓発 10/9第15回(通算33回)北斗市民ゴルフ大会(4年ぶり) ・11/3第42回茂辺地さけまつり 状況※わんぱく相撲大会・40周年支援。さけまつりと夏まつりは創立当初から支援。世界LC協賛交通安全20年間協賛 ④8/9 1会員25\$ 550\$ 77,400円 11/6モロッコ大地震支援金 147\$ 20,045円 1/22 能登半島支援金 424\$ 60,000円 1/25 1会員 25\$ 575\$ 81,472円 合計 1,696\$ 238,917円		
	期首 31名 (家族会員 0名) (女性会員 3名)	①30名 ② 0名		
函館元町	現在 30名 (家族会員 0名) (女性会員 3名)	③献血ACT,フードバンク食糧寄贈、ミーナ募金、 車椅子バスケットボール支援、障害者水泳大会支援 ④20ドル×30名=600ドル	参加メンバーが限られている。メンバーにまんべんなく参加を促す。	
	期首 3名 (家族会員 0名) (女性会員 1名)	①3名 ②0名		
函館臥牛	現在 3名 (家族会員 名) (女性会員 1名)	③献血ACT,ミーナ募金、バスケットボール道中学1年生 大会主催、ヘアドネーション ④8/9LCIF299.97ドル14,070円×3名=42,210円 9/25モロッコ地震・ハワイ山火事20.55ドル1,000円×3名=3,000円 能登地震2,000円×3名=6,000円	アクティビティ見直し無し	

## ZC 活動報告書(諮問会議・ZC 公式訪問など)

第4R 第2Z  
ZC L石原 諭(八雲 LC)

① 担当クラブの活動報告・例会訪問等を踏まえて特色ある活動例を記載ください  
各クラブとも特色のある地域に根ざした継続 ACT を多く実施されてます。  
例会では函館中央 LC では親クラブと子クラブとの恒例、新年合同例会、函館グリーン LC  
函館みなと LC との ZC クラブ訪問時の合同例会開催、森 LC と八雲 LC との初めての  
第1回合同例会開催、第2回開催も今期内に実施予定と、他クラブとの合同例会も積極的に  
実施されています。

② 諮問会議の内容を簡単に記載ください  
キャビネット会議の要点を説明  
各クラブの現状説明  
質疑応答・要望

③ これまでの ZC 活動結果を記載ください

- 8月 7日 第1回キャビネット会議 出席(苫小牧グランドホテルニュー王子)
- 8月 9日 森・八雲2LC 合同地区ガバナー公式訪問 出席(森町プラザ武蔵)
- 8月24日 在函・上磯 11LC 合同地区ガバナー公式訪問 出席(CABINPRESIDENT 函館)
- 9月 4日 第1回地区ガバナー諮問委員会 開催(函館ロイヤルシーサイド)
- 9月 6日 森 LC(9月第1例会)ZC クラブ訪問(渡島信金3F)
- 9月13日 函館中央 LC(第1,249 回例会)ZC クラブ訪問(ホテル法華クラブ函館)
- 9月14日 函館グリーン LC(第 740 回例会)・函館みなと LC(第 103 回例会)合同 ZC  
クラブ訪問(羊羊亭函館)
- 9月15日 LCIF シーハン理事長公式訪問 出席(札幌プリンスホテル)
- 9月20日 八雲 LC(第1,234回例会)ZC クラブ訪問(はぴあ八雲2F)
- 9月22日 ゾーンチェアパーソンセミナー・公認ガイディング・ライオン研修 出席(京王プ  
ラザ札幌)
- 9月30日 函館東 LC 創立65周年記念式典 出席(函館国際ホテル)
- 10月21日 第2回キャビネット会議 出席(苫小牧グランドホテルニュー王子)
- 11月 6日 第2回地区ガバナー諮問委員会 開催(函館ロイヤルシーサイド)
- 11月12日 薬物乱用防止教育認定講師養成講座 受講(苫小牧市民会館)
- 12月 2日 第4リジョン リジョンコーカス 出席(CABINPRESIDENT 函館)
- 12月15日 函館海峡 LC・函館グリーン LC・函館臥牛 LC・函館みなと LC 第1回4クラブ  
合同例会・クリスマス家族会 出席(ベルクラシック函館)
- 1月10日 在函10クラブ合同新年交礼会 出席(ベルクラシック函館)
- 1月27日 第3回キャビネット会議 出席(苫小牧グランドホテルニュー王子)
- 2月 5日 第3回地区ガバナー諮問委員会 開催(函館ロイヤルシーサイド)
- 3月23日 第4回キャビネット会議 出席予定(苫小牧グランドホテルニュー王子)

## ゾーンチェアパーソン報告書

### 第4R 第2Z ゾーンチェアパーソン L 石原 諭

①現在の会員数の内訳    ②入会5年以内の理事の人数    ③アクティビティの実績と見直し    ④LCIFの実績

クラブ名	会員動向	アンケート回答	クラブの対策・手法	備考(質問)
八雲	期首 34名 (家族会員 8名) (女性会員 0名)	① 正会員数 27名 家族会員数 8名	これから年度末にかけて退会者をださないようにしていきたい。	
		② 2名		
		③ 八雲町立図書館ヘライオンズ文庫寄付		
	現在 35名 (家族会員 8名) (女性会員 0名)	交通安全推進運動(パトライト)・献血呼びかけ運動 ライオンズカップジュニアサッカー大会		
		④ 353ドル 献金		
森	期首 36名 (家族会員 0名) (女性会員 2名)	① 会員動向の通りです。		
		② 3名です。		
	現在 36名 (家族会員 0名) (女性会員 2名)	③ 11月剣道大会、2月フットサル大会 今後は5月に野球大会を予定。見直しはありません。		
		④ LCIF協力金20ドル×36名=720ドル 能登半島沖地震支援金 488.93ドル		
函館中央	期首 25名 (家族会員 6名) (女性会員 5名)	① 25名		
		② 1名		
		③ 献血ACT年12回 : 五稜郭公園花壇植花(5月予定) 第33回青少年空手道競技大会(11月23日)	・青少年空手道競技大会がコロナで延期が 続き、減少してしまった参加人数の増加策	
	現在 25名 (家族会員 6名) (女性会員 5名)	北斗IC植樹ACT(6月予定)	を検討中です。	
		④ 20ドル×18名=360ドル(送金)		
函館グリーン	期首 7名 (家族会員 10名) (女性会員 6名)	① 左記の通り		
		② 0人		
	現在 7名 (家族会員 10名) (女性会員 6名)	③ ヘアドネーション		
		④ なし		
函館みなと	期首 31名 (家族会員 14名) (女性会員 13名)	① 一人目正会員17名 二人目正会員(特典会員)14名		
		② 1名		
	現在 名 (家族会員 名) (女性会員 名)	③ 函館市児童館卓球台一式・ビーチクリーン作戦・ 中古眼鏡・古切手収集・ミーナー募金・	これらは創立以来のACTとして行っています アクティビティの見直しは考えておりません	
		④ 5年間100%以上達成しております		
		今期はL作並真一がLCIF副コーディネーターをつとめており皆様には大変お世話になっております、有難う御座いました。		

# ZC 活動報告書(諮問会議・ZC 公式訪問など)

第 5R 第 1Z

ZC L 本多 弘幸(苫小牧ハスカップ LC)

① 担当クラブの活動報告・例会訪問等を踏まえて特色ある活動例を記載ください

## ・苫小牧 LC

苫小牧美術博物館へ 5 年に 1 度大きなもの(プロジェクター)を寄贈した。  
例年は、缶バッチ等を寄贈している。

## ・苫小牧ハスカップ L

苫小牧港まつりの出店、ディスコパーティーの開催。どちらも収益性が高かった。

## ・新冠 LC

例会において会員によるメンバースピーチを 15～20 分企画し会員それぞれの親睦を図った。

## ・静内 LC

高校生にユニフォーム寄贈

静内町長のスピーチ。北海道電力担当者からダムを送電関係と胆振東部地震におけるブラックアウトについて講演を頂いた。

② 諮問会議の内容を簡単に記載ください

地区 GMT コーディネーターの庄司典弘 L を講師にお迎えして、現在の会員の動向と今年度の目標、又会員増強の手法等の講義をして頂きました。

LCIF 委員長の富田明久 L より LCIF 献金のこの地区の現状と課題等のお話がありました。

記念誌部会長の藤澤廣光 L より記念誌において企業広告の依頼を受けました。一般の企業も広く歓迎しますとの事でした。

③ これまでの ZC 活動結果を記載ください

ガイディングライオン取得

第 5R リジョンコーカス参加

これまで各クラブ訪問とガバナー諮問会議を 3 回行ってきました。

## ゾーンチェアパーソン報告書

### 第5R 第1 Z ゾーンチェアパーソン L本多弘幸

①現在の会員数の内訳    ②入会5年以内の理事の人数    ③アクティビティの実績と見直し    ④LCIFの実績

クラブ名	会員動向	アンケート回答	クラブの対策・手法	備考(質問)
苦小牧	期首 23名 (家族会員 2名) (女性会員 8名)	①終身会員2名 正会員20名 家族会員2名 ②2名 ③7・9月 交通安全運動 実施。 8月とまこまい港まつり協賛店出店 ・益金寄付。11月田んぼのオーナー米2団体へ寄付・日本公益財団寄付	会員増強に努めます	
	現在 24名 (家族会員 2名) (女性会員 8名)	剣道大会後援・使用済み切手・赤い羽根募金・歳末助け合い募金 ④MJF1人・モロッコ・マウイ復興支援・能登半島他含め LCIF21名 一人100\$ 達成		
	期首 55名 (家族会員 3名) (女性会員 0名)	① 正会員54名内家族会員3名 ② 1名 ③ 高校ボランティア局へのユニホーム寄贈。 ④ 1L/20\$ 拠出済み。		
	現在 54名 (家族会員 3名) (女性会員 名)	能登半島地震災害義援金は個人ドネーションを募り、 送金予定。現在個人ドネーションは115,000円が集まり、 2,000円×会員数分も含め200,000円以上の送金を 予定しております。		
	期首 39名 (家族会員 5名) (女性会員 4名)	① ②	クラブ内の年齢構成を勘案しながら、若年の登用も実践していく方向である。 若い人たちに、納得してもらったうえで理事になってもらうよう実施していく考えです。	
	現在 39名 (家族会員 5名) (女性会員 4名)	③・新入学児童へのランドセルカバー贈呈 ・小中学校皆勤卒業生へ表彰、記念品贈呈他 ④・1L20\$ 拠出金1月に送金 ・能登半島地震大災害復興支援金2月に送金		
苦小牧 ハスカップ	期首 36名 (家族会員 5名) (女性会員 9名)	① 正会員24名(終身2名) 支部6名 家族 5名 合計35名 ② 4名    ③海岸ゴミ拾い・港まつり協賛店出店 青少年ACT2件・身体障害者支援ACT・タオルボランティア 廃品回収 公益財団日本ライオンズへ寄付@2000×16名金額 32,000円	毎回例会でテーマを決めて、 テーブルディスカッション実施	
	現在 35名 (家族会員 5名) (女性会員 9名)	④PMJF1000\$ 6回(4名) モロッコ大地震ハワイマウイ島山火事指定LCIF 25,125円 LCIF100\$ 25名 能登半島地震指定 53,000円 ディスコパーティ LCIF献金 51,018円		
	期首 名 (家族会員 名) (女性会員 名)	① ②		
	現在 名 (家族会員 名) (女性会員 名)	③ ④		

## ZC 活動報告書(諮問会議・ZC 公式訪問など)

第 5R 第 2Z

ZC L 吉田 浩子(むかわ LC)

R5年 11 月 23 日 厚真・安平・むかわ、3 クラブ合同例会訪問  
(こぶしの湯あつまにて開催)

R5年 12 月 2 日 安平ライオンズクラブ結成 52 年訪問  
(レストランしばらくにて開催)

R5年 12 月 8 日 リジョンコーカス出席  
(こぶし亭にて開催)

R6年 1 月 21 日 白老・安平・むかわ合同新年会及びむかわ新入会員入会式  
(四季の館ホールにて開催)

R6年 1 月 27 日 第 3 回キャビネット会議出席  
(グランドホテルニュー王子)

R6 年第 3 回諮問委員会 むかわ産業会館にて開催  
キャビネットより第 70 回地区大会記念誌会長 L 藤澤廣光より記念誌広告について  
説明、協力要請がありました。

## ゾーンチェアパーソン報告書

### 第5R 第2Z ゾーンチェアパーソン L吉田浩子

①現在の会員数の内訳    ②入会5年以内の理事の人数    ③アクティビティの実績と見直し    ④LCIFの実績

クラブ名	会員動向	アンケート回答	クラブの対策・手法	備考(質問)
むかわ	期首 32名 (家族会員 7名) (女性会員 2名)	① 35名(1月、3名入会) うち家族会員7名		
		② 1名		
	現在 35名 (家族会員 7名) (女性会員 2名)	③ 継続アクティビティの充実		
		④ 12月、100\$献金済み モロッコ大地震・マウイ島山火事復興支援、能登半島地震災害支援		
苫小牧中央	期首 52名 (家族会員 0名) (女性会員 0名)	① 正会員57名		
		② 9名		
	現在 57名 (家族会員 0名) (女性会員 0名)	③1、中学生サッカー大会 2、特別支援学校の支援として本年は該当生徒に図書券を配布 3、子供食堂の支援(苫小牧こども支援課へ寄付・社旗福祉協議会への寄付)		
		④ \$37,556		
安平	期首 31名 (家族会員 2名) (女性会員 1名)	①左欄に記入		
		② 3名		
	現在 30名 (家族会員 2名) (女性会員 2名)	③予定通り実施中 ・能登半島地震炊出し支援としてアラートオールジャパンへ支援金200,000円送金	胆振東部地震の際、炊出し等でお世話になった経緯があり、後方支援をしている (災害特別口座を設け積立てをしている)	
		④モロッコ大地震・ハワイマウイ島山火事支援 送金金額29,000円 能登半島地震災害支援 送金金額56,000円 ※LCIF一人100\$献金予定		
厚真	期首 37名 (家族会員 5名) (女性会員 5名)	①正会員31名 家族会員3名 女性会員3名		
		②入会5年以内理事0人 入会5年以内理事会役員3人		
	現在 34名 (家族会員 3名) (女性会員 3名)	③眼鏡リサイクル事業、献血PR協力(R6. 2. 5) 厚真町読書感想文コンクール後援(R6. 2. 17)	受賞児童に図書カード贈呈	
		④モロッコ大地震・マウイ島山火事支援金(正会員31名×1,000円) 能登半島地震支援金(正会員31名×2,000円)、LCIF献金	LCIF献金の継続	
苫小牧白鳥	期首 57名 (家族会員 0名) (女性会員 5名)	①		
		② 0名		
	現在 52名 (家族会員 名) (女性会員 5名)	③既存ACTの精査と適正化を行い、ほかの充実や新規取り組みにつなげる	各対象への聞き取り懇談を行い、双方の理解を深め実施する	
		④クラブ \$32献金54名(LCIFチャリティゴルフコンペを含) MJF4名 計 \$5782	行事や新規事業の標として、あるいは時制のトピックスを提示するなど参加意思向上に努める	

## 【活動報告】

地区大会国際大会 委員会委員長  
L 大西 政春(白鳥LC)

第70回地区年次大会 第2回全体会議  
開催日時 2023年2月6日(火)13時～

### 議題

1. 大会委員会の現状について
2. 部会の進捗状況について
3. 今後の課題について
4. その他

第70回地区年次大会 第3回部会長会議  
開催日時 2023年2月27日(火)13時～

### 議題

1. 大会委員会の現状について
2. 部会の進捗状況について
3. 今後の課題について
4. その他

以上の内容について各部会とも進捗に問題無いことが確認されました

# 【活動報告】

ライオンズクエスト・YCE・薬物乱用防止委員会委員長  
L 林 謙治(苫小牧中央 LC)

## 1) 【ライオンズクエスト】

青山副委員長を中心にライオンズクエスト開催に向けて LCIF 交付金申請書を提出。承認日 2024.1.31 入金2024. 2. 21 10000ドル

ライオンズクラブクエストプログラム「幼稚園・保育所版」「基本編」ライオンズクラブ認定講師による研修(ワークショップ開催)

開催日時 2024 年 1 月 13 日(土)9:30~17:00

開催場所 京王幼稚園(伊達市) 認定講師 柴咲子先生

参加 LC メンバー: 渡部ガバナー、林委員長、司会青山副委員長、伊達 LC 須藤元ガバナー他3名 参加人数 : 幼稚園、保育所の保育士ら36名参加

内容 講師、保育士による子供たちの自立やコミュニケーション能力の向上などの多くの指導スキルを学ぶ研修会であった。

## 2) 【YCE(ユースキャンプ及び交換)青少年交換】

コロナ禍4年間は YCE 事業を中止しておりましたが、331 複合地区は受入れはスイス、スペイン、フィンランドの3か国の予定。

331 複合地区第三回 YCE 委員会 2024 年 1 月 19 日(金)で ABC 各地区 2名ずつの割り当てでほぼ確定 2024年夏季YCE受入れに関してYCEキャンプは2024 年 7 月 20 日から 26 日でネパール深川 C 地区は末永玲子 L(函館グリーン LC)が 7 月 26 日からホストファミリーとして受入れ可 キャンプ前の 3 日間限定で加藤孝治 L(苫小牧ハスカップ LC)が受入れ可

派遣生については24年の1月末で締め切りになっていますが、ハスカップ LC メンバーの孫(高校1年生)が派遣希望がありました。

## 3) 【薬物乱用防止】

「薬物乱用防止教育認定講師養成講座」を主催ライオンズ国際協会 331-C 地区、(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターにて

日程 2023 年11月 12 日 13:00~16:30、場所は苫小牧市民会館 202 号室で開催いたしました。ライオンズメンバー40名参加

また、「薬物乱用防止教室」を 2023 年 11 月 16 日 14:15~15:05 登別市立緑陽中学校で開催 対象が中学生 2 年生 88 名 講師は委員長の L 林、渡部ガバナー、青山副委員長参加

2024 年 5 月 14 日島牧村島牧中学校で開催予定(講師 L 青山、黒松内 LC 会長)。

最近の薬物乱用は十代~二十代の若い世代での市販薬の過剰摂取(オーバードーズ)や大麻の検挙率の増加が問題視されております。薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」です。

## 【活動報告】

LCIF 委員会・アラート委員会・エクステンション委員会 委員長  
L 富田 明久(苫小牧ハスカップ LC)

2024年1月27日第2回 LCIF 委員会開催

- ① 2024年1月20日 LCIF 勉強会ズームで開催 参加 24名
- ② クラブシェアリング交付金申請時注意事項の説明
- ③ 各リジョンの LCIF 献金の状況説明

以下 シェアリング交付金が決定しました。

クラブシェアリング交付金 静内ライオンズクラブ

申請日 2023年12月25日

事業内容 静内高校及び静内農業高校のぼらんボランティア局

スタッフ用ユニホーム。

申請金額 1106.01ドル 163.367円

承認日 2024年2月2日 162.872円

キャビネットシェアリング交付金

申請日 2023年11月2日

事業内容 ライオンズクエスト

申請金額 10.000ドル 1.472625円

承認日 2024年1月31日

以上

## LCIF献金一覧 3月15日現在

R	Z	クラブ名	期首会員数	会員数	2022年7月～2023年6月		3月15日 LCIF献金	100\$×正会 員	達成数	達成率	備考
					\$1000献金	LCIF献金 \$1000込み					
1	1	函館	22	15	3,000	3,420	1,559	1,500	59	104%	
		江差	9	6	0	0	0	600	-600	0%	
		北檜山	24	21	0	950	509	2,100	-1,591	24%	
		奥尻	12	12	0	120	759	1,200	-441	63%	
	2	函館一楽	32	44	0	0	1,499	4,400	-2,901	34%	
		函館北斗	33	27	0	661	2,040	2,700	-660	76%	
		木古内知内	36	36	1,000	2,800	3,034	3,600	-566	84%	
		松前	36	35	0	370	4,828	3,500	1,328	138%	
2	1	小樽	54	41	0	5,471	2,513	4,100	-1,587	61%	
		余市	52	51	0	1,580	2,426	5,100	-2,674	48%	
		岩内	37	32	0	490	1,306	3,200	-1,894	41%	
		黒松内	45	34	0	352	580	3,400	-2,820	17%	
	2	小樽中央	23	22	0	570	689	2,200	-1,511	31%	
		倶知安	47	52	0	1,880	3,253	5,200	-1,947	63%	
		小樽みなと	37	40	0	1,170	1,580	4,000	-2,420	40%	
		ニセコ	36	30	0	230	3,100	3,000	100	103%	
		小樽うしお	22	24	0	660	959	2,400	-1,441	40%	
3	1	室蘭	20	19	0	510	2,061	1,900	161	108%	
		洞爺	90	65	0	2,753	3,230	6,500	-3,270	50%	
		伊達	48	41	6,000	6,400	6,727	4,100	2,627	164%	
	2	登別	14	11	0	270	319	1,100	-781	29%	
		室蘭東	44	40	4,000	8,751	9,052	4,000	5,052	226%	
		白老	48	29	0	1,040	1,187	2,900	-1,713	41%	
		登別中央	18	9	0	330	386	900	-514	43%	
4	1	函館東	61	51	9,000	10,100	1,513	5,100	-3,587	30%	
		函館海峡	4	3	0	0	0	300	-300	0%	
		上磯	27	23	0	1,225	1,671	2,300	-629	73%	
		函館元町	31	30	0	980	1,206	3,000	-1,794	40%	
		函館臥牛	3	3	1,000	1,200	359	300	59	120%	
	2	八雲	34	26	0	260	346	2,600	-2,254	13%	
		森	32	36	0	680	479	3,600	-3,121	13%	
		函館中央	25	18	0	590	719	1,800	-1,081	40%	
		函館グリーン	18	8	0	0	0	800	-800	0%	
		函館みなと	30	17	2,000	2,170	2,113	1,700	413	124%	
5	1	苫小牧	23	22	0	600	2,092	2,200	-108	95%	
		静内	55	51	0	2,239	3,063	5,100	-2,037	60%	
		新冠	39	34	0	1,050	1,440	3,400	-1,960	42%	
		苫小牧ハスカップ	36	30	21,000	22,840	9,335	3,000	6,335	311%	
	2	むかわ	32	27	0	2,880	3,039	2,700	339	113%	
		苫小牧中央	51	64	8,000	9,330	38,235	6,400	31,835	597%	
		安平	31	28	0	2,178	3,370	2,800	570	120%	
		厚真	37	30	0	3,540	3,719	3,000	719	124%	
		苫小牧白鳥	57	52	1,000	3,028	6,458	5,200	1,258	124%	
		合計		1,289	56,000	105,668	132,753	128,900	3,853	103%	

## 【活動報告】

会則委員会委員長  
L 菅原 馨(苫小牧 LC)

第3回のキャビネット会議に於いて会則の変更点を説明させて頂きましたが追加が御座いましたので、第4階のキャビネット会議に於いて、追加説明をさせて頂きます。

又、公職者会員の活動等の制限についての質問が前回のキャビネット会議に於いて御座いましたので、資料を添えてご説明をさせて頂きます。

会則への理解・向上の為、皆様のご協力をお願い致します。

## 【活動報告】

ECHO・IT委員会 委員長  
L 廣澤 隆(苫小牧中央 LC)

本委員会のこれまでの活動は前回、第3回キャビネット会議にてご報告いたしました通りで御座いまして、ECHO誌の第1号から第3号までを予定通り、皆様のご協力と御理解を頂き、発行し、お手元にお届けすることが出来ました。この場をお借りして感謝申し上げますと共に、様々な意見を頂きました皆様には、誠に有難う御座います。今後は最終号の第4号を企画いたしておりますので、最終号にふさわしい紙面構成になりますよう、また、会員が望む形にすべく鋭意努力してまいります。引き続き最終最後までご指導いただきますよう、お願い申し上げます。最終号の構成にはまだ、日もありますので、紙面依頼事項、取材の申し込み等がありましたら、お気軽にお問い合わせいただきますよう、お願い申し上げます。

2つ目の担いとしてIT関連に関係する事案も承っております。主にホームページ関連にはなりますが、事務局機能と連動し必要に応じ、適宜対応させて頂いているところ です。基本的には前回報告させて頂きました内容と同様になりますが、まだまだそれぞれのクラブでの運用方法等への質問などがその大半となって御座います。今後も各種問合せ等へ対応すべく鋭意努力してまいりますので、よろしくお願ひ致します。

任期満了まで各種作業をスムーズかつ円滑に行えますよう努めてまいりますので、最終最後までよろしくお願ひ申し上げます。

## 【活動報告】

環境保全社会福祉委員会委員長  
L 小坂 直江(むかわ LC)

初春の候、日、1日と春めいた気候となり、雪解けと共に多種のゴミが目立ってまいりました。

今期も苫小牧キャビネットの事業としてプラゴミ、タバコ、他雑ゴミを地域に於けるライオンズクラブで清掃事業を実施して頂きたく御協力をお願い致します。

クラブ活動のアピールする機会にもなります。

開催頂いたクラブに対して、助成金 1 クラブ 5,000 円を出す事と致しました。

何とぞ御賛同をお願い致します。

## 【活動報告】

視力障がい・糖尿病・献眼献血委員会委員長

L 佐藤 聖(白鳥 LC)

前回から進捗は御座いませんが、年間通してのクラブ単位での献血アクティビティ活動の企画・調整等を引き続き図っています。

また昨年11月から今年3月まで行っているメガネリサイクル事業はGSTコーディネーター・各クラブと連例しながら取り組んでいる最中で御座います。

## 【活動報告】

キャビネット運営委員会 委員長  
L 柳原 義文(苫小牧中央 LC)

いよいよ最後のキャビネット会議になりました。

紆余曲折・試行錯誤の連続で、あっという間の一年でした。

残すところ、4/25 の前夜祭表彰式、26 日の第70回地区年次大会、また翌日の  
地区役員・ZC・Z 委員・各委員長引継ぎ会議です。

”終わり良ければ総て良し”にすべく最後まで頑張りますので、どうぞよろしくお願  
いいたします。



裏表紙 中



ライオンズクラブ国際協会 331-C 地区 キャビネット

LIONSCLUB 331-C DISTRICT GOVERNOR'S CABINET